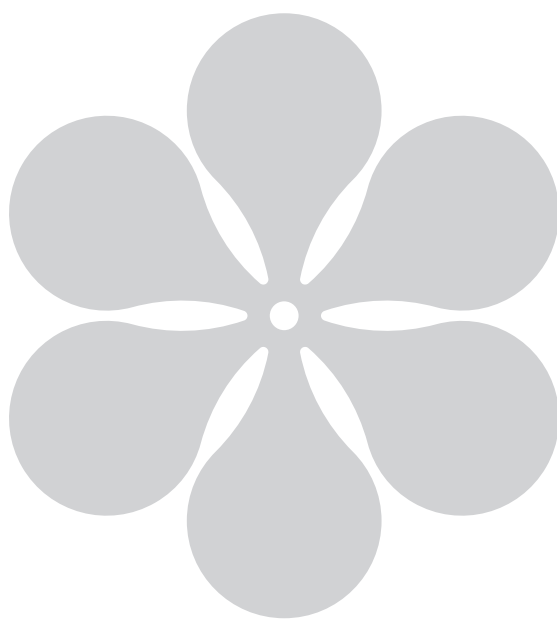


札幌市立大学年報

2021年度



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

目 次

I 概要

1 大学の概要	1
2 デザイン学部の概要	4
3 看護学部の概要	5
4 デザイン研究科の概要	6
5 看護学研究科の概要	7
6 助産学専攻科の概要	8
7 2021年度の特筆すべき事項	9
8 行事	10

II 教育活動

1 教育活動概要	11
2 共通教育・連携教育	12
3 デザイン学部	14
4 看護学部	26
5 デザイン研究科	40
6 看護学研究科	46
7 助産学専攻科	59
8 デザインと看護の連携教育	62

III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧	64
2 学内公募研究課題一覧	67
3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	68
4 寄附金の受入状況	70
5 その他研究助成	70
6 海外出張記録	70

IV 社会活動

1 地域貢献諸活動	71
2 公開講座開催実績	80
3 国・自治体審議会等への就任状況	83
4 専門職支援・セミナー講師等	87
5 国際交流実績	95
6 サテライトキャンパスの利用状況	95

V キャリア支援活動

1 デザイン学部	96
2 看護学部(助産学専攻科含む)	101
3 デザイン研究科	104

VI 令和4年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部	107
2 デザイン研究科・看護学研究科	114
3 助産学専攻科	119

Ⅶ 附属図書館

1 概要	120
2 利用状況	121

Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 2021年度公立大学法人札幌市立大学 組織図	122
2 役員会及び審議会の審議状況	122
3 役員会及び審議会委員名簿	123
4 経営会議	124
5 部局長会議	124
6 企画室	125
7 広報室	125
8 教授会	125
9 地域連携研究センター	126
10 附属図書館	127
11 アドミッションセンター	127
12 教育支援プロジェクトセンター	127
13 情報基盤センター	128
14 学内委員会	128
15 構成員名簿	130
16 FD・SD活動	135

Ⅸ 資料

1 2021年度計画	137
2 2021年度 決算報告書	147
3 教職員数	148
4 管理職一覧表	148
5 学生定員及び学生数	149
6 授業料等	150
7 奨学金貸与・授業料減免実施状況	150
8 学生の入選・受賞(デザイン学部)	152
9 学生の課外活動	153
10 後援会	154
11 教育・研究刊行物一覧	154
12 施設	155
13 大学へのアクセス	160
14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	161

X 教員一覧

1 教員一覧	162
2 教員業績一覧	163



I 概要

1 大学の概要

1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

1991年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、1965年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性和方向性について幅広い論議を行うべく、2001年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、2002年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、2003年9月に「（仮称）札幌市立大学基本構想」を策定し、2006年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、2003年11月に大学教育の専門家を中心とする「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、2004年7月に「（仮称）札幌市立大学基本計画」を策定し、2005年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、2006年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、2009年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、2010年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、2011年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書（修士課程を博士課程に変更）を文部科学省に提出、同年10月に認可され、2012年4月に大学院デザイン研究



科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

4) 目的

① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



沿革

1965年4月	札幌市立高等看護学院 開校
1991年4月	札幌市立高等専門学校 開校
1996年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
2001年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
2002年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
2003年9月	「（仮称）札幌市立大学基本構想」策定
2003年11月	「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」設置
2004年7月	「（仮称）札幌市立大学基本計画」策定
2005年12月	大学設置認可
2006年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
2006年4月	札幌市立大学 開学
2006年10月	サテライトキャンパス 開設
2007年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
2008年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
2008年4月	キャリア支援センター 開設
2008年8月	認定看護管理者制度サー ドレベル教育課程 開講
2009年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
2009年10月	大学院（修士課程）設置認可
2009年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
2010年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
2011年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
2011年10月	大学院（博士課程）変更認可
2012年4月	大学院（博士後期課程）開設 大学院（博士前期課程）に改称



2 デザイン学部の概要

1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。



3 看護学部の概要

1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

4 デザイン研究科の概要

1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育―国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて―」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組む。

【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



2) 教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

① 人間空間デザイン分野

高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザイン、及びこれからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインの能力を有する人材

② 人間情報デザイン分野

個々の人間に着目し、デザインを科学的に探究するとともに、ものづくりとコミュニケーションのデザイン能力を有する人材

【博士後期課程】

① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材（高度専門職業人）

② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材（研究者・教育者）

5 看護学研究科の概要

1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、2005年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力

② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力

③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力

④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力

② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力



- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

2) 教育目的

【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者
- ③ 地域や在宅において健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材

【博士後期課程】

- ① 他職種との協働・連携を円滑に行える人間性とともに関係力や調整能力、さらにはイノベーション力等を推進できる高度専門職業人
- ② 健康問題や社会の動向をグローバルに捉え、高度な専門知識と豊かな臨床経験の両面から、エビデンスに基づく基礎研究や応用研究を自立的に推進して的確な分析・評価等を行い、地域や保健医療機関等が抱える課題解決に真摯に向き合う研究者
- ③ 大学等の高等教育機関において、次世代を担う看護職に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等をより高い倫理観や職業観をもって教授できる教育能力を有する教育者

6 助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間に於いて培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

7 2021年度の特筆すべき事項

1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応（職域接種について）

看護学部では2021年6・7月に看護学部教員42名、看護学部学生291名を対象として、医療従事者に準ずるものとして市立札幌病院と協力して新型コロナウイルスワクチンの1・2回目接種を実施した。

デザイン学部教員及び学生、並びに職員については、2021年9・10月に新型コロナウイルスワクチンの職域接種を活用した1・2回目接種を実施した。職域接種では、教職員64名、学生263名を対象とした。

2) DNAタスクフォース2021設置について

2021年度企画室会議にて、本学の新たなDNAのつながりを創出するために、「教職員が研究や業務内容を共有し、お互いにワクワクする場づくり」を企画、試行する組織としてDNAタスクフォースが設置された。19回の会議を開催し、横断的な発想に基づいた課題解決に資する提案をまとめた報告・提案書を作成し、企画室に提出した。DNAタスクフォースメンバーは、座長としてデザイン学部齊藤雅也教授、その他、デザイン学部横溝賢准教授、丸山洋平准教授、看護学部貝谷敏子教授、武富貴久子講師、AIラボ高橋尚人特任准教授、事務局高橋嗣仁地域連携係長、山田しおり総務課庶務係員の計8名である。



8 行事

行 事 名	月 日
入学式	4月3日
前期ガイダンス	4月5日
前期授業開始	4月6日
前期履修登録期間	4月6日～13日
健康診断	10月6日、 11月26日、 11月28日
第1回オープンキャンパス	6月19日
デザイン学部3年次編入学試験	7月17日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月17日
前期定期試験期間	8月2日～12日
夏季休業	8月13日～30日
看護学部社会人特別選抜入学試験	9月4日
助産学専攻科入学試験	9月4日
第2回オープンキャンパス	9月18日
大学祭	9月20日・21日
後期ガイダンス	9月17日・30日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月25日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月25日
後期授業開始	9月21日・10月1日
後期履修登録期間	10月1日～8日
デザイン学部総合型選抜入学試験	10月9日
デザイン学部学校推薦型選抜・特別選抜（社会人）入学試験	11月20日
看護学部学校推薦型選抜入学試験	11月20日
冬季休業	12月24日～1月3日
後期定期試験期間	1月4日～5日・ 2月3日～16日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月5日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月5日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月19日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	2月19日
卒業式・修了式	3月18日



II 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で特別講義を3件計画し、うち1件をオンライン形式で、うち2件を対面形式でそれぞれ実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、2012年度（編入学生は2014年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に通ずる関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。



看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特講（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2 共通教育・連携教育

1) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎松井 美穂 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 金子 晋也 金 秀敬 並木翔太郎 丸山 洋平 矢久保空遥 樋之津淳子 定廣和香子 大友 舞 鬼塚 美玲 栗原 知己 坂本 結城 田仲 里江 平山 憲吾
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮加容子
人間関係を考える	講義・30時間	1年次前期	★野々原由佳子
自然科学を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	★小野田波里
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	◎丸山 洋平
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	★赤間 荘太 ★遠藤 愛 ★清水 香
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	松井 美穂 並木翔太郎 ★白土 淳子 ★長嶋みさと
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★錦戸 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I (デザイン学部)	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー I (看護学部)	演習・30時間	1年次前期	★杉野 佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術と文化	講義・30時間	1年次後期	★望月由美子
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮
動物の暮らし	講義・30時間	1年次後期	★桑原 禎知 ★矢部 和夫
現代社会と家族	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
現代社会と経済	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦
統計の世界 (看護学部)	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 ★赤間 荘太 ★遠藤 愛 ★清水 香
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	並木翔太郎 ★白土 淳子 ★長嶋みさと
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 矢久保空遥
対人コミュニケーション	演習・30時間	1年次後期	★町田佳世子
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次後期	横溝 賢
情報リテラシーⅡ（看護学部）	演習・30時間	1年次後期	★杉野 佑太
生活と文化	講義・30時間	2年次前期	★高鳥 廉
ジェンダーと文化	講義・30時間	2年次前期	松井 美穂
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	◎★矢部 和夫 ★平野 高司
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次前期	★先川信一郎
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
実践英語A（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	並木翔太郎
実践英語B（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★アイツ バマイ モクター
実践英語A（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮靖史
実践英語B（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★山田 パトリシア
グループ・ダイナミックス	演習・30時間	2年次前期	★山口 司
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	◎★光本 滋 ★木下 卓弥
健康とスポーツ（看護学部）	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
中国語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★照井はるみ
ロシア語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
健康とスポーツ（デザイン学部）	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★照井はるみ
ロシア語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
統計の世界（デザイン学部）	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

3 デザイン学部

「対面授業」「オンデマンド」の記載がない科目は、同期型のオンライン授業として開講した。

1) 2021年度時間割

① 1年前期

		月	火		水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		材料加工理論 ／実習Ⅰ Aクラス Bクラス 対面授業	情報リテラシーⅠ(D) Aクラス 対面授業	デザイン史	人間空間デザイン論	人間情報デザイン論
2	10:40 ～ 12:10	時間表現理論／演習Ⅰ Aクラス 対面授業		情報リテラシーⅠ(D) Bクラス 対面授業	デザインと数学	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法 日本語表現法	哲学と倫理
						人間関係を考える	
3	13:10 ～ 14:40	時間表現理論／演習Ⅰ Bクラス 対面授業	時間表現理論／演習Ⅰ Cクラス 対面授業	英語ⅠA 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法 日本語表現法	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法 日本語表現法	札幌を学ぶ	
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎 (描画) 対面授業	材料加工理論 ／実習Ⅰ Cクラス Dクラス 対面授業	情報リテラシーⅠ(D) Cクラス 対面授業	英語ⅠA 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法 日本語表現法	スタートアップ演習	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 英語ⅠC 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00			情報リテラシーⅠ(D) Dクラス 対面授業	自然科学を学ぶ		体のしくみ

② 1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	Webデザイン 対面授業	情報リテラシーⅡ 対面授業	視覚・色彩心理学	デザイン工学	手話
2	10:40 ～ 12:10	Webデザイン 対面授業or オンデマンド	情報リテラシーⅡ 対面授業	宗教と思想 動物のくらし	現代社会と家族 心のしくみ	手話
3	13:10 ～ 14:40	アイデア生成プロセス 対面授業 (一部オンライン授業)		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC プレゼンテーション	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	現代社会と経済 対人コミュニケーション
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎(製図) 対面授業 (一部オンライン授業) 表現基礎(構成) 対面授業 (一部オンライン授業)	材料加工理論／実習Ⅱ 対面授業	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC
5	16:30 ～ 18:00	表現基礎(製図) 対面授業 (一部オンライン授業) 表現基礎(構成) 対面授業 (一部オンライン授業)		芸術と文化		英語ⅡA 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC



③ 2年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	デザイン総合実習Ⅰ 対面授業 (一部オンライン授業)	現代社会と国際関係	コミュニティデザイン論	建築計画論 オンデマンド	ビジュアライゼーションⅠ
			日本国憲法を学ぶ ボランティア活動を考える		プロダクトデザインⅠ	
2	10:40 ～ 12:10	デザイン総合実習Ⅰ 対面授業 (一部オンライン授業)	実践英語A(N)	協同デザインⅠ	建築設計製図 対面授業	環境計画論
			実践英語B(N)		プログラミングⅠ オンデマンド	実践英語B(D)
3	13:10 ～ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	近現代建築史	フィールドスタディ ※事前研修 一部対面授業	環境芸術論 一部対面授業	実践英語B(D)
		デザイン研究法 (人間空間) 対面授業	情報製品製図			
4	14:50 ～ 16:20	時間表現理論／演習Ⅱ Aクラス 対面授業	グループ・ダイナミックス	3DCG実習 (表現系) 対面授業	建築系 CAD実習 対面授業	学部連携基礎論
			生活と文化			
5	16:30 ～ 18:00	時間表現理論／演習Ⅱ Bクラス 対面授業	環境を考える			
			ジェンダーと文化			

④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	プロダクトデザインⅡ 2コマ連続実施 前半7.5週で終了 対面授業	韓国語	環境心理学	コンピュータグラフィックス オンデマンド	エコロジカルデザイン
2	10:40 ～ 12:10		韓国語	ユニバーサルデザイン論	Webプログラミング 対面授業or オンデマンド	情報社会論
3	13:10 ～ 14:40	空間デザイン史 オンデマンド	家具・インテリアデザイン 対面授業 (一部オンライン授業)	メディア芸術論	建築デザイン論 対面授業	一般構造
		プログラミングⅡ 対面授業			協同デザインⅡ 対面授業 (一部オンライン授業)	
4	14:50 ～ 16:20	製品系CAD実習 対面授業	空間プロダクト	3DCG実習 (建築系) オンデマンド	デザイン総合実習Ⅱ 対面授業	教育を考える 2コマ連続実施 前半7.5週で終了
5	16:30 ～ 18:00					



⑤ 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	ビジュライゼーションⅡ オンデマンド	生涯学習概論 対面授業	都市計画論	建築設備計画 対面授業 プログラミングⅢ 一部対面授業	ランドスケープアーキテクチャ 対面授業
2	10:40 ～ 12:10	博物館資料論 博物館概論	中国語 (D) Aクラス ロシア語 (D) 博物館情報・メディア論 対面授業		ヒューマンインタラクションⅠ 一部対面授業	博物館資料論 対面授業
3	13:10 ～ 14:40	構造力学Ⅰ	中国語 (D) bクラス ロシア語 (D)	インターンシップ ※事前研修 一部対面授業	空間演出デザイン論 対面授業	デザイン 総合実習Ⅲ 対面授業 (一部オンライン授業)
4	14:50 ～ 16:20	感性情報学	ユーザーエクスペリエンス デザインⅠ	博物館概論	健康とスポーツ (D) 対面授業	
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス	メディア社会論	博物館教育論		

⑥ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	寒冷地デザイン論	構造力学Ⅱ 一部対面授業 ヒューマンインタラクションⅡ	空間映像表現 一部対面授業		デザイン展開プロセス
2	10:40 ～ 12:10	博物館経営論	統計の世界	建築構法 オンデマンド	建築生産 対面授業	地域ブランド構築
3	13:10 ～ 14:40		学部連携演習	ユーザーエクスペリエンス デザインⅡ	建築法規 対面授業	
4	14:50 ～ 16:20	博物館資料保存論 一部対面授業		博物館展示論 2コマ連続実施 隔週開講 一部対面授業	構造・材料実験 対面授業	デザイン総合実習Ⅳ 一部対面授業 ※教員により異なる
5	16:30 ～ 18:00	キャリアデザイン				



⑦ 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	博物館実習 対面授業	知的財産権論	デザイン英語		
2	10:40 ~ 12:10		起業・経営論			ビジュアライゼーションⅢ 一部対面授業
3	13:10 ~ 14:40	博物館実習 対面授業	住宅論		ユーザーエクスペリエンス デザインⅢ	
4	14:50 ~ 16:20		観光デザイン論		景観デザイン文化論	
5	16:30 ~ 18:00	キャリアガイダンス				

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30					
2	10:40 ~ 12:10					
3	13:10 ~ 14:40			卒業研究Ⅱ		
4	14:50 ~ 16:20					
5	16:30 ~ 18:00	キャリアガイダンス				



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2016年度（編入学生は2018年度）以降入学生用

区分		授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2			○								4単位以上
		宗教と思想	講義		2				○							
		芸術と文化	講義		2				○							
		教育を考える	講義		2						○					
		生活と文化	講義		2						○					
		ジェンダーと文化	講義		2						○					
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義		2				○							4単位以上
		体のしくみ	講義		2			○								
		人間関係を考える	講義		2			○								
		健康とスポーツ	講義		2							○				
		環境を考える	講義		2					○						
		自然科学を学ぶ	講義		2			○								
	社会に対する理解	動物のくらし	講義		2				○							4単位以上
		現代社会と家族	講義		2				○							
		現代社会と国際関係	講義		2					○						
		現代社会と経済	講義		2				○							
		札幌を学ぶ	講義		2			○								
		ボランティア活動を考える	講義		2					○						
	外国語	統計の世界	講義		2									○		8単位以上
		日本国憲法を学ぶ	講義		2						○					
		英語ⅠA	演習	1				○								
		英語ⅠB	演習	1				○								
		英語ⅠC	演習	1				○								
		英語ⅡA	演習	1					○							
		英語ⅡB	演習	1					○							
		英語ⅡC	演習	1					○							
		実践英語A	演習		1					○						
		実践英語B	演習		1					○						
		韓国語	演習		1						○					
		中国語	演習		1							○				
		ロシア語	演習		1							○				
	コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1			○								4単位以上
		プレゼンテーション	演習	1				○								
		基礎カウンセリング	演習		1			○								
		対人コミュニケーション	演習		1				○							
		グループ・ダイナミックス	演習		1					○						
		手話	演習		1				○							
情報リテラシーⅠ		演習	1				○									
専門教育科目	デザイン概論	情報リテラシーⅡ	演習	1				○							4単位	
		人間空間デザイン論	講義	2				○								
	デザイン理論	人間情報デザイン論	講義	2				○							20単位以上	
		デザイン史	講義	2				○								
		近現代建築史	講義		2					○						
		情報社会論	講義	2							○					
		エコロジカルデザイン	講義		2						○					
		メディア社会論	講義+演習		2							○				
		知的財産権論	講義		2									○		
		デザインと数学	講義+演習		2			○								
		デザイン工学	講義+演習		2				○							
		コンピュータグラフィックス	講義+演習		2						○					
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○								
		デザイン展開プロセス	講義+演習		2								○			
		視覚・色彩心理学	講義	2					○							
		環境心理学	講義		2							○				
	ユニバーサルデザイン論	講義	2							○						
	感性情報学	講義	2								○					
	デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2						○					20単位以上	
		デザイン英語	講義+演習		2								○			
		表現基礎（描画）	実習	2				○								
		表現基礎（製図）	講義+演習		2				○							
		表現基礎（構成）	講義+演習		2				○							
		材料加工理論／実習Ⅰ	実習	2				○								
		材料加工理論／実習Ⅱ	実習		2				○							
		建築設計製図	演習		2					○						
		情報製品製図	演習		2					○						
		3DCG実習	実習		2					○	○					
		建築系CAD実習	実習		2					○						
		製品系CAD実習	実習		2						○					



区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位		
					必修	選択	自由	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
	基本科目		時間表現理論／演習Ⅰ	講義+演習		2		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	デザイン基盤		時間表現理論／演習Ⅱ	講義+演習		2												
			Webデザイン	演習	2				○									
			Webプログラミング	講義+演習		2					○							
		人間空間デザインコース	建築デザイン論	講義		2					○							
	空間デザイン史		講義		2						○							
	建築計画論		講義		2					○								
	都市計画論		講義		2								○					
	景観デザイン文化論		講義		2											○		
	住宅論		講義		2											○		
	環境計画論		講義+演習		2					○								
	建築設備計画		講義+演習		2								○					
	構造力学Ⅰ		講義+演習		2								○					
	構造力学Ⅱ		講義+演習		2									○				
	一般構造		講義+演習		2						○					○		
	建築構法		講義+演習		2										○			
	構造・材料実験		実習		2										○			
	建築生産		講義+演習		2										○			
	建築法規		講義		2										○			
	家具・インテリアデザイン		実習		2							○						
	ランドスケープアーキテクチャ		講義		2									○				
	コミュニティデザイン論		講義		2					○								
	メディア芸術論		講義		2							○						
	空間演出デザイン論		講義+演習		2									○				
	地域ブランド構築		講義+演習		2										○			
	観光デザイン論		講義+演習		2												○	
	環境芸術論		講義+演習		2						○							
	空間プロダクト		講義+演習		2								○					
	空間映像表現		演習		2											○		
	寒冷地デザイン論		講義+演習		2										○			
	起業・経営論		講義		2												○	
	人間情報デザインコース		プロダクトデザインⅠ	講義+演習		2					○							
		プロダクトデザインⅡ	講義+演習		2							○						
		ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義+演習		2								○					
		ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習		2									○				
		ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義+演習		2											○		
		プログラミングⅠ	演習		2						○							
		プログラミングⅡ	講義+演習		2							○						
		プログラミングⅢ	演習		2									○				
		ヒューマンインタラクションⅠ	演習		2									○				
		ヒューマンインタラクションⅡ	演習		2										○			
		協同デザインⅠ	講義+演習		2						○							
		協同デザインⅡ	講義+演習		2							○						
		ビジュアライゼーションⅠ	講義+演習		2						○							
ビジュアライゼーションⅡ		講義+演習		2									○					
ビジュアライゼーションⅢ		講義+演習		2											○			
発展科目	連携	学部連携基礎論	講義	2						○							4 単位以上	
		学部連携演習	演習	2										○				
		地域プロジェクトⅠ（基礎編）注3	演習			2	○	○	○	○								
		地域プロジェクトⅡ（応用編）注3	演習			2			○	○	○	○	○	○	○			
		地域プロジェクトⅢ（発展編）注3	演習			2					○	○	○	○	○			
		ユニバーサルデザイン都市札幌注3	講義+演習			2							○					
	総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○							8 単位	
		デザイン総合実習Ⅱ	実習	2							○							
		デザイン総合実習Ⅲ	実習	2								○						
		デザイン総合実習Ⅳ	実習	2									○					
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3											○		6 単位	
		卒業研究Ⅱ	演習	3												○		
キャリア教育	フィールドスタディ	実習		2						◎						4 単位以上		
	インターンシップ	実習		2								◎						
	キャリアデザイン	講義		2										○				
自由科目	学芸員課程 関連科目	生涯学習概論	講義			2						○				19単位		
		博物館概論	講義			2							○					
		博物館経営論	講義			2								○				
		博物館資料論	講義			2								○				
		博物館資料保存論	講義			2									○			
		博物館展示論	講義			2									○			
		博物館情報・メディア論	講義			2								○				
		博物館教育論	講義			2								○				
		博物館実習	実習			3											◎	

注1) ◎は集中開講

注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 「地域プロジェクトⅠ（基礎編）」「地域プロジェクトⅡ（応用編）」「地域プロジェクトⅢ（発展編）」「ユニバーサルデザイン都市札幌」は2021年度開講しません。

② 卒業要件

2016年度（編入学生は2018年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



3) 教育活動（デザイン学部）

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎片山めぐみ 中島 秀之 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 山田 良 大島 卓 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎安齋 利典 細谷 多聞 石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞 金子 晋也
デザインと数学	講義+演習・ 30時間	1年次前期	◎石井 雅博 大淵 一博 松永 康佑
表現基礎（描画）	実習・60時間	1年次前期	◎福田 大年 片山めぐみ
材料加工理論／実習Ⅰ	実習・60時間	1年次前期	◎山田 良 矢久保空遥 ★川上 理恵
時間表現理論／演習Ⅰ	講義+演習・ 30時間	1年次前期	◎須之内元洋 石田 勝也
デザイン工学	講義+演習・ 30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也 細谷 多聞 西川 忠
アイデア生成プロセス	講義+演習・ 30時間	1年次後期	福田 大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
表現基礎（製図）	講義+演習・ 30時間	1年次後期	◎山田 信博 森 朋子
表現基礎（構成）	講義+演習・ 30時間	1年次後期	◎横溝 賢 金 秀敬
材料加工理論／実習Ⅱ	実習・60時間	1年次後期	◎安齋 利典 張 浦華 ★石崎 友紀 ★山田 祥子
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
地域プロジェクトⅠ（基礎編） 2021年度開講無し	演習・60時間	1年次・2年次 通年	◎若林 尚樹 大淵 一博 藤井 瑞恵
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子 晋也 ★藤田 純也 ★平 輝
デザイン研究法 （人間空間デザイン）	講義+演習・ 30時間	2年次前期	◎小林 重人 椎野亜紀夫 森 朋子
デザイン研究法 （人間情報デザイン）	講義+演習・ 30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 石井 雅博 張 浦華 金 秀敬
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	◎山田 良 森 朋子 山田 信博
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎
3DCG実習（表現系）	実習・60時間	2年次前期	松永 康祐
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	★五十嵐雄祐
時間表現理論／演習Ⅱ	講義+演習・ 30時間	2年次前期	◎石田 勝也 須之内元洋



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	◎山田 信博
環境計画論	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	片山めぐみ
環境芸術論	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎大島 卓 須之内元洋
プロダクトデザイン I	講義＋演習・30時間	2年次前期	安齋 利典
プログラミング I	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博
協同デザイン I	講義＋演習・30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアルライゼーション I	講義＋演習・30時間	2年次前期	横溝 賢
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎椎野亜紀夫 安齋 利典 金 秀敬 小宮加容子 福田 大年 ◎佐藤ひとみ 藤井 瑞恵 原井 美佳
デザイン総合実習 I (建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎山田 信博 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 山田 良 大島 卓 金子 晋也 森 朋子 石田 勝也 片山めぐみ
デザイン総合実習 I (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次前期	◎武田 亘明 小宮加容子 片山めぐみ
デザイン総合実習 I (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次前期	◎安齋 利典 三谷 篤史 横溝 賢 大淵 一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎山田 良 金子 晋也 張 浦華 矢久保空遥
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	椎野亜紀夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・30時間	2年次後期	松永 康祐
環境心理学	講義・30時間	2年次後期	片山めぐみ
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮加容子
3DCG実習 (建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	三谷 篤史
Webプログラミング	講義＋演習・30時間	2年次後期	大淵 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	山田 良
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	金子 晋也
一般構造	講義＋演習・30時間	2年次後期	西川 忠
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山めぐみ ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内元洋



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
空間プロダクト	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	小宮加容子
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミングⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
協同デザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	若林 尚樹
デザイン総合実習Ⅱ (建築・環境)	実習・60時間	2年次後期	◎大島 卓 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 山田 良 金子 晋也 森 朋子 山田 信博 片山めぐみ
デザイン総合実習Ⅱ (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 小林 重人 須之内元洋
デザイン総合実習Ⅱ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎矢久保空遥 細谷 多聞 張 浦華
地域プロジェクトⅡ (応用編) 2021年度開講無し	演習・60時間	2年次・3年 次・4年次 通年	◎若林 尚樹 大淵 一博 藤井 瑞恵
メディア社会論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	小林 重人
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	◎張 浦華 金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	西川 忠
ランドスケープアーキテクチャ	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 大島 卓
空間演出デザイン論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎石田 勝也 小宮加容子
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	金 秀敬
ヒューマンインタラクションⅠ	演習・30時間	3年次前期	矢久保空遥
プログラミングⅢ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ビジュアルライゼーションⅡ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	藤木 淳
デザイン総合実習Ⅲ (建築・環境) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎山田 良 細谷 多聞 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 大島 卓 金子 晋也 森 朋子 山田 信博 片山めぐみ
デザイン総合実習Ⅲ (地域コミュニケーション・総合系) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎小林 重人 若林 尚樹 大島 卓 小宮加容子 山田 信博
デザイン総合実習Ⅲ (ものづくり・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎柿山浩一郎 細谷 多聞 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 大島 卓 金子 晋也 森 朋子 山田 信博 片山めぐみ 福田 大年



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅲ (情報・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎若林 尚樹 藤木 淳 大島 卓 小宮加容子 松永 康佑
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎若林 尚樹 大島 卓 山田 信博 福田 大年
デザイン展開プロセス	講義+演習・ 30時間	3年次後期	安齋 利典
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	西川 忠
建築構法	講義+演習・ 30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	◎西川 忠 ★劉 宏涛
建築生産	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★小林 宏
地域ブランド構築	講義+演習・ 30時間	3年次後期	小林 重人
空間映像表現	演習・30時間	3年次後期	石田 勝也
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎齊藤 雅也 大島 卓
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	張 浦華
ヒューマンインタラクションⅡ	演習・30時間	3年次後期	石井 雅博
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎柿山浩一郎 三谷 篤史 藤木 淳 大島 卓 小林 重人 武田 亘明 森 朋子 石田 勝也 松永 康佑 須之内元洋 大淵 一博 ◎喜多 歳子 荒木 奈緒 小田 和美 神島 滋子 工藤 京子 武富貴久子 原井 美佳 近藤 圭子 齋 若奈 渋谷 友紀 中田亜由美
デザイン総合実習Ⅳ (人間空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎須之内元洋 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 山田 良 大島 卓 金子 晋也 小宮加容子 小林 重人 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 片山めぐみ
デザイン総合実習Ⅳ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎三谷 篤史 細谷 多聞 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 藤木 淳 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎福田 大年 石田 勝也
地域プロジェクトⅢ (発展編) 2021年度開講無し	演習・60時間	3年次・4年 次通年	◎若林 尚樹 大淵 一博 藤井 瑞恵
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	松井 美穂



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
知的財産権論	講義・30時間	4年次前期	◎安齋 利典 須之内元洋 ★伊藤 博之 ★川上 大雅 ★岩崎 孝治 ★田中 勝也 ★渡辺 直行 ★吉田 聡子
景観デザイン文化論	講義・30時間	4年次前期	★中井 和子
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 良
観光デザイン論	講義＋演習・30時間	4年次前期	大島 卓
起業・経営論	講義・30時間	4年次前期	◎★小林 元 ★佐々木 信
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義＋演習・30時間	4年次前期	細谷 多聞
ビジュアライゼーションⅢ	講義＋演習・30時間	4年次前期	柿山浩一郎
卒業研究Ⅰ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎金子 晋也 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 山田 良 大島 卓 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 片山めぐみ 須之内元洋
卒業研究Ⅰ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎藤木 淳 細谷 多聞 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
卒業研究Ⅱ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎大島 卓 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 山田 良 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 片山めぐみ 須之内元洋
卒業研究Ⅱ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎藤木 淳 細谷 多聞 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生 ★小野 裕子
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★苔名 真
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★守屋 開
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★岩崎 直人
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 (学外での実習は集中)	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀 ★山崎 真実

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4 看護学部

1) 2021年度時間割

① 1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ~ 10:30				情報リテラシー I		
2	10:40 ~ 12:10			看護観察技術論	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	哲学と倫理 人間関係を考える
3	13:10 ~ 14:40	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ~ 16:20	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ~ 18:00	看護学原論	地域保健学概論	人間発達援助論	体のしくみ 自然科学を学ぶ		英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C 基礎カウンセリング

※ 集中講義：看護初期実習 6/7（月）～6/11（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクト I（基礎編）・地域プロジェクト II（応用編）・地域プロジェクト III（発展編）は、2021年度の開講なし

② 1年後期

		月	火		水	木	金
			前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学	看護過程論				情報リテラシー II 手話
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学	看護理論	看護過程論	宗教と思想 動物のくらし	心のしくみ 現代社会と家族	情報リテラシー II 手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論	薬理学		英語 II A 英語 II B 英語 II C 英語 II C プレゼンテーション	英語 II A 英語 II B 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	現代社会と経済 対人コミュニケーション
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論	感染予防論		英語 II A 英語 II B 英語 II C 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II A 英語 II B 英語 II C
5	16:30 ~ 18:00				芸術と文化	統計の世界	英語 II A 英語 II A 英語 II B 英語 II C

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習 I 10/11（月）～15（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクト I（基礎編）・地域プロジェクト II（応用編）・地域プロジェクト III（発展編）は、2021年度の開講なし



③ 2年前期

		月		火	水		木		金
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	
1	9:00 ～ 10:30	精神看護 学概論	人間工学	現代社会と国際関係 ボランティア活動を 考える 日本国憲法を学ぶ	老年看護学 概論			家族社会学	
2	10:40 ～ 12:10	生命科学	環境保健	実践英語 A 実践英語 B	医療情報		成人看護学 概論		臨床栄養学
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生学	成人看護 援助論	実践英語 A 実践英語 B	生命倫理		疾病治療学概論		症状マネジメント論
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生学	成人看護 援助論	生活と文化 グループ・ ダイナミックス					症状マネジメント論
5	16:30 ～ 18:00	疾病治療学 B		ジェンダーと文化 環境を考える			疾病治療学 A		学部連携基礎論

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習Ⅱ 5/24（月）～6/4（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2021年度の開講なし

④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30		精神看護 援助論		臨床薬理学			社会福祉学		
2	10:40 ～ 12:10	母性看護学 概論	精神看護 援助論		臨床心理学		小児看護 学概論	看護倫理学		
3	13:10 ～ 14:40	感染管理論	教育を 考える	中国語 ロシア語	健康とスポーツ		老年看護 援助論	がん看護学	援助的 人間関係論	在宅看護 援助論
4	14:50 ～ 16:20	在宅看護学 概論	教育を 考える	中国語 ロシア語	韓国語		老年看護 援助論	がん看護学	援助的 人間関係論	在宅看護 援助論
5	16:30 ～ 18:00						公衆衛生看 護学概論	チーム 医療論	疾病治療学 C	

※ 集中講義：成人看護学臨地実習Ⅰ 10/25（月）～11/12（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2021年度の開講なし



⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政論Ⅰ		保健統計	
2	10:40 ～ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政論Ⅰ		保健統計	
3	13:10 ～ 14:40			在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ～ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ～ 18:00	小児看護 援助論				疫学Ⅰ					

※ 集中講義：老年看護学臨地実習Ⅰ 5/10（月）～5/14（金）

成人看護学臨地実習Ⅱ・精神看護学臨地実習・在宅看護学臨地実習 6/14（月）～7/30（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある。

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2021年度の開講なし

⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
2	10:40 ～ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生看護 援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)						小児看護 技術論		重症集中 ケア	
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)		学部連携演習				小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ～ 18:00	救急看護学						放射線医療 管理論		母性看護 技術論	

※ 集中講義：母性看護学臨地実習・小児看護学臨地実習・老年看護学臨地実習Ⅱ 11/22（月）～12/17（金）、1/17（月）～1/28（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2021年度の開講なし



⑦ 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	国際保健学		パリアティブ ケア		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
2	10:40 ～ 12:10	現代専門 職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生 看護技術論		医療安全管 理論		看護情報学			医療経営学	
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生 看護技術論		寒冷地医療					ペリネイタル ケア	
5	16:30 ～ 18:00			国際看護学						

※ 集中講義：公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ 6/14（月）～7/30（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2021年度の開講なし

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
2	10:40 ～ 12:10			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
3	13:10 ～ 14:40					疫学Ⅱ
4	14:50 ～ 16:20					
5	16:30 ～ 18:00					

※ 集中講義：ヘルスケアマネジメント実習 9/21（火）～10/8（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2021年度の開講なし



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2016年度（編入学生は2018年度）入学生用

区分		科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位	
					必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
導入科目		C1B000	スタートアップ演習	演習	2					○	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	2単位
共通教育科目	文化に 対する 理 解	C1B001	哲学と倫理	講義	2					○								4単位 以上
		C1B002	宗教と思想	講義	2						○							
		C1B003	芸術と文化	講義	2							○						
		C2B004	教育を考える	講義	2								○					
		C2B005	生活と文化	講義	2								○					
		C2B006	ジェンダーと文化	講義	2								○					
	人間と 自然に 対する 理 解	C1B007	心のしくみ	講義	2						○							4単位 以上
		C1B008	体のしくみ	講義	2						○							
		C1B009	人間関係を考える	講義	2						○							
		C2B010	健康とスポーツ	講義	2								○					
		C2B011	環境を考える	講義	2								○					
		C1B012	自然科学を学ぶ	講義	2						○							
	社会に 対する 理 解	C1B013	動物のくらし	講義	2							○						4単位 以上
		C1B014	現代社会と家族	講義	2							○						
		C2B015	現代社会と国際関係	講義	2								○					
		C1B016	現代社会と経済	講義	2								○					
		C1B017	札幌を学ぶ	講義	2						○							
		C2B018	ボランティア活動を考える	講義	2									○				
	外国語	C1B019	統計の世界	講義	2							○						8単位 以上
		C2B020	日本国憲法を学ぶ	講義	2								○					
		C1B101	英語 I A	演習	1						○							
		C1B102	英語 I B	演習	1						○							
		C1B103	英語 I C	演習	1						○							
		C1B104	英語 II A	演習	1							○						
		C1B105	英語 II B	演習	1							○						
C1B106		英語 II C	演習	1							○							
C2B107		実践英語 A	演習	1		1						○						
C2B108		実践英語 B	演習	1		1						○						
C2B109		韓国語	演習	1		1							○					
C2B110		中国語	演習	1		1							○					
コミュニ ケーション 科目	C2B111	ロシア語	演習	1		1							○					
	C1B112	日本語表現法	演習	1		1				○								
	C1B113	プレゼンテーション	演習	1		1					○							
	C1B114	基礎カウンセリング	演習	1		1				○								
	C1B115	対人コミュニケーション	演習	1		1					○							
	C2B116	グループ・ダイナミクス	演習	1		1						○						
	C1B117	手話	演習	1		1					○							
	C1B118	情報リテラシーⅠ	演習	1		1				○								
	C1B119	情報リテラシーⅡ	演習	1		1					○							
人間と命	N1B201	形態機能学Ⅰ	演習	2						○							5単位 以上	
	N1B202	形態機能学Ⅱ	演習	2						○								
	N2B203	生命科学	講義	1		1						○						
	N2B204	生命倫理	講義	1		1						○						
	N2B205	環境保健	講義	1		1						○						
	N2B206	人間工学	講義	1		1						○						
健康と健康 障害と予防	N1B207	薬理学	講義	2						○							12単位	
	N2B208	臨床薬理学	演習	1								○						
	N2B209	臨床栄養学	演習	1								○						
	N1B210	病理形態学	演習	2							○							
	N2B211	疾病治療学概論	演習	1								○						
	N2B212	疾病治療学A	演習	1								○						
	N2B213	疾病治療学B	演習	1								○						
	N2B214	疾病治療学C	演習	1									○					
	N1B215	感染予防論	講義	2						○								
	保健と医療と福祉	N2B216	公衆衛生学	演習	1							○						
N2B217		社会福祉学	講義	1									○					
N2B218		家族社会学	講義	1		1						○						
N2B219		チーム医療論	講義	1		1							○					
N2B220		感染管理論	講義	1		1							○					
N2B221		臨床心理学	講義	1		1							○					
N1B222		地域保健学概論	講義	1					○									
N3B223		保健医療福祉行政論Ⅰ	演習	1									○					
N4B224		保健医療福祉行政論Ⅱ	演習	1		1										○		
N3B225		保健統計	講義	2										○				
N3B226		疫学Ⅰ	講義	1										○				
N4B227		疫学Ⅱ	講義	1		1											○	
N2B228		医療情報	演習	1								○						



区分				科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位
							必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
											前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの本	N1B301	看護学原論	講義	1				○							7単位		
			N1B302	看護理論	講義	1					○								
			N2B303	援助の人間関係論	演習	1							○						
			N1B304	人間発達援助論	演習	1				○									
			N1B305	看護初期実習	実習	1				◎									
			N2B306	看護倫理学	講義	1							○						
			N3B307	健康教育指導法	演習	1								○					
		看護の基本的展開	N1B308	看護過程論	演習	1					○							10単位	
			N1B309	看護観察技術論	演習	1				○									
			N2B310	症状マネジメント論	演習	2						○							
			N1B311	基礎看護技術論	演習	2					○								
			N1B312	基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1					◎								
			N2B313	基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2						◎							
			N3B314	研究方法論	演習	1									○				
	小児	N2B315	小児看護学概論	講義	1								○				5単位		
		N3B316	小児看護援助論	演習	1									○					
		N3B317	小児看護技術論	演習	1										○				
		N3B318	小児看護学臨地実習	実習	2									◎					
	母性	N2B319	母性看護学概論	講義	1								○				5単位		
		N3B320	母性看護援助論	演習	1									○					
		N3B321	母性看護技術論	演習	1										○				
		N3B322	母性看護学臨地実習	実習	2									◎					
	成人	N2B323	成人看護学概論	講義	1								○				8単位		
		N2B324	成人看護援助論	演習	1							○							
		N3B325	成人看護技術論	演習	1									○					
		N2B326	成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3								◎						
	老年	N3B327	成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2									◎			6単位		
		N2B328	老年看護学概論	講義	1							○							
		N2B329	老年看護援助論	演習	1								○						
		N3B330	老年看護技術論	演習	1										○				
	精神	N3B331	老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1										◎		5単位		
		N3B332	老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2										◎				
		N2B333	精神看護学概論	講義	1							○							
		N2B334	精神看護援助論	演習	1								○						
	在宅	N3B335	精神看護技術論	演習	1										○		5単位		
		N3B336	精神看護学臨地実習	実習	2									◎					
		N2B337	在宅看護学概論	講義	1								○						
		N2B338	在宅看護援助論	演習	1								○						
	健康問題への対応	N3B339	在宅看護技術論	演習	1										○		5単位以上		
		N3B340	在宅看護学臨地実習	実習	2										◎				
		N3B341	リハビリテーション看護学	演習	1									○					
		N2B342	がん看護学	演習	1									○					
		N3B343	認知症ケア	演習	1										○				
		N3B344	透析ケア	講義		1									○				
		N3B345	重症集中ケア	講義		1									○				
		N3B346	救急看護学	講義		1									○				
		N3B347	放射線医療管理論	講義		1									○				
		N4B348	ベリネイタルケア	講義		1										○			
		N4B349	バリアティブケア	講義		1										○			
		N4B350	寒冷地医療	講義			1									○			
コミュニティーケアに関するもの	N2B401	公衆衛生看護学概論	講義	1								○				2単位以上 (保健師コース10単位)			
	N3B402	公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習	1										○					
	N3B403	公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習				1							○					
	N4B404	公衆衛生看護技術論	演習				1								○				
	N4B405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1										○				
	N4B406	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習				2							◎					
	N4B407	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習				3							◎					
発展・統合に関するもの	N4B408	看護管理学	演習	1											○	12単位以上			
	N3B409	看護教育学	講義	1										○					
	N4B410	卒業研究	演習	4											○				
	N4B411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎				
	N4B412	公衆衛生看護管理論	講義				1								○				
	N4B413	看護情報学	講義		1										○				
	N4B414	災害看護学	講義		1										○				
	N4B415	国際看護学	講義		1										○				
	N4B416	国際保健学	講義		1										○				
	N4B417	医療経営学	講義		1										○				
	N4B418	医療安全管理論	講義		1										○				
	N4B419	現代専門職論	講義		1										○				
	N5B421	地域プロジェクト	注4 演習					2	○	○	○	○	○	○	○		○		
N5B423	地域プロジェクトⅠ（基礎編）	注4 演習					2	○	○	○	○	○	○	○	○				
N5B424	地域プロジェクトⅡ（応用編）	注4 演習					2			○	○	○	○	○	○				
N5B425	地域プロジェクトⅢ（発展編）	注4 演習					2					○	○	○	○				
学部連携	N2B422	学部連携基礎論	講義	2							○					4単位			
	N3B420	学部連携演習	演習	2										○					

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

注4) 「地域プロジェクト」「地域プロジェクトⅠ(基礎編)」「地域プロジェクトⅡ(応用編)」「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2021年度開講しません。

※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



2017年度（編入学生は2019年度）以降入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
	文化に 対する 理 解	C1C001	哲学と倫理	講義	2			○								4単位 以上
		C1C002	宗教と思想	講義	2				○							
		C1C003	芸術と文化	講義	2				○							
		C2C004	教育を考える	講義	2						○					
		C2C005	生活と文化	講義	2						○					
		C2C006	ジェンダーと文化	講義	2						○					
	人間と 自然に 対する 理 解	C1C007	心のしくみ	講義	2				○							4単位 以上
		C1C008	体のしくみ	講義	2				○							
		C1C009	人間関係を考える	講義	2				○							
		C2C010	健康とスポーツ	講義	2						○					
		C2C011	環境を考える	講義	2						○					
		C1C012	自然科学を学ぶ	講義	2			○								
	社会に 対する 理 解	C1C013	動物のくらし	講義	2				○							4単位 以上
		C1C014	現代社会と家族	講義	2				○							
		C2C015	現代社会と国際関係	講義	2						○					
		C1C016	現代社会と経済	講義	2				○							
		C1C017	札幌を学ぶ	講義	2			○								
		C2C018	ボランティア活動を考える	講義	2						○					
	外国語	C1C019	統計の世界	講義	2				○							8単位 以上
		C2C020	日本国憲法を学ぶ	講義	2						○					
		C1C101	英語 I A	演習	1				○							
		C1C102	英語 I B	演習	1				○							
		C1C103	英語 I C	演習	1				○							
		C1C104	英語 II A	演習	1					○						
		C1C105	英語 II B	演習	1					○						
		C1C106	英語 II C	演習	1					○						
		C2C107	実践英語A	演習	1						○					
		C2C108	実践英語B	演習	1						○					
		C2C109	韓国語	演習	1							○				
		C2C110	中国語	演習	1							○				
	コミュニ ケーション ・ 情報技術	C2C111	ロシア語	演習	1							○				4単位 以上
		C1C112	日本語表現法	演習	1				○							
C1C113		プレゼンテーション	演習	1					○							
C1C114		基礎カウンセリング	演習	1				○								
C1C115		対人コミュニケーション	演習	1					○							
C2C116		グループ・ダイナミックス	演習	1						○						
C1C117		手話	演習	1					○							
C1C118		情報リテラシー I	演習	1				○								
人間と命	C1C119	情報リテラシー II	演習	1					○						5単位 以上	
	N1C201	形態機能学 I	演習	2				○								
	N1C202	形態機能学 II	演習	2				○								
	N2C203	生命科学	講義	1						○						
	N2C204	生命倫理	講義	1						○						
	N2C205	環境保健	講義	1						○						
	健康と健康 障害と予防	N2C206	人間工学	講義	1						○					12単位
		N1C207	薬理学	講義	2					○						
		N2C208	臨床薬理学	演習	1							○				
		N2C209	臨床栄養学	演習	1						○					
		N1C210	病理病態学	演習	2					○						
		N2C211	疾病治療学概論	演習	1						○					
		N2C212	疾病治療学A	演習	1						○					
		N2C213	疾病治療学B	演習	1						○					
		N2C214	疾病治療学C	演習	1							○				
N1C215		感染予防論	講義	2					○							
保健と医 療と福祉	N2C216	公衆衛生学	演習	1						○					9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	N2C217	社会福祉学	講義	1							○					
	N2C218	家族社会学	講義	1						○						
	N2C219	チーム医療論	講義	1							○					
	N2C220	感染管理論	講義	1							○					
	N2C221	臨床心理学	講義	1							○					
	N1C222	地域保健学概論	講義	1				○								
	N3C223	保健医療福祉行政論 I	演習	1								○				
	N4C224	保健医療福祉行政論 II	演習	1										○		
	N3C225	保健統計	講義	2								○				
	N3C226	疫学 I	講義	1								○				
	N4C227	疫学 II	講義	1										○		
	N2C228	医療情報	演習	1						○						



区分				科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位	
							必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
											前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門 教育科目	健康 レベルに応じて生活を援助するもの	看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1C301	看護学原論	講義	1				○								7単位	
				N1C302	看護理論	講義	1					○								
				N2C303	援助的人間関係論	演習	1							○						
				N1C304	人間発達援助論	演習	1				○									
				N1C305	看護初期実習	実習	1				◎									
				N2C306	看護倫理学	講義	1							○						
				N3C307	健康教育指導法	演習	1									○				
		看護の基本的展開	N1C308	看護過程論	演習	1					○									10単位
			N1C309	看護観察技術論	演習	1				○										
			N2C310	症状マネジメント論	演習	2						○								
			N1C311	基礎看護技術論	演習	2					○									
			N1C312	基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1					◎									
			N2C313	基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2						◎								
			N3C314	研究方法論	演習	1									○					
		小児	N2C315	小児看護学概論	講義	1								○					5単位	
			N3C316	小児看護援助論	演習	1									○					
			N3C317	小児看護技術論	演習	1										○				
			N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2										◎				
		母性	N2C319	母性看護学概論	講義	1								○					5単位	
			N3C320	母性看護援助論	演習	1									○					
			N3C321	母性看護技術論	演習	1										○				
			N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2										◎				
		成人	N2C323	成人看護学概論	講義	1							○						8単位	
			N2C324	成人看護援助論	演習	1							○							
			N3C325	成人看護技術論	演習	1									○					
			N2C326	成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3								◎						
		老年	N3C327	成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2										◎			6単位	
			N2C328	老年看護学概論	講義	1							○							
			N2C329	老年看護援助論	演習	1								○						
			N3C330	老年看護技術論	演習	1										○				
		精神	N3C331	老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1										◎			5単位	
			N3C332	老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2											◎			
			N2C333	精神看護学概論	講義	1							○							
			N2C334	精神看護援助論	演習	1								○						
		在宅	N3C335	精神看護技術論	演習	1									○				5単位	
			N3C336	精神看護学臨地実習	実習	2										◎				
			N2C337	在宅看護学概論	講義	1								○						
			N2C338	在宅看護援助論	演習	1								○						
		健康問題への対応	N3C339	在宅看護技術論	演習	1										○			5単位以上	
			N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2										◎				
			N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1									○					
			N2C342	がん看護学	演習	1								○						
			N3C343	認知症ケア	演習	1									○					
			N3C344	透析ケア	講義	1														
			N3C345	重症集中ケア	講義	1										○				
			N3C346	救急看護学	講義	1										○				
			N3C347	放射線医療管理論	講義	1										○				
			N4C348	ペリネイタルケア	講義	1												○		
		N4C349	バリアティブケア	講義	1												○			
		コミュニ ティケア に関するもの	N4C350	寒冷地医療	講義	1												○	2単位以上 （保健師 コース 10単位）	
			N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1								○						
			N3C402	公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習	1										○				
			N3C403	公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習			1								○				
			N4C404	公衆衛生看護技術論	演習			1									○			
			N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1										○			
			N4C406	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習				2								◎			
		発展・統 合に關するもの	N4C407	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習				3									◎	12単位以上	
			N4C408	看護管理学	演習	1												○		
			N3C409	看護教育学	講義	1										○				
			N4C410	卒業研究	演習	4											○	○		
			N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3												◎		
			N4C412	公衆衛生看護管理論	講義			1										○		
			N4C413	看護情報学	講義		1										○			
			N4C414	災害看護学	講義		1										○			
			N4C415	国際看護学	講義		1										○			
			N4C416	国際保健学	講義		1										○			
			N4C417	医療経営学	講義		1										○			
			N4C418	医療安全管理論	講義		1										○			
			N4C419	現代専門職論	講義		1										○			
			N5C423	地域プロジェクトⅠ（基礎編）注4	演習				2	○	○	○	○							
			N5C424	地域プロジェクトⅡ（応用編）注4	演習				2			○	○	○	○	○	○	○		
			N5C425	地域プロジェクトⅢ（発展編）注4	演習				2					○	○	○	○	○		
			学部連携	N2C422	学部連携基礎論	講義	2							○						
		N3C420		学部連携演習	演習	2									○					

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

注4) 「地域プロジェクトⅠ(基礎編)」「地域プロジェクトⅡ(応用編)」「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2021年度開講しません。

※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



② 卒業要件

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多 歳子 本田 光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣和香子 檜山 明子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎小田 和美 荒木 奈緒 松浦 和代 貝谷 敏子 守村 洋
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎藤井 瑞恵 大野 夏代 神島 滋子 菅原 美樹 本田 光 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎武富貴久子 檜山 明子 大野 夏代 鬼塚 美玲 渋谷 友紀 吉田 実和
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塚原 智英 ★金関 貴幸 ★久保 輝文 ★村田 憲司
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣和香子 檜山 明子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎武富貴久子 大野 夏代 檜山 明子 吉田 実和
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎檜山 明子 樋之津淳子 武富貴久子 大野 夏代 矢野祐美子 吉田 実和
基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	1年次後期	◎樋之津淳子 定廣和香子 大野 夏代 檜山 明子 武富貴久子 吉田 実和 石引かずみ 大友 舞 坂本 結城 鬼塚 美玲 近藤 圭子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 渋谷 友紀 市戸 優人 田仲 里江 中田亜由美 高橋 葉子
地域プロジェクトⅠ (基礎編)	演習・60時間	1・2年次 通年	◎若林 尚樹 藤井 瑞恵
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★鈴木 健史
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子 樋之津淳子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★檀上 渉
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★和田 典男 他
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	◎★永坂 敦 他
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋 恭子
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平 小田 和美 松浦 和代
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎★小笠原克彦 ★谷 祐児
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎藤井 瑞恵 川村三希子 神島 滋子 菅原 美樹 村松 真澄 工藤 京子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	2年次前期	◎檜山 明子 定廣和香子 樋之津淳子 武富貴久子 大野 夏代 大友 舞 坂本 結城 鬼塚 美玲 近藤 圭子 渋谷 友紀 田仲 里江 中田亜由美 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 市戸 優人 高橋 葉子
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎卯野木 健 小田 和美 川村三希子
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎神島 滋子 小田 和美 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	貝谷 敏子
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎佐藤ひとみ 原井 美佳 藤井 瑞恵 ◎椎野亜紀夫 小宮加容子 福田 大年 安齋 利典 金 秀敬
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★後藤 仁和 ★川本由加里 ★加納 宏樹
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	◎★三澤 一仁 他
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 卯野木 健 牧田 靖子 ★土佐理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 藤井 瑞恵 伊東健太郎 渋谷 友紀 栗原 知己
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎荒木 奈緒 檜山 明子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	荒木 奈緒



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
成人看護学臨地実習Ⅰ	実習・135時間	2年次後期	◎工藤 京子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 大野 夏代 吉田 実和 鬼塚 美玲 近藤 圭子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 坂本 結城 渋谷 友紀 市戸 優人 田仲 里江 中田亜由美 高橋 葉子
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 中田亜由美 ★前沢 政次
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東健太郎 渋谷 友紀 ★松原 良次
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地ひろみ
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城 ★石谷 夕子 ★松田 諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村三希子 松浦 和代 齋 若奈 平山 憲吾
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクトⅡ (応用編)	演習・60時間	2・3・4年次 通年	◎若林 尚樹 藤井 瑞恵
保健医療福祉行政論Ⅰ	演習・30時間	3年次前期	◎田仲 里江 本田 光 守村 洋 矢野祐美子 近藤 圭子 市戸 優人
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★榎 洋一
疫学Ⅰ	講義・15時間	3年次前期	★池野多美子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎牧田 靖子 松浦 和代 ★畠山 欣也 ★水島 正人
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本真由美 石引かずみ ★菅原 照夫
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎齋 若奈 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 栗原 知己 平山 憲吾
成人看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次前期	◎菅原 美樹 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 神島 滋子 藤井 瑞恵 工藤 京子 齋 若奈 栗原 知己 平山 憲吾
老年看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 中田亜由美
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城 ★鈴木 英樹
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎神島 滋子 ★山中 康裕 ★石井 陽史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 貝谷 敏子
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 近藤 圭子 市戸 優人
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎神島 滋子 菅原 美樹 檜山 明子 ★平 紀子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 ★能登奈々枝
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎石引かずみ 山本真由美 大友 舞
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本真由美 荒木 奈緒 石引かずみ 大友 舞
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 中田亜由美
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳 中田亜由美
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井 瑞恵 ★木村 剛 ★宮腰 麻矢
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 栗原 知己 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★池田 光 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎近藤 圭子 本田 光 市戸 優人 田仲 里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎本田 光 近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣和香子
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎喜多 歳子 荒木 奈緒 小田 和美 神島 滋子 工藤 京子 武富貴久子 原井 美佳 近藤 圭子 齋 若奈 渋谷 友紀 中田亜由美 ◎柿山浩一郎 大渕 一博 藤木 淳 三谷 篤史 武田 亘明 小林 重人 森 朋子 石田 勝也 松永 康佑 大島 卓 須之内元洋
地域プロジェクトⅢ (発展編)	演習・60時間	3・4年次 通年	◎若林 尚樹 藤井 瑞恵
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎黒田 紀子 田仲 里江
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村三希子 平山 憲吾
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 近藤 圭子 ★前沢 政次
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎田仲 里江 喜多 歳子 大野 夏代 本田 光 市戸 優人 近藤 圭子
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習・ 135時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 大野 夏代 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎矢野祐美子 本田 光 鬼塚 美玲 田仲 里江 ★浅井 康文
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	大野 夏代



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲 ★勝見 真澄
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 檜山 明子 矢野祐美子 鬼塚 美玲
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津淳子 佐藤ひとみ ★上田 順子 ★釣部 公映 ★木村 禎 ★田中 聖美
保健医療福祉行政論Ⅱ	演習・30時間	4年次後期	◎本田 光 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
疫学Ⅱ	講義・15時間	4年次後期	喜多 歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・ 135時間	4年次後期	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ 大野 夏代 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 鬼塚 美玲
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎本田 光 喜多 歳子 市戸 優人
卒業研究	演習・ 120時間	4年次通年	◎小田 和美 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 本田 光 村松 真澄 守村 洋 石引かずみ 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美 市戸 優人 鬼塚 美玲 近藤 圭子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 坂本 結城 渋谷 友紀 田仲 里江 中田亜由美 牧田 靖子 吉田 実和

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	2021年6月8日～10日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		老人福祉センター	0名
		健診センター、その他	0名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	2021年10月11日～14日	医療機関	172名
基礎看護学臨地実習Ⅱ	2021年5月24日～6月4日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
成人看護学臨地実習Ⅰ	2021年10月25日～11月12日	医療機関	816名
老年看護学臨地実習Ⅰ	2021年5月10日～14日 (すべてオンライン実習)	老人福祉センター	0名
		介護老人保健施設	0名
		老人クラブ	0名
成人看護学臨地実習Ⅱ	2021年6月21日～7月30日 (学内演習・シャドウイング実習)	医療機関	20名
精神看護学臨地実習	2021年6月21日～7月30日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		社会福祉施設	0名
在宅看護学臨地実習	2021年6月21日～7月30日 (すべて学内演習)	医療機関	0名
		訪問看護ステーション	0名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	0名
母性看護学臨地実習	2021年11月22日 ～2021年1月28日 (一部実習中止)	医療機関	354名
小児看護学臨地実習	2021年11月22日 ～2021年1月28日 (一部実習中止)	医療機関	361名
		保育所	201名
老年看護学臨地実習Ⅱ	2021年11月22日 ～2021年1月28日 (一部実習中止)	医療機関	414名
		介護老人保健施設	104名
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	2021年6月14日～7月30日 (学内演習、一部実習実施)	保健所・保健センター	名
		事業所	84名
		教育機関	0名
ヘルスケアマネジメント実習	2021年9月21日～10月7日	医療機関	876名
		介護老人保健施設	48名



5 デザイン研究科

1) 2021年度時間割

① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			認知・感性 科学特論					コミュニケー ション特論
2	10:40 ～ 12:10			メカトロニ クス特論		製品造形特論		建築構造デ ザイン特論	国際関係 特論
3	13:10 ～ 14:40	環境共生 デザイン特論		製品デザイ ン特論		形状情報処 理特論			少子高齢社 会特論
4	14:50 ～ 16:20	環境マネジ メント特論		景観デザイ ン特論		インタラク ションデザ イン特論		地域創成デ ザイン特別 セミナーB	連携プロジェ クト演習
5	16:30 ～ 18:00	建築計画特論		インターシッ プ I (事前講義) インターシッ プ II (事前講義)		地域創成デ ザイン特別 セミナーA			
6	18:10 ～ 19:40	デザイン 研究法	人間空間デ ザイン研究法 人間情報デ ザイン研究法	デザイン特論	メディアプロ デュース特論		地域プロジェ クト演習		
7	19:50 ～ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習及び博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

② 後期

		月		火	水	木	金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			地域環境 評価特論		インタフェースデザイン 特論	建築環境学 特論	健康福祉 政策特論
2	10:40 ～ 12:10	ビジュアル デザイン特論		製品評価特論		コンピューショナル・ アート特論	デザインマネ ジメント特論	地域経済 政策特論
3	13:10 ～ 14:40	地域ブランド 構築特論				映像デザイン特論		ヒューマニ ティ特論
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史 特論						連携プロジェ クト演習
5	16:30 ～ 18:00					感性価値特論		
6	18:10 ～ 19:40	現代芸術特論	人間空間デ ザイン特講 人間情報デ ザイン特講					
7	19:50 ～ 21:20							



2) カリキュラム

① 授業科目一覧
＜博士前期課程＞

2019年度以降入学生用

科目 区分	授業科目の名称	科目 ナンバリング	配当年次 (時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
				必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
							建築・環境 デザイン	地域コミュニケー ションデザイン	ものづくり デザイン	情報コミュニケー ションデザイン
							研究テーマ例		研究テーマ例	
研究科 連携科目	国際関係特論	C5D701	1・2 前		2				△	(△)
	少子高齢社会特論	C5D702	1・2 前		2		(△)	(△)		
	健康福祉政策特論	C5D703	1・2 後		2					
	地域経済政策特論	C5D704	1・2 後		2		△	(△)		
	ヒューマニティ特論	C5D705	1・2 後		2				(△)	(△)
	コミュニケーション特論	C5D706	1・2 前		2		(△)	△	(△)	△
	連携プロジェクト演習	C1D701	1 通		2		△	△	△	△
	小計 (7科目)		-	-	14	-	4単位以上			
専 門 教 育 科 目	デザイン特論	D1D801	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	D1D802	1 前		2		△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	D1D803	1 後		2		(△)	△	(△)	△
	小計 (3科目)		-	2	4	-	4単位以上			
	建築計画特論	D5D801	1・2 前		2		△■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	D5D802	1・2 後		2		△■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	D5D803	1・2 前		2		△■			
	日本建築史特論	D5D804	1・2 後		2		(△)			
	景観デザイン特論	D5D805	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	D5D806	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	D5D807	1・2 前		2		△■	(△)		
	環境マネジメント特論	D5D808	1・2 前		2		(△)	△		(△)
	現代芸術特論	D5D809	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	D5D810	1・2 前		2			△		(△)
	地域ブランド構築特論	D5D811	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	D5D841	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	D5D842	1・2 後		2				△	(△)
	メカトロニクス特論	D5D843	1・2 前		2				△	(△)
	インタフェースデザイン特論	D5D844	1・2 後		2			(△)	△	(△)
	製品デザイン特論	D5D845	1・2 前		2				△	(△)
	感性価値特論	D5D846	1・2 後		2			(△)	(△)	△
	認知・感性科学特論	D5D847	1・2 前		2		(△)		(△)	△
	インタラクションデザイン特論	D5D848	1・2 前		2				△	△
	形状情報処理特論	D5D849	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	D5D850	1・2 後		2				(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	D5D851	1・2 後		2					(△)
	コンピュータグラフィックス・アート特論	D5D852	1・2 後		2		(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	D1D804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎
	小計 (24科目)		-	2	46	-	12単位以上			
実 践 科 目	地域プロジェクト演習	D2D801	2 前	2			◎■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5D891	1・2 前		2			△		
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5D892	1・2 前		2					△
	インターンシップ I	D5D893	1・2 集中		2		△■		△	
	インターンシップ II	D5D894	1・2 集中			4	△■			
	小計 (5科目)		-	2	6	4	4単位以上			
修 了 研 究	特別研究	D5D899	1~2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計 (1科目)		-	6	-	-	6単位			
合計 (40科目)			-	12	70	4	30単位以上			

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補 (研究課題によって選択)

■：一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目 (8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。



< 博士後期課程 >

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本科目	D1A901	横断型連携特別演習	1通年	2				○	
	D1A902	人間空間デザイン研究法	1前期		2		○		
	D1A903	人間情報デザイン研究法	1前期		2		○		
	小計（3科目）		－	2	4	0	－		
展開科目	D1A911	人間空間デザイン特講	1後期		2		○		
	D1A912	人間情報デザイン特講	1後期		2		○		
	D2A911	博士デザイン特別演習	2前期	2				○	
	小計（3科目）		－	2	4	0	－		
研究指導科目	D1A911	博士特別研究Ⅰ	1通年	2				○	
	D1A912	博士特別研究Ⅱ	2通年	2				○	
	D2A911	博士特別研究Ⅲ	3通年	4				○	
	小計（3科目）		－	8	0	0	－		
合計（9科目）			－	12	8	0			

② 修了要件

< 博士前期課程 >

科目区分			修了要件
研究科連携科目			4単位以上
専門教育科目	基本科目		4単位以上
	展開科目	人間空間デザイン分野	12単位以上
		人間情報デザイン分野	
	実践科目		4単位以上
	修了研究		6単位
合計			30単位以上

「研究科連携科目」から 4 単位以上、「基本科目」から 4 単位以上 (必修 2 単位を含む)、「展開科目」から 12 単位以上 (必修 2 単位を含む)、「実践科目」から 4 単位以上 (必修 2 単位を含む)、「特別研究」を 6 単位、合計 30 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査に合格したものに学位を授与する。

< 博士後期課程 >

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から 4 単位以上 (必修 2 単位を含む)、「展開科目」から 4 単位以上 (必修 2 単位を含む)、「研究指導科目」から 8 単位、合計 16 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査に合格したものに学位を授与する。



3) 教育活動
 <博士前期課程>
 研究科連携科目

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎和代 張 浦華 石井 雅博 安齋 利典 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎町田佳世子 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎石井 雅博 金子 晋也 横溝 賢 矢久保空遥 荒木 奈緒 佐藤ひとみ 神島 滋子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

専門教育科目

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 石井 雅博 柿山浩一郎
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	◎安齋 利典 ★及川 雅稔 ★近藤 公彦 ★高橋 尚基
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	西川 忠
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	金子 晋也
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	椎野亜紀夫
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	森 朋子
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	大島 卓
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	片山めぐみ
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎柿山浩一郎 張 浦華
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	若林 尚樹
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	安齋 利典
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬



認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次前期	石井 雅博
インタラクショナルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎細谷 多聞 小宮加容子
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	★城間 祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	横溝 賢
コンピュータショナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	山田 良
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	★久保 俊哉
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	小林 重人
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 金子 晋也 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎石井 雅博 柿山浩一郎 齊藤 雅也 藤木 淳 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 山田 信博 松永 康佑
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	◎齊藤 雅也 山田 良 小宮加容子
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	1・2年次前期	◎安齋 利典 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史
インターンシップⅠ	実習・90時間	1・2年次集中	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫 山田 良 大島 卓 森 朋子 山田 信博 横溝 賢 片山めぐみ
インターンシップⅡ	実習・180時間	1・2年次集中	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫 大島 卓 森 朋子 山田 信博
特別研究	演習・90時間	1～2年次通年	◎石井 雅博 細谷 多聞 安齋 利典 柿山浩一郎 齊藤 雅也 椎野亜紀夫 藤木 淳 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 金子 晋也 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

＜博士後期課程＞

授業科目	授業 形態	年次	担当教員
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 齊藤 雅也
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史 石井 雅博 細谷 多聞
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎柿山浩一郎 石井 雅博 小林 重人 小宮加容子 森 朋子 横溝 賢
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎山田 良 山田 信博
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎藤木 淳 安齋 利典 柿山浩一郎



博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 小林 重人	細谷 多聞 齊藤 雅也 三谷 篤史 森 朋子	安齋 利典 椎野亜紀夫 山田 良 山田 信博
博士特別研究Ⅰ	演習・30時間	1年次通年	石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 小林 重人	細谷 多聞 齊藤 雅也 三谷 篤史 森 朋子	安齋 利典 椎野亜紀夫 山田 良 山田 信博
博士特別研究Ⅱ	演習・30時間	2年次通年	石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 小林 重人	細谷 多聞 齊藤 雅也 三谷 篤史 森 朋子	安齋 利典 椎野亜紀夫 山田 良 山田 信博
博士特別研究Ⅲ	演習・60時間	3年次通年	石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 小林 重人	細谷 多聞 齊藤 雅也 三谷 篤史 森 朋子	安齋 利典 椎野亜紀夫 山田 良 山田 信博



6 看護学研究科

1) 2021年度時間割

<博士前期課程>

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20	看護理論特論 D401	看護コンサル テーション特論 D402	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支 援看護学特論 D402 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
5	16:30 ～ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 小児看護学特論C がん薬物療法看護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D402
		在宅看護学特論B 急性期看護学特論					
6	18:10 ～ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援看 護学特論 D402 小児看護学特論C がん看護・緩和ケア 特論	看護専門職教育 特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア看護 学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
		在宅看護学特論B 急性期看護学特論					
7	19:50 ～ 21:20	看護理論特論 D401	看護コンサル テーション特論 D402	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 がん薬物療法看 護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D401 臨床哲学特論 D402

※「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マ ネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論 (後期)		アドバンスト・ フィジカルアセス メント論	連携プロジェクト演習	
		フィジカルアセスメント論 D402			
		病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402		がん病態治療特論
				小児看護学演習B	
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マ ネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論 (後期)	病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402		
			アドバンスト・ フィジカルアセス メント論		
		フィジカルアセスメント論 D402			



②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ～ 18:00		老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	在宅看護学特論E	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		がん看護・緩和ケア演習 がん薬物療法看護学演習		クリティカルケア看護学演習Ⅱ	
6	18:10 ～ 19:40		老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	小児看護学特論D	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		がん看護・緩和ケア演習 がん薬物療法看護学演習		クリティカルケア看護学演習Ⅱ	
7	19:50 ～ 21:20					在宅看護学特論E	

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学 特論（後期）					
				小児看護学演習B がん看護学演習Ⅱ	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学 特論（後期）					



< 博士後期課程 >

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20			後期特別研究ⅠⅡⅢ			
5	16:30 ～ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ～ 19:40			後期特別研究ⅠⅡⅢ			
7	19:50 ～ 21:20			(横断型連携特別演習)			

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 「後期特別研究ⅠⅡⅢ」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講				横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					
看護学特講					
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

<博士前期課程>

2017年度以前入学生用

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5A701	国際関係特論	1・2 前		2		○			4単位以上
	C5A702	少子高齢社会特論	1・2 前		2		○			
	C5A703	健康福祉政策特論	1・2 後		2		○			
	C5A704	地域経済政策特論	1・2 後		2		○			
	C5A705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2		○			
	C5A706	コミュニケーション特論	1・2 前		2		○			
	C1A701	連携プロジェクト演習	1 通		2			○		
専 門 基 礎 科 目	N1A801	看護理論特論	1 前	2			○			8単位以上
	N1A802	看護研究法特論	1 前	2			○			
	N1A803	看護倫理特論	1 前		2		○			
	N1A804	看護管理学特論	1 前		2		○			
	N1A805	臨床哲学特論	1 後		2		○			
	N1A806	看護コンサルテーション特論	1 後		2		○			
	N1A807	看護専門職教育特論	1 前		2		○			
	N1A808	継続教育特論	1 後		2		○			
	N1A809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2		○			
	N1A810	家族看護学特論	1 後		2		○			
専 門 実 践 科 目	N1A821	地域生活看護学特論	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N5A821	老年看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A822	在宅看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A823	地域看護学特論	1・2 後		2		○			
	N1A822	地域生活看護学演習	1 通		2			○		
	N5A824	老年看護学演習	1・2 通		2			○		
	N5A825	在宅看護学演習	1・2 通		2			○		
	N5A826	地域看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1A831	母子看護学特論	1 前		2		○			
	N5A831	母性看護学特論	1・2 後		2		○			
教 育 科 目	N1A832	小児看護学特論A	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N1A833	小児看護学特論B	1 後		2		○			
	N1A834	小児看護学特論C	1 後		1		○			
	N2A831	小児看護学特論D	2 前		1		○			
	N1A835	母子看護学演習	1 通		2			○		
	N5A832	母性看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1A836	小児看護学演習A	1 通		2			○		
	N5A833	小児看護学演習B	1・2 通		2			○		
	N5A834	小児看護学実習 I	1・2 通		4				○	
	N5A835	小児看護学実習 II	1・2 通		2				○	
教 育 科 目	N1A841	成人看護学特論	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N5A841	急性期看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A842	慢性期看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A843	がん看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A844	急性期病態管理学特論	1・2 後		2		○			
	N1A842	クリティカルケア看護学特論	1 前		1		○			
	N1A843	がん看護学・緩和ケア特論	1 前		1		○			
	N1A844	がん看護学・緩和ケア援助特論	1 後		1		○			
	N1A845	腫瘍学特論	1 前		2		○			
	N1A846	病態治療特論	1 後		2		○			
教 育 科 目	N1A847	成人看護学演習	1 通		2			○		1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N5A845	急性期看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1A848	アドバンス・フィジカルアセスメント演習	1 前		1			○		
	N1A849	クリティカルケア看護学演習	1 通		2			○		
	N5A846	慢性期看護学演習	1・2 通		2			○		
	N5A847	がん看護学演習 I	1・2 通		2			○		
	N2A841	がん看護学演習 II	2 通		2			○		
	N5A848	急性期看護学実習	1・2 通		6				○	
	N1A850	がん看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2A842	がん看護学実習 II	2 通		4				○	
教 育 科 目	N1A861	精神看護学特論 I	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N5A861	精神看護学特論 II	1・2 後		2		○			
	N5A862	精神看護学特論 III	1・2 前		2		○			
	N5A863	精神看護学特論 IV	1・2 前		1		○			
	N1A862	精神看護学特論 V	1 後		2		○			
	N2A861	精神看護学特論 VI	2 前		2		○			
	N1A863	精神看護学演習 I	1 通		2			○		
	N5A864	精神看護学演習 II	1・2 通		2			○		
	N5A865	精神看護学演習 III	1・2 通		2			○		
	N1A864	クリティカル精神看護学演習	1 後		1			○		
教 育 科 目	N2A862	リハビリテーション精神看護学演習	2 前		1			○		1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N1A865	精神看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2A863	精神看護学実習 II	2 通		4				○	
	N1A871	看護技術学特論 I	1 前		2		○			
	N5A871	看護技術学特論 II	1・2 後		2		○			
	N1A872	看護技術学演習 I	1 通		2			○		
	N5A872	看護技術学演習 II	1・2 通		2			○		
	N1A881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2		○			
	N5A881	看護教育学特論	1・2 後		2		○			
	N1A882	看護マネジメント学特論	1・2 後		2		○			
教 育 科 目	N1A882	看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2			○		1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）
	N5A883	看護教育学演習	1・2 通		2			○		
	N5A884	看護マネジメント学演習	1・2 通		2			○		
	N5A891	特別研究	1・2 通		8			○		
	N5A892	課題研究	1・2 通		4			○		



2018年度以降入学生用

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前		2		○			4単位以上
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前		2		○			
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後		2		○			
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後		2		○			
	C5B705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2		○			
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前		2		○			
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通		2			○		
専 門 基 礎 科 目	N1B801	看護理論特論	1 前	2			○			(専門看護師認定希望者14単位以上)
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2			○			
	N1B803	看護倫理特論	1 前		2		○			
	N1B804	看護管理学特論	1 前		2		○			
	N1B805	臨床哲学特論	1 後		2		○			
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後		2		○			
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前	2			○			
	N1B808	継続教育特論	1 後	2			○			
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後	2			○			
	N1B810	家族看護学特論	1 後	2			○			
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通	2			○			
	N1B812	病態生理学特論	1 前	2			○			
	N1B813	臨床薬理特論	1 後	2			○			
	N1B821	地域生活看護学特論	1 前	2			○			
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後	2			○			
専 門 実 践 科 目	N1B822	在宅看護学特論A	1 後	1			○			1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B823	在宅看護学特論B	1 通	1			○			
	N1B824	在宅看護学特論C	1 後	2			○			
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前	2			○			
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前	2			○			
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後	2			○			
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通	2				○		
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通	2				○		
	N1B826	在宅看護学演習	1 通	2				○		
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通	2				○		
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 通	2					○	
	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通	3					○	
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通	3					○	
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通	2					○	
専 門 実 践 科 目	N1B831	母子看護学特論	1 前	2			○			1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N5B831	母子看護学特論	1・2 後	2			○			
	N1B832	小児看護学特論A	1 前	2			○			
	N1B833	小児看護学特論B	1 後	2			○			
	N1B834	小児看護学特論C	1 後	1			○			
	N2B831	小児看護学特論D	2 前	1			○			
	N1B835	小児看護学特論E	1 後	2			○			
	N1B836	母子看護学演習	1 通	2				○		
	N5B832	母子看護学演習	1・2 通	2				○		
	N1B837	小児看護学演習A	1 通	2				○		
	N5B833	小児看護学演習B	1・2 通	2				○		
	N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後	2					○	
	N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通	4					○	
	N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通	4					○	
専 門 実 践 科 目	N1B841	成人看護学特論	1 前	2			○			1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B842	急性期看護学特論	1 通	2			○			
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後	2			○			
	N1B843	がん看護学特論	1 後	2			○			
	N5B842	急性期病態管理学特論	1・2 後	2			○			
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後	2			○			
	N1B845	アドバンスト・フィジカルアセスメント論	1 後	2			○			
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後	2			○			
	N1B847	がん薬物療法看護学特論	1 後	2			○			
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後	2			○			
	N1B849	がん病態治療特論	1 後	2			○			
	N1B850	成人看護学演習	1 通	2				○		
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通	2				○		
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通	2				○		
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通	2				○		
専 門 実 践 科 目	N5B844	慢性期看護学演習	1・2 通	2				○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N2B843	がん薬物療法看護学演習	2 通	2				○		
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通	2				○		
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後	3					○	
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通	3					○	
	N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通	2					○	
	N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通	2					○	
	N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後	2					○	
	N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通	4					○	
	N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通	4					○	
専 門 実 践 科 目	N1B861	精神看護学特論A	1 前	2			○			1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B862	精神看護学特論B	1 後	2			○			
	N1B863	精神看護学特論C	1 後	2			○			
	N1B864	精神看護学特論D	1 後	2			○			
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前	1			○			
	N1B865	精神看護学演習A	1 通	2				○		
	N2B862	精神看護学演習B	2 通	2				○		
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後	1				○		
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後	2					○	
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後	2					○	
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通	4					○	
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通	2					○	
専 門 実 践 科 目	N1B871	看護技術特論 I	1 前	2			○			1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N5B871	看護技術特論 II	1・2 後	2			○			
	N1B872	看護技術演習 I	1 通	2				○		
	N5B872	看護技術演習 II	1・2 通	2				○		
	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前	2			○			
	N5B881	看護教育学特論	1・2 後	2			○			
	N5B882	看護マネジメント学特論	1・2 後	2			○			
	N1B882	看護教育・看護マネジメント学演習	1 通	2				○		
	N5B883	看護教育学演習	1・2 通	2				○		
	N5B884	看護マネジメント学演習	1・2 通	2				○		
研究	N5B891	特別研究	1～2 通	8				○		8単位 (専門看護師認定希望者4単位)
	N5B892	課題研究	1～2 通	4				○		

＜博士後期課程＞

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
連携科目 博士後期	N1A901	横断型連携特別演習	1 通	2				○		2 単位
博士後期専門科目	N1A911	看護学特講	1 前	2			○			4 単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1 通		2			○		
博士後期研究指導科目	N1A921	後期特別研究Ⅰ	1 通	2				○		8 単位
	N2A921	後期特別研究Ⅱ	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究Ⅲ	3 通	4				○		

② 修了要件

＜博士前期課程＞

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合 計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	20	—	24
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	16	—	16
選択する領域・分野から	—	8	—	8
研究	—	8	—	8
合 計	4	26	—	30

※専門看護師コース

(2017年度以前入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合 計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	24	—	28
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	20	—	20
選択する領域・分野から	—	16	—	16
研究	—	4	—	4
合 計	4	30	—	34

(2018年度以降入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合 計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	36	—	40
専門基礎科目	4	10	—	14
専門科目	—	26	—	26
選択する領域・分野から	—	22	—	22
研究	—	4	—	4
合 計	4	42	—	46

<博士後期課程>

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合 計	12	2	—	14

3) 教育活動

<博士前期課程>

授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎和代 安齋 利典 石井 雅博 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎町田佳世子 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 佐藤ひとみ 神島 滋子 石井 雅博 横溝 賢 金子 晋也 矢久保空遥
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 小田 和美 川村三希子 菅原 美樹 ★山内まゆみ
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎貝谷 敏子 喜多 歳子 菊地ひろみ 松浦 和代 ★平 紀子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎川村三希子 荒木 奈緒 ★古都 昌子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎佐藤ひとみ ★勝見 真澄
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次後期	★尾形 敬次



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎佐藤ひとみ 牧田 靖子 ★藤野 智子 ★葛西 陽子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎定廣和香子 ★古都 昌子 ★舟島なをみ ★中山登志子 ★佐藤 紀子 ★田中かおり
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★池田 貴夫 ★前沢 政次 ★鈴木 英樹
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田 和美 菊地ひろみ ★柳原 清子 ★川村 真澄
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 ★羽賀 将衛 ★石川 幸司 ★牧野 夏子
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎★齋藤 重幸 卯野木 健 神島 滋子 藤井 瑞恵 ★岡村 英明 ★増田 陽介 ★今井 崇
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齋藤 浩司 松浦 和代 川村三希子 菊地ひろみ 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ 貝谷 敏子 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳 ★樋渡ひとみ ★大久保抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次通年	◎菊地ひろみ ★山内 豊明
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★鈴木眞一郎 ★吉崎 秀夫 ★土島 智幸 ★西川 就 ★矢崎 一雄 ★今井 浩平
在宅看護学特論D	講義・30時間	2年次前期	◎菊地ひろみ 村松 真澄 ★鈴木 英樹
在宅看護学特論E	講義・30時間	2年次前期	菊地ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 菊地ひろみ 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄 高橋 奈美 原井 美佳 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美 ★門脇 陸子
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 喜多 歳子
高度在宅看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次通年	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
高度在宅看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習Ⅲ	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 荒木 奈緒
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	荒木 奈緒
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎★佐野 仁美 松浦 和代 牧田 靖子 ★水島 正人 ★畠山 欣也 ★伊藤 智城 ★山崎 健史 ★工藤絵理子
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 松浦 和代 石引かずみ ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 黒田 紀子
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎松浦 和代 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 牧田 靖子
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎卯野木 健 ★七戸 康夫 ★上村 修二 ★提嶋 久子
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★小川 謙 ★木村 禎
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★荒尾 晴恵
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 川村三希子 ★福原 敬 ★鈴木恵士郎
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田 和美 神島 滋子 藤井 瑞恵 ★山内 豊明
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★平尾 明美 ★藤野 智子
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	演習・60時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★伊藤 伸子
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★平尾 明美
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田 和美 藤井 瑞恵
がん薬物療法看護演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 齋 若奈 ★小野 聡子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★内海 明美 ★田中いづみ
高度急性期看護学実習Ⅰ	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★藤野 智子
高度急性期看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
高度急性期看護学実習Ⅲ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度急性期看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	川村三希子
高度がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子
高度がん看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子
精神看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則
精神看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★吉野 淳一
精神看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★齊藤 浩司 ★吉野 淳一
精神看護学特論D	講義・30時間	1年次後期	◎★山本 勝則 守村 洋
慢性期精神看護学特論	講義・15時間	2年次前期	◎★山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
精神看護学演習B	演習・60時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
慢性期精神看護学演習	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎 ★中村 創
高度精神看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎伊東健太郎 守村 洋
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津淳子 檜山 明子
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 檜山 明子 ★山内 豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎檜山 明子 樋之津淳子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣和香子 佐藤ひとみ
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	佐藤ひとみ
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 佐藤ひとみ
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	定廣和香子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	佐藤ひとみ
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 小田 和美 貝谷 敏子 川村三希子 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 松浦 和代 神島 滋子 菅原 美樹 檜山 明子 村松 真澄 守村 洋 藤井 瑞恵 本田 光 原井 美佳 檜山 明子
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 卯野木 健 川村三希子 松浦 和代 菅原 美樹 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



＜博士後期課程＞

授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎樋之津淳子 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎喜多 歳子 卯野木 健 貝谷 敏子 松浦 和代 ★真田 弘美 ★スーディ神崎 和代 ★中山 和弘
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 村松 真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 喜多 歳子 佐藤ひとみ 本田 光
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

7 助産学専攻科

1) 2021年度時間割

① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計			30

② 修了要件

30単位（全科目必修）

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒 ★吉 裕子 ★佐藤みはる
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎山本真由美 石引かずみ 黒田 紀子 ★高野 良子 ★後藤 仁和 ★西 基 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★津村 宣彦 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★木島 弘道
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎黒田 紀子 石引かずみ ★柳内 聖香 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 山本真由美
分娩期助産診断・技術学	演習・60時間	前期	◎黒田 紀子 山本真由美 大友 舞 石引かずみ ★塩津 英之
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本真由美 大友 舞
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 黒田 紀子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
周産期ハイリスク援助論	演習・30時間	前期	◎荒木 奈緒 大友 舞 ★平山 恵美 ★佐野 敬夫 ★塩野 展子 ★古瀬 優太 ★石田 桐代 ★城戸真紗美
地域母子保健論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 大野 夏代 ★阿部位江子 ★藤田 泰恵
助産管理論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 ★釣部 公映 ★下山 友子 ★佐々木理恵 ★川名 愛深
助産学実習Ⅰ	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習Ⅱ	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習Ⅲ	実習・135時間	通年	◎石引かずみ 荒木 奈緒 黒田 紀子 山本真由美 大友 舞
助産学実習Ⅳ	実習・90時間	後期	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 山本真由美 大友 舞 石引かずみ
助産学実習Ⅴ	実習・45時間	後期	◎山本真由美 荒木 奈緒 黒田 紀子 大友 舞 石引かずみ
助産学演習	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 山本真由美 大友 舞 石引かずみ 金子 晋也 ★渡利 道子 ★山村 満恵
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 大友 舞

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

（単位：名）

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	2021年6月28日～2022年2月18日	医療機関	530



8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（共通教育科目）では、「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や少人数編成によるグループ活動、地域調査を通じ、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的な学習方法や課題解決の手法などを学ぶ。また、調査・分析プロジェクトを通じ、地域社会に対する関心や貢献の姿勢を育てる。

令和3年度（2021年度）「スタートアップ演習」

前半課題（各チーム共通課題）「札幌市立大学の知名度を高めるにはどうすればよいか」

後半課題（各チームで設定）

グループ	小グループの数	テーマ
G1（樋之津・矢久保）	4	・ マップ ・ 魅力 ・ 健康 ・ オンライン授業
G2（齊藤・坂本）	5	病院らしくない病院づくり
G3（山田（良）・大友）	5	恋について
G4（丸山・栗原）	5	将来魅力的な人間になるには
G5（金・平山）	3	・ 芸森キャンパスの小道で創る学生と地域住民のコミュニティ ・ 幸せを見つける方法 ・ 献血を促進するためにどうすればよいか
G6（金子・田仲）	5	・ コロナワクチンをもっとスムーズに ・ 病室デザイン ・ 中高生と札幌市立大学の接点作り ・ Garbage can 日本のまちのごみ箱を考えよう ・ 障がい者への理解を深めるためにはどうすればよいのか
G7（西川・定廣）	小グループなし	レインボー・ラブ～恋愛は虹色～
G8（並木・鬼塚）	1	コロナ禍における運動不足の解消を目指して

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶ他、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や調査方法・研究事例など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市内の南区を除く9区について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につける。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、課題発見・解決に取り組む。



令和3年度（2021年度）「学部連携演習」

地区	テーマ
真駒内	ふらっとマルシェ・ふらっとスポット
芸術の森	作ってく、暮らしてく、てくてく憩う
澄川	満たされる、心と地域 あとお腹！
藻岩下	地域の輪 歩いて繋がる 藻岩下
藻岩	あったか モーリス スゴロク
南沢	南沢くらしマップ
石山	石山ポータルサイトリニューアル
藤野	たるキャン!!
簾舞	ニセイオマップ みすみす見逃すまい！
定山溪	“ひとり旅需要” と定山溪の特質を生かしたマップ

Ⅲ 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	看護とデザインとAIの融合
細谷 多聞	手指の触刺激の判別に関する研究
石井 雅博	映像授業の受講者エンゲージメント向上に関する研究
安齋 利典	ロードマップの授業への活用に関する研究
柿山 浩一郎	研究対象・研究手法に則したテキストマイニング手法の効果的な利用法に関する考察
齊藤 雅也	寒冷地における障がい者支援施設の室内気候デザイン
椎野 亜紀夫	北海道胆振東部地震発生後の集合住宅居住者の都市公園水道施設利用に関する一考察
西川 忠	1.既存住宅市場活性化に向けた住宅外装の経年変化に対する恕限度の研究 2.現代児童の体力・運動能力向上のためのボール遊びを用いたプログラムの提案 3.コンクリートブロック造の品質向上と施工合理化に関する研究
藤木 淳	自律的に図形を形成する点群CGアルゴリズムの研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究、アメリカ女性文学研究
三谷 篤史	看護基礎技術教育のための食事介護シミュレーションモデルの開発
山田 良	公共空間のデザインに関する研究
若林 尚樹	視覚的対話における主観的印象評価の研究
大島 卓	農畜産業施設の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成とその保全方策
金子 晋也	地域資源に着目した空間デザイン
金 秀敬	マルチモーダル知覚に着眼した、干渉による空間認識への影響
小林 重人	ミクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルシステムデザイン
小宮 加容子	ユニバーサルな遊びのデザインに関する研究
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張 浦華	a.セラミック作品装飾効果の研究 b.作品制作
並木 翔太郎	英語における位置変化表現と状態変化表現の並行性再考
丸山 洋平	Child-Woman Ratioの分母年齢と地域別将来人口推計の精度との関係
森 朋子	北海道における景観から見た再生可能エネルギー設備等立地と規制に関する研究
山田 信博	札幌市を対象としたルームエアコンの設置に関する研究
横溝 賢	社会実践の記述化法の研究
石田 勝也	環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究
大淵 一博	色彩分析・イメージ分析用Webアプリケーションの開発
片山 めぐみ	日本における多世代共生住宅の建設動向と効果
須之内 元洋	マルチスペクトル画像処理技術を応用した植物観察技芸の開発
福田 大年	連合遊び的学び場をつくるオンラインの協創
松永 康佑	モーションキャプチャにおける手繋ぎ動作の計測と再現について
矢久保 空遥	「柔らかさ」に着目した感性の神経基盤解明の試み



看護学部

教員名	研究課題
松浦 和代	1) モンゴル国における発育性股関節形成不全ハイリスク群への育児指導とその評価 2) 乳児虐待リスク予測システム（仮称）の構築に向けた基礎調査
菊地 ひろみ	在宅看護を担う若手訪問看護師育成の取り組み
荒木 奈緒	胎児異常を診断された妊婦への支援の実際
川村 三希子	看護師の倫理的感受性を育むための組織的アプローチに関する研究
卯野木 健	集中治療後症候群の解明
小田 和美	「熟練看護師のもつ実践知の可視化に関する研究 －「看護の教育的関わりモデル」の構成要素の概念分析」
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築
喜多 歳子	子どもの貧困対策に関する保健師活動の質的研究
定廣 和香子	デリバリー型Art in Hospital Project『風の家“Breathing House”』これまでとこれから
佐藤 ひとみ	電子看護記録システムを利用した演習方法に必要な機能の検討
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による看護師の遠隔会議システムを用いた継続教育の効果
神島 滋子	脳神経系疾患を持つ人への外来における看護援助
菅原 美樹	救急看護認定看護師の活動実態調査
檜山 明子	入院患者に対する効果的な転倒予防看護実践方法の検討
藤井 瑞恵	看護コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による事業の実施と効果検証
本田 光	公衆衛生看護学臨地実習のオリエンテーションにおいて実施した実習の留意事項に関する教育実践 - 倫理的葛藤事例を用いたケースメソッドの教育的有用性
村松 真澄	チームで進める口腔ケアの文献検討
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
大野 夏代	国際的な医療人材育成に関する研究
石引 かずみ	「女性中心のケア（Women-centered care）を実現するための多職種連携」を創るために必要な助産師の能力
伊東 健太郎	精神看護学シミュレーション教育を活用したオンライン実習 ～精神症状を呈する模擬患者への関わり～
工藤 京子	新型コロナウイルスによる災害時の避難所運営について
黒田 紀子	産後ケア事業を受けた女性の体験
高橋 奈美	ALS患者と家族の関係性に関する研究
武富 貴久子	①副師長対象のリフレクションを活用した継続教育プログラムの実践 ②女性医療人の健康と働きがいを検証するための尺度開発 ③マグネットホスピタルの視点から見た看護師の職場環境に関する研究
原井 美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発
矢野 祐美子	看護管理者のための継続学習支援
山本 真由美	客観的能力試験「新生児観察」項目の評価者間の一致度を上昇させるための評価基準の検証
市戸 優人	思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証
大友 舞	妊娠初期における口腔内自覚症状と関連要因の分析
鬼塚 美玲	積雪・寒冷環境下の野外活動における看護師の作業負担



教員名	研究課題
栗原 知己	集中治療室に勤務する看護師教育に関する研究
近藤 圭子	地域住民における地域医療に関する思いの実態把握
齋 若奈	1) 進行・再発大腸がん患者が長期に薬物療法を受け続けるプロセス 2) 進行がん患者の希望を支えるアドバンス・ケア・プランニングを推進する看護実践モデルの開発 3) 外見の変化を体験したがん患者におけるヘルスリテラシー
坂本 結城	看護学における「生活」概念の明確化
渋谷 友紀	1) 3年課程看護専門学校における「ケーススタディ」の指導の実際 2) オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み 3) 精神看護学シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み 第1報・当事者とのかわりから得た学生の学び
田中 里江	公衆衛生看護学臨地実習の地区踏査においてフォトボイスを活用した学生の学びの特徴
中田 亜由美	新型コロナウイルス感染症パンデミックにおける地域高齢者の生活の変化 ― 人との交流やコミュニケーション手段に焦点を当てた国内外の研究動向からの考察 ―
平山 憲吾	高齢がん患者の化学療法継続における意思決定に関する研究
牧田 靖子	札幌市における乳幼児の「窒息・誤飲」による事故の実態と事故予防対策の現状
吉田 実和	看護師が所属する病棟のチームアプローチと転倒・転落予防の実践状況に対する評価の関連
高橋 葉子	ポジショニング評価における客観的評価指標の活用に向けた予備的研究

2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
西川 忠	道内町村の活性化のための歴史的建築物の保存補強技術の研究
金子 晋也	北海道・北東北の漁場の文化的価値に関する研究
横溝 賢	聴いて・視て・学ぶ経験学習理論の構築
福田 大年	オンラインと対面が混在する相互学習への多様な参加を支えるハイフレックス型協創スケッチ法の基礎研究
守村 洋	長期化するCovid-19パンデミック下で日本の大学生生活の変化における心理的ストレス：不安および抑うつ症状と自殺念慮の横断的調査
栗原 知己	集中治療室において標準的な看護職務を遂行するために必要な臨床実践能力の特性に関する研究
近藤 圭子	過疎地域に居住する高齢者のAdvanced care planningに関する予備的研究
齋 若奈	進行がん患者の希望を支えるアドバンス・ケア・プランニングを推進する看護実践モデルの開発

共同研究

教員名	研究課題
◎三谷 篤史、村松 真澄	認知症患者が一人で遊ぶことを支援するロボットシステムの提案
◎市戸 優人、本田 光	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた特別支援教育で活用可能な性教育教材「SHカード」の開発
◎渋谷 友紀、安齋 利典	人間中心設計プロセスを応用した看護教員用教材開発
◎平山 憲吾、川村 三希子、柿山 浩一郎、齋 若奈	がん患者が主体的に活用しやすいがん情報ツールの開発に向けた実態調査～患者参画型の六位一体（ろくみいったい）による検討～
◎丸山 洋平、中島 秀之、齊藤 雅也、小林 重人、武富 貴久子、鬼塚 美玲、吉田 彩乃	AI技術×ポジティブヘルス（PH）増進による単身高齢者の社会的つながり創発モデルの実証
◎石井 雅博	示範映像における力関連情報の重畳提示
◎並木 翔太郎、松井 美穂、丸山 洋平	アフターコロナを見据えた初年次教育プログラム構築のための予備的調査

◎印：代表者

田村 I C T 基金

教員名	研究課題
◎松浦 和代、牧田 靖子	「乳児虐待リスク予測システム（仮称）」プロトタイプの開発

◎印：代表者

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村 I C T 基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
9	8	7	7	1	1	17	16

3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
村松 真澄	人工知能を利用した高齢者の口腔アセスメントのスクリーニング構築の基礎研究	基盤研究（B）	5,200,000
松井 美穂	カーソン・マッカラースとグローバル・ポリティクス	基盤研究（C）	650,000
山田 信博	集約化計画団地における住民コミュニティ支援の研究	基盤研究（C）	520,000
齊藤 雅也	地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断	基盤研究（C）	1,300,000
小林 重人	シビックテックコミュニティ内外における協働の発生・促進メカニズムに関する研究	基盤研究（C）	910,000
矢野 祐美子	北海道の道央圏外の看護管理者のための継続学習ネットワーク構築と効果検証	基盤研究（C）	780,000
卯野木 健	日本における集中治療後症候群の実態とリスク因子の解明	基盤研究（C）	520,000
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築	基盤研究（C）	520,000
本田 光	子育てママの地域とのつながりを育むロボットアプリの開発及びその効果と課題の検証	基盤研究（C）	780,000
矢部 和夫	泥炭採掘跡地の再湿潤化による群落、水質、および温室効果気体生成の初期変遷の追跡	基盤研究（C）	1,300,000
石田 勝也	海洋環境情報の簡易取得システムの構築とその公共空間への応用	基盤研究（C）	260,000
金 秀敬	「甘さ」に着目したマルチモーダル知覚情報の「干渉構造」解明に関する実証研究	若手研究	1,300,000
山田 良	国際協奏型プロジェクトによる空間的療養効果の高いアートインホスピタルモデルの開発	挑戦的研究（萌芽）	1,950,000
藤井 瑞恵	看護基礎教育と継続教育の連携による中堅看護師研修プログラムの構築	基盤研究（C）	1,040,000
松浦 和代	モンゴル国における発育性股関節形成不全予防ケアの普及とその評価	基盤研究（C）	1,690,000
丸山 洋平	人口移動が初婚行動に与える影響の人文地理学的研究	若手研究	780,000
平山 憲吾	化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証	若手研究	780,000
原井 美佳	積雪寒冷な中山間地域に暮らしてきた高齢女性の地域活動の経験についての研究	基盤研究（C）	1,170,000
檜山 明子	転倒リスク行動自己評価尺度と身体認識の誤差測定による転倒予測精度の検証	基盤研究（C）	1,170,000
鬼塚 美玲	積雪寒冷期大地震時の病院における災害看護活動のリスク解明と備えガイドラインの開発	基盤研究（C）	390,000
高橋 奈美	ALS患者家族への支援体制構築に向けた支援プログラムの構築	基盤研究（C）	390,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンス促進看護モデルの創出	基盤研究（C）	650,000
田仲 里江	大規模災害時の死体検案補助の人材育成と公衆衛生看護による遺族ケアの連携	基盤研究（C）	1,430,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
小宮 加容子	未就学児を対象とした触覚刺激の指標化に関する研究	基盤研究（C）	1,300,000
市戸 優人	思春期の子どもの親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証	基盤研究（C）	1,560,000
矢久保 空遥	「柔らかさ」に着目した感性の神経基盤解明の試み	若手研究	910,000
大島 卓	農畜産業施設の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成とその保全方策	若手研究	910,000
並木 翔太郎	使役交替に基づく北海道方言「ラサル」の形態統語的研究	若手研究	1,950,000
藤木 淳	視線距離に応じて閲覧者に異なる表面イメージを知覚させる立体表現手法	挑戦的研究（萌芽）	1,430,000

※課題番号順

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
中島 秀之	AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	札幌市	36,806,000
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000
椎野 亜紀夫	新型コロナウイルス感染症の流行による公園施設の利用者数等の変化に関する実態調査	札幌市建設局みどりの推進部	88,000
椎野 亜紀夫	大通公園の連続化に関する効果検証業務	札幌市建設局みどりの推進部	242,000
羽深 久夫	厚真町吉野地区における将来の構想づくりに関する調査研究	厚真町	1,045,000
大島 卓	北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	札幌市環境局円山動物園	500,000
矢久保 空遥	動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた調査研究	札幌市環境局円山動物園	900,000
金子 晋也	DIYによる拠点施設整備事業	厚真町	1,500,000
高橋 尚人	雪埋設物の検知に関する研究	(株)本田技術研究所 ライフクリエーションセンター	1,760,000

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
高橋 尚人	気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	(一財)日本気象協会	220,000
高橋 尚人	構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究	中日本高速道路(株)	153,000
高橋 尚人	深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	(株)メイセイ・エンジニアリング	300,000
柿山 浩一郎	映像表現がユーザーに与える感性面の効果測定	三菱電機(株)統合デザイン研究所	2,500,000
柿山 浩一郎	BtoB企業のユーザビリティ評価の研究	東京エレクトロン(株)	210,000
高橋 尚人	ニューラルネットワークによる人流の推定・予測モデルの構築	札幌市	2,662,000
高橋 尚人	防災・減災へのAI技術活用に関する基礎的研究	札幌市	4,400,000

高橋 尚人	観光分野における人流データ活用に関する研究	(一財) さっぽろ産業振興財団	506,000
高橋 尚人	コネクティッドカーデータを活用した冬期路面評価に関する研究	トヨタ自動車(株)	3,520,000
高橋 尚人	雪氷光散乱特性とニューラルネットワークを用いた雪氷モニタリングシステム技術の研究開発	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	0

4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
羽深 久夫	工学研究の為	北電総合設計(株)	200,000
齊藤 雅也	住まい手に心地よい熱的な刺激をもたらす室内気候デザインの研究	(株)遠藤建築アトリエ	400,000

5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額（円）
松浦 和代	乳児虐待リスク予測システム（仮称）の構築に向けた基礎調査	(公財) トランスコスモス財団	1,000,000
山田 信博	寒冷地のサンルーム付き住戸の居住特性と実践的改修に関する研究	(一財) 住総研	70,000
安齋 利典	「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」に関する公立大学法人札幌市立大学の研究開発	国立研究開発法人科学技術振興機構	2,535,000

6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	用務
2022/03/21～03/31	森 朋子	ネパール	ユネスコ・カトマンズ事務所が主催する国際科学会議出席、ルンビニ市開発に関するヒアリング調査のため



IV 社会活動

1 地域貢献諸活動

1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	2021年4月1日～ 2022年3月31日	ごみ収集作業と除排雪作業を対象に、作業の効率化を図ることを目標に研究に取り組んだ。ごみ収集経路と収集エリアの最適化により、ごみ収集作業の効率化を図るための基礎資料を、排雪現場と雪堆積場の組合せの最適化により、排雪作業の効率化を図るための基礎資料を得た。	札幌市 (まちづくり政策局)
キウシト湿原保全基礎研究	2021年4月12日～ 2022年3月4日	キシウト湿原保全事業計画策定の基礎資料作成の一環として、2019年ミズゴケ属再生試験地に移植したオオミズゴケとワラムズゴケの成長を追跡した。	登別市
新型コロナウイルスの流行による公園施設の利用者数等の変化に関する実態調査業務	2021年4月14日～ 2022年1月31日	コロナ禍における都市公園の管理・運営のあり方を検討する基礎資料作成を目的に、市民による都市公園状況の把握・可視化を目的に研究を行った。	札幌市 (建設局)
大通公園の連続化に関する効果検証業務	2021年4月14日～ 2022年1月31日	大通公園周辺に立地する保育施設（保育所）に勤務する職員（保育士）を対象として、園児を引率し大通公園を利用する際の具体的な状況や、利用の際に気になる点などについて調査を通じて明らかにし、子育ての視点から見た大通公園のあり方について考察した。	札幌市 (建設局)
厚真町吉野地区における将来の構想づくりに関する調査研究	2021年8月26日～ 2022年3月18日	震災犠牲者を慰霊し、被災の記憶を継承するためのモニュメントなどを含む慰霊施設の整備に向けた基本構想に関わる事例調査と現地調査を行い、基本構想のための検討を行った。	厚真町
北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	2021年9月30日～ 2022年2月28日	円山動物園内の北海道産動物の生息・飼育・展示環境「北海道ゾーン（仮称）」整備に向けて、調査研究で得られた空間特性に関する知見及び周辺施設の利用実態調査結果から北海道ゾーンでの風景基盤となる植栽計画のあり方について検討を行った。	札幌市 (環境局円山動物園)
動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた研究	2021年9月30日～ 2022年2月28日	円山動物園内の動物科学館の展示リニューアルに向けて、主体的な学習を促すための情報内容に関する検討を実施した。	札幌市 (環境局円山動物園)
DIYによる拠点施設整備事業	2021年10月1日～ 2022年3月18日	旧北海道厚幌ダム事務所（北海道から厚真町に譲渡された施設）の住宅棟B6棟を対象とし、地域資源の活用したDIYによる作業による、地域住民に親しみやすかつ新しい厚真町のライフスタイルを可視化する空間を提案した。	厚真町
雪埋没物の検知に関する研究	2021年11月15日～ 2022年3月31日	地中レーダー（Ground Penetrating Radar : GPR）は、電波を地面や構造物に輻射面を向けて発射し、内部からの反射波を計測することで埋設物の検知や内部構造物を計測する。研究では、GPRを用い、札幌市立大学構内で雪中埋設物の検知試験を行った。	本田技研工業(株)



2) 共同研究（学外との連携）一覧

研究課題	期間	概要	委託者
気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	2020年2月18日～ 2022年10月31日	2022年度継続中	(一財)日本気象協会
構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究（その3）	2020年2月25日～ 2022年9月30日	2022年度継続中	中日本高速道路(株)
深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	2021年5月17日～ 2022年3月31日	コンクリート構造物の非破壊検査方法として、ドライアイスペレットをコンクリートにぶつけて得られた衝撃音スペクトルデータを、深層学習を用いて分析し、健全であるか否かを判断する方法を開発する。具体的には、診断の高速化に向けたデータ処理の改良、試験用構造物のデータに対する精度検証等に取り組んだ。	(株)メイセイ・エンジニアリング
映像表現がユーザーに与える感性面の効果測定	2021年5月17日～ 2022年3月31日	各種映像表現のアイデア発想に与える影響について、効果検証のための感性評価実験を実施し、目的に応じた映像表現の指針（ガイドライン）を定めた。	三菱電機(株) 統合デザイン研究所
BtoB企業のユーザビリティ評価の研究	2021年10月1日～ 2022年3月31日	エンジニアが考えた現状の操作系の説明から、各操作の目的と手段を分析し、デザイナー視線から新たな操作体系とビジュアル表現を提案した。	東京エレクトロン(株)
ニューラルネットワークによる人流の推定・予測モデルの構築	2021年9月16日～ 2022年3月25日	札幌市の地上・地下が一体となった都心のエリアマネジメントに資することを目的とし、チカホに設置された人流センサーのデータを活用し、ニューラルネットワークによる地下歩行空間の人流推定・予測モデルの構築を行った。	札幌市（都心まちづくり推進室）
防災・減災へのAI技術活用に関する基礎的研究	2021年9月30日～ 2022年3月25日	自然災害が頻発化・激甚化する一方、少子高齢化により人手不足が進む中、防災力を強化していくことが必要である。本研究では、防災力の強化に資するAIを活用した避難支援、早急な情報収集、情報発信、迅速な災害対応に関して基礎的な調査研究を行った。	札幌市（建設局）
観光分野における人流データ活用に関する研究	2021年11月12日～ 2022年3月10日	さっぽろ産業振興財団が運営する札幌市データ活用プラットフォーム「Data-Smart City Sapporo」（以下、「DSCS」と略す）におけるデータ活用の更なる促進を図ることを目的として、人流データを活用しながら来札観光客の動態分析を行った。また、DSCSで取り扱う人流データの課題を整理し、併せて今後のデータ収集や活用の在り方に関して提言した。	(一財)さっぽろ産業振興財団
コネクティッドカーデータを活用した冬期路面評価に関する研究	2022年1月20日～ 2022年8月1日	2022年度継続中	トヨタ自動車(株)
雪氷光散乱特性とニューラルネットワークを用いた雪氷モニタリングシステム技術の研究開発	2022年1月20日～ 2023年3月31日	2022年度継続中	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構



3) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
これからのクリエイティブなオフィス環境のサービスデザイン	Septeni Ad Creative(株)	若林 尚樹
SAPPOROフラワーカーペット2021	SAPPOROフラワーカーペット実行委員会	細谷 多聞 小宮加容子
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大淵 一博
「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」ロゴマーク募集	札幌市（保健福祉局）	矢久保空遥
「南区＝アートのまち」プロジェクト	札幌市（南区）	須之内元洋
「清酒 千歳鶴 季節限定商品」ラベルデザイン募集	日本清酒(株)	福田 大年
「航空機により快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン」	(株)AIRDO	安齋 利典 若林 尚樹
鹿角を利用したアクセサリ製品の開発協力	(株)えぞ鹿ファクトリー	矢久保空遥
桑園商店街わくわくプロジェクト	桑園わくわく商店会実行委員会	三谷 篤史 村松 真澄
冬みち便り及びEV自動車ラッピングデザインの製作事業	札幌市（南区）	大島 卓
未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業「さくらんぼちゃんのともだちづくり」	札幌市（南区）	若林 尚樹 大島 卓
発寒まちづくりセンター案内サイン設置事業	札幌市（西区）	片山めぐみ
南区制50周年記念ロゴマークの募集	札幌市（南区）	矢久保空遥
札幌市消防団入団促進に係る啓発品のデザイン作成について	札幌市10消防団連合協議会	大淵 一博
総合学習、教科科目のための工作キットの教材開発と、それを活用したワークショップ型授業の実施	札幌市藻岩南小学校	若林 尚樹
UXデザインワークショップ	東京エレクトロン(株)	安齋 利典 柿山浩一郎
南区ARアート展2021	札幌市（南区）	松永 康佑
第27回 芸術の森地区文化祭	芸術の森地区連合会	細谷 多聞
第49回衆議院議員総選挙における分散投票を呼び掛ける動画制作	札幌市選挙管理委員会事務局	石田 勝也
アレルギー原因食品（アレルゲン）ピクトグラムの追加制作	札幌市保健所	矢久保空遥
第27回 芸術の森地区文化祭	芸術の森地区連合会	細谷 多聞
レバンガ北海道×札幌市立大学 絵本作成事業	株式会社レバンガ北海道 代表取締役 折茂 武彦	若林 尚樹
触察用海洋生物組み立てキットの作成	一般財団法人 沖縄美ら島財団 理事長 花城 良廣	若林 尚樹
ホームホスピス北海道	ホームホスピス北海道	三谷 篤史 村松 真澄
中央区複合庁舎整備事業設計業務委託	(株)日本設計	山田 良
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大淵 一博



事業名	依頼元	担当教員
札幌市社会福祉協議会LINEスタンプバージョンアップ ～“ふくし”をブランディングする！～	(福)札幌市社会福祉協議会	片山めぐみ
冬の「雪あかり」イベントPRチラシの製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
NTT東日本札幌病院 創立100周年記念ロゴマーク募集	NTT東日本札幌病院	大淵 一博
芸術の森小学校 工作ワークショップ事業	札幌市立芸術の森小学校	若林 尚樹
南区の魅力をPRする啓発品製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
芸術の森地区青少年育成委員会スタッフジャンパー背面 デザイン依頼	芸術の森地区青少年育成委員会	細谷 多聞 小宮加容子
アクリル新製品デザイン	(株)STエンジニアリング	細谷 多聞 小宮加容子
札幌市原動機付自転車ご当地ナンバー作成事業	札幌市（財政局）	細谷 多聞 小宮加容子
日本集中治療医学会×札幌市立大学デザイン学部「生命を 守る最後の砦：ICU看護師認証制度」ポスターデザイン賞	(一社)日本集中治療医学会 理事長 西田 修	卯野木 健 若林 尚樹
ENDEMIC PROJECT	ツナガル(株)	須之内元洋
Audio-Technicaワークショップ「アナログってなんだろ う？」	(株)オーディオテクニカ	安齋 利典 若林 尚樹
ロゴ・商品パッケージ及びブランディング開発	海鮮キッチン魚まる	若林 尚樹
芸術の森地区青少年育成委員会「ロゴマーク」使用依頼	芸術の森地区青少年育成委員会	細谷 多聞 小宮加容子

4) 高大連携

① デザイン学部 2021年度高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
2021年9月11日 (課題説明) 2021年9月18日 (成果発表) (いずれもオンライン)	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌開成中等教育学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌藻岩高等学校	14名	私色（わたしいろ）を見つ ける	石田 勝也



② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2021年4月6日～ 2022年1月20日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌啓北商業高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	26名	6名 看護学原論 (講義・15時間)	◎定廣和香子 檜山 明子
			6名 人間発達援助論 (演習・30時間)	◎小田 和美 松浦 和代 荒木 奈緒 貝谷 敏子 守村 洋
			7名 チーム医療論 (講義・15時間)	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
			7名 国際看護学 (講義・15時間)	◎大野 夏代
2021年10月4日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	23名	11名 (特別公開講座) オリエンテーション、大学 概要説明、見学内容説明、 施設見学、質疑応答	松浦 和代 本田 光 山本真由美
2021年10月5日	市立札幌新川高等学校 市立札幌啓北商業高等学校 市立札幌藻岩高等学校			松浦 和代 菅原 美樹 本田 光

③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2021年9月18日～ 9月26日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	125名	集中治療室の重症患者さん が、回復してから起こること	卯野木 健
			援助的に人と関わるとは？	藤井 瑞恵

※オンライン（オンデマンド）配信

5) 高校出前講義

① デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2021年10月21日	北星学園女子中学高等学校	遊びのデザイン～ワクワクを生み出すデザイン～	小宮加容子
2021年11月9日	市立札幌旭丘高等学校	ロボット（ロボティクス・メカトロニクス）におけるデザイン	三谷 篤史
2021年12月7日	北海道大麻高等学校	地域創生に向けたユニバーサル製品の提案	小宮加容子

② 看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2021年9月17日	市立札幌新川高等学校	地域の高齢者保健を考える	近藤 圭子



6) その他の地域貢献諸活動

① デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
細谷 多聞	さっぽろ産業振興財団 評議員	さっぽろ産業振興財団		2021年6月 ～2022年3月
	プログラムレビュー 外部評価委員	筑波大学（教育推進部）		2021年8月～10月
	芸術の森地区文化祭にて作品展示	芸術の森文化祭実行委員会		2021年11月5日 ～6日
	札幌市制100周年記念ナンバープレートのデザインプロジェクト	札幌市財政局		2021年12月 ～2022年3月
	札幌市制100周年記念花電車のデザインプロジェクト	札幌市行政部		2022年3月～4月
藤木 淳	おとどけアート活動（授業、ワークショップ、展示を含む）	AISプランニング	総勢 約200名	2021年8月～10月
山田 良	空き家リノベーション提案	留萌市地域振興課	12名	2021年7月
	アートプロジェクト提案	留萌市地域振興課	12名	2021年10月
若林 尚樹	さくらんぼちゃんオリジナルソングプロモーションの企画において、オリジナルソング編曲及びCD制作、CDジャケットデザイン等のデザイン制作	札幌市南区保健福祉部健康・子ども課	4名	2021年9月～11月
	レバンガ北海道が地域貢献の一環として実施している幼稚園保育園のためのトレーニングに関する絵本の取材及び制作	株式会社レバンガ北海道	4名	2021年9月 ～2022年3月
	日本集中治療医学会×札幌市立大学デザイン学部「生命を守る最後の砦：ICU看護師認証制度」ポスターデザイン賞	一般財団法人日本集中治療医学会	8名	2022年1月 ～2022年4月
大島 卓	南区マスコットキャラクターのオリジナルソングプロモーション企画の支援	札幌市南区保健福祉部健康・子ども課	4名	2021年7月1日 ～11月30日
	大学演習成果を地域の公園整備のアイデアプランとして提供	常磐団地町内会	32名	2022年3月7日
小宮 加容子	期間中、制作・展示するフラワーカーペットのデザイン制作	サッポロフラワーカーペット2021実行委員会	5名	2021年6月18日 ～18日
	芸術の森地区文化祭（2021.11.6-7）にて作品展示	芸術の森文化祭実行委員会		2021年11月6日 ～7日
	委員会スタッフジャンパー背面イラストデザイン	芸術の森地区青少年育成委員会	1名	2021年12月 ～2022年2月
	アクリル製品のデザイン提案	株式会社STエンジニアリング	8名	2021年12月 ～2022年3月
	市制100周年記念事業「札幌市原動機付自転車ご当地ナンバープレート」のデザイン提案	札幌市財政局税政部	5名	2021年12月 ～2022年2月
	市制100周年記念事業「花電車」のデザイン提案	札幌市総務局行政部総務課	4名	2022年3月 ～2022年4月



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
張 浦華	北海道陶芸会の展覧会DM担当、北海道窯地図、案内DMなど関連資料の制作を行った。	北海道陶芸会		2021年4月1日
	特任理事、中国語エリアへの展覧会等の連絡調整	アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン		2021年4月1日
森 朋子	総合実習Ⅳで行った地域活動。まちの課題抽出と、課題に対する学生提案。	札幌大通まちづくり株式会社	2名	2021年10月～11月
石田 勝也	札幌国際芸術祭に伴う文化事業	SIAFラボ、札幌市札幌国際芸術祭担当課、札幌国際芸術祭事務局	4名	2021年度
大淵 一博	南区雪あかりフライヤー制作	札幌市南区役所	43名	2021年12月16日
	南区PRグッズ（エコメモノート）制作	札幌市南区役所	1名	2021年12月18日
片山 めぐみ	こども食堂事業企画及び活動継続の支援	札幌藤野多世代交流ラボ WAO!		通年
	高齢者交流拠点事業企画及び活動継続の支援（副理事長）	NPO法人ゆとりの		通年
	コミュニティレストラン事業企画、広報活動の支援	風のごはんや		通年
	広報活動支援（LINEスタンプ開発）	札幌市社会福祉協議会	5名	通年
須之内 元洋	団体実施ワークショップの告知・推薦など	SMF 札幌メディアアートフォーラム		

7) マスメディアへの掲載

① デザイン学部

教 員 名	内容	掲載媒体	掲載日
中島 秀之	朝日新聞社経済系Webサイト「bizble」でのコラム執筆	Webサイト「bizble」	2021年4月1日 ～2022年3月31日
	「マース」道内普及加速	北海道新聞	2021年5月2日
	札幌人図鑑TV放映	札幌人図鑑	2021年9月6日～12日
	DX白書原稿執筆	DX白書	2021年12月1日
安齋 利典	空の仕事 紙芝居と絵本に エア・ドゥと札幌市立大（株式会社AIRDO）	北海道新聞 電子版（5月）	2021年5月14日
	「アナログってなんだろう」（株式会社オーディオテクニカ）	雑誌「モノ・マガジン」（ワールドフォトプレス）	2021年5月16日
	『そらのがっこう』（株式会社AIRDO）	NHK札幌ローカルニュース（5月）	2021年5月24日
齊藤 雅也	花粉症対策 コロナ禍でどうしたら？（24時間換気）	みんなテレ（UHB北海道文化放送）	2021年4月16日
	蔓延防止措置でCO2濃度測定器の需要急増 設置側の飲食店には温度差	産経新聞（ウェブ版）（産経新聞社）	2021年4月19日
	部屋干しの効果あった 寝室の湿度、記者が実験	日本経済新聞（日本経済新聞社）	2022年2月5日



教 員 名	内 容	掲載媒体	掲載日
藤 木 淳	InnoUvators 掲載（インタビュー 前編・中編・後編）	web	2021年5月16日・23日・30日
	InnoUvators 掲載（研究成果の紹介）	web	2021年10月13日
	フジ森マンガ / おとどけアート×フジ森 in 北都小学校	書籍&電子書籍	2022年2月1日
	デザイナーズFILE 2022	書籍	2022年3月1日
	南区アーティストファイル	web	2022年3月28日
三 谷 篤史	学生（ゼミ生）が制作したホームホスピス北海道のロゴに関する紹介	介護新聞	2021年12月2日
山 田 良	山田良展「Site Preoccupation」	朝日新聞	2021年7月27日
若 林 尚樹	空の仕事 紙芝居と絵本に	北海道新聞	2021年5月15日
	「アナログってなんだろう？」	モノマガジン2021年5月16日号	2021年5月16日
	「エア・ドウ」が空の仕事学べる絵本制作ウェブサイトで公開	NHKニュース	2021年5月24日
	キッズデザイン賞年度受賞作品「アナログってなんだろう？」 受賞番号 210371	キッズデザイン協議会Webサイト	2021年10月12日
	キッズデザイン賞 道内関連4点受賞 アイヌ民族博物館の触れる展示／アナログの音づくり	北海道新聞	2021年10月15日
	一枚の紙から広がる子どもたちの学び	北海道新聞	2022年3月1日
金 子 晋也	PRACTICE No.35【特集】空き家対策 p 35インタビュー記事掲載	季刊誌	2021年5月20日
	空き家再生、学生情熱 札幌市立大生ら「地域の魅力感じられる場に」	どうしん電子版	2022年3月19日
	胆振東部地震に耐えた建物 新たな活用へ まちなかの空き店舗 チャレンジショップや大学生らのフィールドワーク拠点に 旧厚幌ダム 事務所官舎	苫小牧民放	2022年3月22日
小 宮 加容子	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当、12回/年	ラジオ放送	
	北海道新聞「毛糸でツリー 思い思いに」	北海道新聞（空知）	2021年12月5日
	北海道新聞「原付ご当地ナンバー8月導入」市制100年記念	北海道新聞	2022年3月5日
武 田 亘明	朝日新聞連載「ロゴ散歩」「地元大のゼミ生、デザイン案競作」	朝日新聞社	2021年8月3日
丸 山 洋平	函館旧4町村の人口減深刻 若年層流出、ピーク時の4分の1 世界遺産登録で活性化狙う	北海道新聞	2021年7月25日
	道内、リゾートの外国人急減 減少率全国2位、コロナの影響鮮明	北海道新聞	2021年8月4日
	コロナで外国人8.6%減 リゾート地の雇用減響く	北海道新聞	2021年8月5日
	<宇野沢デジタル委員が読み解く>道内からの人口流出 コロナ禍で鈍化？	北海道新聞	2021年12月7日
大 淵 一博	広報さっぽろ南区版ヘッダデザイン	広報さっぽろ南区版2021年4月号～2022年3月号	毎月1日



教 員 名	内 容	掲載媒体	掲載日
片山 めぐみ	2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致を考える	広報さっぽろ全市版2022年2月号	2022年2月1日
	「空間×情報×身体」～メディアミックスで磨く学生の感性（建築指導センターリポート2022年冬号）	(一財)北海道建築指導センター	2022年1月10日
	座談会 2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致を考える	北海道新聞	2022年2月25日
須之内 元洋	Photograph of the Week - The best of the best	The Bulletin of the American Orchid Society	2022年1月1日
矢久保 空遥	「害獣」エゾシカの角をテンキーやヒールに札幌の大学生が考案	朝日新聞	2021年12月10日
	ユニーク活用法が続々 エゾシカに再注目	STV	2021年12月21日
	シカ角、靴やボールペンに 札幌の大学生、活用目指す	長崎新聞本誌	2022年1月24日
	シカ角、靴やボールペンに 札幌の大学生、活用目指す	産経新聞（大阪版）朝刊27面	2022年1月24日
	シカ角、靴やボールペンに 札幌の大学生、活用目指す	信濃毎日新聞夕刊6面	2022年1月25日
	シカ角、靴やボールペンに 札幌の大学生、活用目指す	秋田魁新報朝刊22面	2022年1月31日

② 看護学部

教 員 名	内 容	掲載媒体	掲載日
荒木 奈緒	助産師教育機関紹介シリーズ	日本助産師会機関紙 助産師	2021年11月1日
喜多 歳子	子どもの貧困対策：保健師に何ができるのかー全国17自治体のインタビュー調査からー掲載	地域保健9月号（34・37）	2021年9月号
村松 真澄	礼文町の高齢者を対象にオンラインで健康講話	暮らしと健康の月刊誌ケア	2022年1月号

③ AIラボ

教 員 名	内 容	掲載媒体	掲載日
高橋 尚人	感染 札幌以外に急拡大 自粛疲れ往来増加か	北海道新聞	2021年8月19日
	市立大にAITセンター 4月開設 人工知能教育を推進	北海道新聞	2022年2月5日



2 公開講座開催実績

1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2021年5月12日	羽深と学ぶ建築史の世界2021① 札幌本府の成立 (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	22
2021年6月9日	羽深と学ぶ建築史の世界2021② 大友堀と創成川 (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	26
2021年7月2日	AIとおく〜とおくのAIをちかくで見よう〜 (対面及びYouTubeLive配信)	中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 松浦 和代 (札幌市立大学 副学長) 齊藤 雅也 (デザイン学部 教授) 石黒 浩 (大阪大学 名誉教授) 松原 仁 (東京大学大学院 教授)	151
2021年7月14日	羽深と学ぶ建築史の世界2021③ 札幌神社とは (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	31
2021年7月26日 ～2022年3月31日	羽深と学ぶ建築史の世界2021①～⑪ アーカイブ視聴 (GoogleDRIVEにて配信)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	253
2021年8月10日	まちの健康応援室ミニ出張講座② 子どもに多い病気と健康生活・衛生管理	牧田 靖子 (看護学部 助教)	2
2021年8月18日	羽深と学ぶ建築史の世界2021④ 札幌農学校 (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	34
2021年8月28日	NCPR (新生児蘇生法) 専門コース (Aコース)	荒木 奈緒 (看護学部 教授) 黒田 紀子 (看護学部 講師) 小林 正樹 (札幌東豊病院 小児科医師)	8
2021年9月8日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑤ 屯田兵村 (ZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	26
2021年10月2日	研究の二刀流・第3弾 5話シリーズ③ 日本語のデザイン～外国人にもやさしい日本語 をめざして (その2) ～	酒井 正幸 (札幌市立大学 名誉教授)	12
2021年10月13日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑥ 東本願寺札幌別院の成立 (ZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	27
2021年10月30日	研究の二刀流・第3弾 5話シリーズ④ ギター音楽のデザイン#3～演奏とトークによる クラシックギター音楽への誘い～	中原 宏 (札幌市立大学 名誉教授)	17
2021年11月9日	まちの健康応援室ミニ出張講座③ 冬に流行りやすい感染症について	牧田 靖子 (看護学部 助教)	6
2021年11月10日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑦ 大通公園 (ZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	22
2021年11月13日	※2021年8月7日の代替開催 研究の二刀流・第3弾 5話シリーズ① 昆虫のデザイン～ミヤマクワガタを究める～	酒井 正幸 (札幌市立大学 名誉教授)	16



開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2021年12月8日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑧ 中島公園 (ZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	25
2021年12月11日	※2021年5月15日の代替開催 長引くコロナ禍におけるメンタルヘルス ～こころの健康維持・増進～	守村 洋 (看護学部 准教授)	15
2022年1月12日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑨ 時計台 (札幌農学校演武場) (オンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	19
2022年1月29日	※2021年10月16日及び11月16日の代替開催 研究の二刀流・第3弾 5話シリーズ⑤ パリの街とデザイン (その5) (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 浜田 真司 (パリ日本文化会館支援協会 事務局長)	20
2022年2月5日	海外でのくらしとシゴト！ ①北欧のくらしとシゴト、②イタリアのくらし とシゴト、③フランスのくらしとシゴト、④パ ネルディスカッション (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 山田 良 (デザイン学部 教授) 横溝 賢 (デザイン学部 准教授)	9
2022年2月9日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑩ 豊平館 (ZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	20
2022年2月12日、 13日	ELNEC-J高齢者プログラム2021in北海道 《二日間コース》 (ZOOMを用いたオンライン講座)	川村三希子 (看護学部 教授) 門脇 睦子 (訪問看護ステーションそよ 風 所長) 國生 真希 (札幌西円山病院 看護師長) 佐藤 典子 (順天堂東京江東高齢者医療 センター 看護部教育課長) 西山みどり (有馬温泉病院 看護部長) 三浦 直子 (札幌西円山病院 副看護介 護部長) 山下いずみ (江別市立病院 看護師長) 吉岡佐知子 (松江市立病院 看護局長)	90
2022年2月18日	教訓の積み重ね～建築耐震基準の歩み～ (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	西川 忠 (デザイン学部 教授)	27
2022年2月19日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座 2022① 「まちもじ」をハントして語り合って気づき合 う地域の面白さ (ZOOMを用いたオンライン講座)	福田 大年 (デザイン学部 講師)	8
2022年2月26日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座 2022② ナッジを活用した事業のデザインを考えよう！ (ZOOMを用いたオンライン講座)	宇山 生朗 (NPO法人PolicyGarage 北 海道行動デザインチーム発起人)	18
2022年2月26日	まこまないと人をつなぐデザイン ～真駒内地区を多様な視点から眺めてみました～ ①デザイン学部での実習の成果、②芸術の森 キャンパスのデザイン、③地域での実践的研究 の取組み (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	大島 卓 (デザイン学部 准教授) 金子 晋也 (デザイン学部 准教授) 山田 信博 (デザイン学部 准教授)	6



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2022年3月5日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座 2022③ 公立大学法人名桜大学企画「8050」について 考えてみよう！ (ZOOMを用いたオンライン講座)	田場真由美 (名桜大学人間健康学部看護 学科 教授)	15
2022年3月5日	NCPR (新生児蘇生法) スキルアップコース (Sコース)	荒木 奈緒 (看護学部 教授) 黒田 紀子 (看護学部 講師) 大友 舞 (看護学部 助教)	12
2022年3月5日	札幌市立大学の地域密着型デザイン ①南区役所との連携プロジェクト、②地域とヒ トにかかわるデザイン、③北海道・札幌におけ るものづくり協力事例、④パネルディスカッ ション (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 大淵 一博 (デザイン学部 講師) 福田 大年 (デザイン学部 講師) 矢久保空遥 (デザイン学部 助教)	10
2022年3月9日	羽深と学ぶ建築史の世界2021⑪ 北海道庁旧本庁舎 (赤れんが庁舎) (対面及びZOOMを用いたオンライン講座)	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	25
2022年3月12日	やりたかった活動を実現する力を磨こう！ 保健師のためのWeb講座 2022④ 周産期の遺伝学的検査を知って健康相談を考え よう！妊婦さん、実は悩んでいます！ (ZOOMを用いたオンライン講座)	荒木 奈緒 (看護学部 教授)	9
2022年3月17日	※2022年2月17日及び2月22日の代替開催 まちの健康応援室ミニ出張講座④ おっぱい、ミルクと卒乳について	石引かずみ (看護学部 講師)	3
2022年3月19日	※2021年8月28日の代替開催 研究の二刀流・第3弾 5話シリーズ② 20世紀一眼レフカメラとデザイン	細谷 多聞 (デザイン学部 教授)	15

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、2講座を中止とした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、1講座を次年度開催延期とした。

2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2021年10月18 日、25日	さっぽろ市民カレッジ2021秋期講座 ～札幌の文化財を見に行こう～琴似の屯田兵の 歴史を探る	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	16

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、1講座を中止とした。

3) 共催講座：「知活 (ちいき) ゼミナール」

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2021年10月25日 ～2022年1月31日	札幌市立大学・道総研共同セミナー『知活 (ち いき) ゼミナール2021』テーマ「意外と知ら ない身近なモノ Part2」 ・水引～日本古来の贈答文化を海外に伝える小 物のデザイン～ (札幌市立大学) ・知ってる??アライグマ (道総研) (YouTube配信)	横溝 賢 (デザイン学部 准教授) 山口 沙耶 (エネルギー・環境・地質研 究所自然環境部生物多様性保全グループ 研究職員)	530



3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	(大)宮城大学評価委員会／委員	宮城県
	札幌国際芸術祭実行委員会／委員（副会長）	札幌国際芸術祭実行委員会
	(大)会津大学参与会／参与	(大)会津大学
	(公財)本田財団／理事	(公財)本田財団
	(一社)社会システムデザインセンター／構成員（副理事長）	(一社)社会システムデザインセンター
	未踏事業審査委員会／委員	(独)情報処理推進機構
	(大)はこだて未来大学未来AI研究センター／顧問	(大)はこだて未来大学
	(株)未来シェア／取締役会長	(株)未来シェア
	国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会／委員	国立障害者リハビリテーションセンター
	NoMaps実行委員会／顧問	NoMaps実行委員会
	『AI白書2022』／編集委員長	(株)角川アスキー総合研究所
	本田賞／選考委員	(公財)本田財団
	(一社)日本ディープラーニング協会／有識者会員	(一社)日本ディープラーニング協会
	「Innovators Under35 Japan」2021年／審査	(株)角川アスキー総合研究所
	アクションプラン策定委員会／委員長	(株)角川アスキー総合研究所
	北海道MaaS推進研究会／会長	(一社)北海道産学官研究フォーラム
	特定非営利活動法人産学連携推進機構／理事	特定非営利活動法人産学連携推進機構
	国立研究開発法人理化学研究所／客員主管研究員	国立研究開発法人理化学研究所
	IPA新白書有識者委員会／委員	(独)情報処理推進機構
	リードエンジニア発掘・育成プログラム「STAND OUT」／審査委員長	札幌市（経済観光局）
	北海道大学電子科学研究所外部評価／委員	北海道大学電子科学研究所
細谷 多聞	令和3年度コンテンツ活用促進事業費補助金審査委員会／審査委員	(一財)さっぽろ産業振興財団
	札幌市制100周年記念ロゴマークデザイン及びキャッチフレーズ作成に係る審査委員会／審査委員	札幌市（総務局）
	芸術の森地区文化祭実行委員会／委員	芸術の森地区連合会
石井 雅博	数理・データサイエンス教育／客員教授	(大)北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター
安齋 利典	令和3年度北海道新技術・新製品開発賞選考会議評価	北海道（経済部産業振興局）
齊藤 雅也	第12回JIA・テスクチャレンジ設計コンペ／審査委員長	(公社)日本建築家協会北海道支部 (株)テスク
	BIS認定事業に係る試験講習委員会／委員	(一社)北海道建築技術協会
	登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関／評価員・評定員	(一財)北海道建築指導センター
	遊亀公園附属動物園実施設計に伴う推進委員会／専門委員	甲府市（まちづくり部）



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
椎野 亜紀夫	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道（総合政策部政策局）
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	岩見沢市都市計画審議会／委員	岩見沢市（建設部都市計画課）
	札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市都心のみどりづくり方針検討委員会／委員	札幌市（建設局）
	北海道土地利用審査会／委員	北海道（総合政策部政策局）
西川 忠	フォーラム企画委員会／委員	インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム
	(一社)北海道建築技術協会／理事	(一社)北海道建築技術協会
藤木 淳	おとどけアート及び関連事業への派遣	おとどけアート実行委員会
松井 美穂	札幌市水道サービス協会／評議員	(一財)さっぽろ水道サービス協会
山田 良	第5回北海鋼機デザインアワード／審査員長	(公社)日本建築協会北海道支部 北海鋼機(株)
若林 尚樹	(公財)画像情報教育振興協会／委員	(公財)画像情報教育振興協会
小林 重人	北陸先端科学技術大学院大学／客員研究員	北陸先端科学技術大学院大学
武田 亘明	いじめ問題調査委員会／委員	当別町教育委員会
	義務教育学校開校準備委員会／アドバイザー	当別町教育委員会
	北海道社会教育委員・第15期北海道生涯学習審議会／委員	北海道教育庁（生涯学習推進局）
	教育課程編成委員会／委員	(学)桑園学園 札幌情報未来専門学校
	北海道立青少年体験活動支援施設等指定管理者候補者選定委員会／委員	北海道教育庁（生涯学習推進局）
張 浦華	札幌家庭裁判所／家事調停委員	札幌家庭裁判所
丸山 洋平	新潟市都市政策部GISセンター／研究参与	新潟市都市政策部GISセンター
	「高校生対流促進事業」推進協議会／構成員	北海道教育庁学校教育局
	国立社会保障・人口問題研究所研究プロジェクト／委員	国立社会保障・人口問題研究所
森 朋子	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	都心部における地下歩行ネットワーク検討委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北広島市旧島松駅通所整備基本計画検討委員会／委員	北広島市教育委員会
	平取町文化的景観自然的環境等調査に係る有識者・学識者意見交換会／委員	平取町（アイヌ施策推進課）
	弟子屈町景観計画策定委員会／委員	弟子屈町
	北海道景観審議会／委員	北海道（建設部まちづくり局）
	ネパールにおけるユネスコ関連事業／コンサルタント	ユネスコ・ネパール代表
	(仮称)はぐくみの軸強化方針検討会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会／委員	大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
森 朋子	平取町受託事業成果報告／執筆	北海道大学 観光学高等研究センター
	旧白石区区役所跡地公募提案審査委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
山田 信博	札幌市広告／アドバイザー	札幌市（建設局）
横溝 賢	札幌スタイル認証委員会／委員長	札幌市（経済観光局）
石田 勝也	SIAFラボ／メンバー	札幌国際芸術祭実行委員会
	令和3年度札幌市消防団入団促進広報事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（消防局）
	児童生徒向け副教材作成検討委員会／委員	(公財)アイヌ民族文化財団
大淵 一博	令和3年度札幌市消防団入団促進広報事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（消防局）
片山 めぐみ	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	安平町未来創生委員会／外部有識者	安平町（政策推進課）
	国有財産北海道地方審議会／委員	北海道（財務局）
	札幌市動物愛護管理推進協議会／委員	札幌市（保健福祉局）
	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	札幌市都心のみどりづくり方針検討委員会／委員	札幌市（建設局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道（建設部住宅局）
	道立都市公園指定管理者候補者選定委員会／選定委員	北海道空知総合振興局
	令和3年度町内会加入促進啓発事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	道営住宅指定管理者候補者選定委員会／委員	北海道（建設部住宅局）
	北海道立都市公園指定管理者選定委員会／委員	北海道（建設部まちづくり局）
	社会資本総合整備計画事後評価意見聴取会／学識経験者	北海道（建設部建設政策局）
	北海道立青少年体験活動支援施設等指定管理者候補者選定委員会／委員	北海道教育庁（生涯学習推進局）
	第18回公共建築賞北海道地区審査委員会／委員	(社)公共建築協会
須之内 元洋	認定こども園・浦河フレンド幼稚園／理事	(学)フレンド恵学園
福田 大年	とくとく健診・ジェネリック医薬品PRポスターの図案選考会／選考委員	札幌市（保健福祉局）
松永 康弘	デジタルコンテンツ未来検討会／委員	(一財)デジタルコンテンツ協会
矢久保 空遥	観光商材開発支援事業／専門家	札幌市（経済観光局）
	観光商材開発支援事業審査委員会／委員	札幌市（経済観光局）



看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
松浦 和代	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（都市局）
	日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会／小児看護専門分科会委員	(一社)日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会
菊地 ひろみ	(公社)北海道看護協会 訪問看護推進検討会／委員	(公社)北海道看護協会
荒木 奈緒	北海道育成看護研究会／評議員	北海道育成看護研究会
喜多 歳子	北海道公衆衛生協会／理事	北海道公衆衛生協会
	北海道建築審査会／委員	北海道
	札幌市建築審査会／委員	札幌市（都市局）
佐藤 ひとみ	(公財)日本医療機能評価機構 評価事業／調査者	(公財)日本医療機能評価機構
菅原 美樹	(公社)日本看護協会 認定看護師審査会／評議員	(公社)日本看護協会
	認定看護師審査会ワーキンググループ（救急看護）／構成員	(公社)日本看護協会
	プロトコール専門委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
村松 真澄	旭川口腔ケア普及研究会／幹事	上川中部地域歯科保健推進協議会
守村 洋	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員	札幌市（社会福祉総合センター）
山本 真由美	北海道看護協会 札幌第1支部／助産師職能委員	(公社)北海道看護協会
鬼塚 美玲	日本看護系大学協議会／災害連携教員	(一社)日本看護系大学協議会
平山 憲吾	日本専門看護師協議会 研修委員会／北海道地区ワーキング委員	日本専門看護師協議会

AIラボ

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 尚人	(一財)さっぽろ産業振興財団／客員研究員	(一財)さっぽろ産業振興財団
	産学融合拠点創出事業／コーディネーター	(公財)北海道科学技術総合振興センター



4 専門職支援・セミナー講師等

1) 専門職支援

① 認定看護管理者教育課程サードレベル

2021年度受講者13名（修了者12名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習・実習（時間数）	講師
第Ⅰ期（13日間） 2021年8月23日 ～9月10日 第Ⅱ期（10日間） 2021年11月5日 ～11月19日 第Ⅲ期（9日間） 2022年1月6日 ～1月21日	ヘルスケアシステム論Ⅲ/33時間	社会保障制度・政策の動向	講義（6）	★大久保一郎
		看護制度・政策の動向	講義（9）	★齋藤 訓子
		ヘルスケアサービスの創造	講義（9）	★松下 博宣
			講義（3）	★相内 俊一
			講義（3）	★土井 正子
				★池畑ひろみ ★高畑 智子
	組織管理論Ⅲ/30時間	組織デザインと組織運営	講義（6）	★永池 京子
			講義（3）	★牧野 憲一
			講義（3）	★深澤 優子
			講義（6）	佐藤ひとみ
			演習（6）	佐藤ひとみ 矢野祐美子
		組織における倫理	講義（6）	★田中かおり ★勝見 真澄
	人材管理Ⅲ/18時間	社会システムと労務管理	講義（3）	★和田 昌代
			講義（3）	★櫛引 久丸
			講義（3）	★田中いずみ
		看護管理者の育成	講義（6）	佐藤ひとみ
	資源管理Ⅲ/33時間	経営戦略	講義（6）	★高橋 泰
			講義（6）	★工藤 高
			演習（6）	佐藤ひとみ 矢野祐美子
		財務管理	講義（6）	★渡邊 寧子
			講義（6）	★前田 誠
		組織的情報管理	講義（3）	★宇都由美子
			講義（3）	★島井健一郎
	質管理Ⅲ/30時間	経営と質管理	講義（6）	★須田 倫子
			講義（3）	★坂上 真弓
			講義（3）	★近藤ときえ
			講義（3）	佐藤ひとみ
			演習（6）	佐藤ひとみ 矢野祐美子



第Ⅰ期（13日間） 2021年8月23日 ～9月10日 第Ⅱ期（10日間） 2021年11月5日 ～11月19日 第Ⅲ期（9日間） 2022年1月6日 ～1月21日	質管理Ⅲ/30時間	組織の安全管理	講義（3）	★平岡 康子
			講義（3）	★岡林 靖子
			講義（3）	★加藤久美子
	統合演習Ⅲ/45時間	第Ⅰ期演習	演習（6）	★伊藤 リカ ★仁木恵美子 ★萩原 直美 佐藤ひとみ 矢野祐美子
		第Ⅱ期演習	演習（6）	★工藤 昭子 ★高橋久美子 ★中山日登美 佐藤ひとみ 矢野祐美子
		統合演習	演習（15）	★勝見 真澄 ★鹿内三起子 ★田中いづみ ★樋口 春美 佐藤ひとみ 矢野祐美子
		実習	実習（18）	佐藤ひとみ 矢野祐美子

★印：非常勤講師等

2) セミナー講師等

① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2021年7月10日	「AI時代のLiberal ArtsとComputational thinking」／講師	早稲田大学 基幹理工学部 情報学科・専攻協議会
	2021年8月2日	トヨタ技術会「技術の一日」論文研究発表会／ 技術指導講師	トヨタ技術会
	2021年8月13日	みらいIT人材育成事業リードエンジニア発掘・ 育成プログラム「STAND OUT」キックオフイ ベント／講師	札幌市（経済観光局）
	2021年10月5日	「AI概論・モビリティ」／社内勉強会講師	㈱FDSホールディングス
	2021年10月13日	心理学部心理学科 2021年度学科講演会「人 工知能の歴史・現在・未来」／講師	(学)追手門学院大学
	2021年10月22日	基調講演「救急看護のDXとAI化」／講師	第23回日本救急看護学会学 術集会
	2021年11月6日	「人工知能×健康」／講師	純真学園大学サイエンスカ フェ
	2021年12月4日	超異分野学会北海道フォーラム2021『チャレ レンジフィールド北海道普及セミナー』／講師	(公財)北海道科学技術総合振興 センター
	2022年2月16日	“くるまからモビリティへ”の技術展オンライ ン企画講演「AIとくるま」／講師	(社)自動車技術会
	2022年2月22日	第2期十勝経営者大学「人間と教育論コース」 ／講師	(社)北海道中小企業家同友会 とかち支部



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
安齋 利典	2021年10月13日	NoMapsカンファレンス「デジタル時代だからこそのアナログ！オンラインワークショップを考える」／講師	(公社)日本アドバタイザーズ協会
齊藤 雅也	2022年2月24日	「ペットボトルハウスで考える住まいの温・涼デザイン」SS特別講座／講師	北海道旭川西高等学校
	2022年3月7日	第30回日本飼育技術学会ウェルフェアにつながる環境建築デザインに関する講演／講師	日本飼育技術学会
椎野 亜紀夫	2021年10月7日、15日、22日、27日	「常盤の自然を生かした公園デザインをしよう」／講師	札幌市立芸術の森小学校
西川 忠	2022年2月15日	「既存木造住宅の耐震性と劣化診断」／講師	(一社)北海道建築技術協会
若林 尚樹	2021年10月13日	NoMapsカンファレンス「デジタル時代だからこそのアナログ！オンラインワークショップを考える」／講師	(公社)日本アドバタイザーズ協会
小林 重人	2021年10月22日	「地域通貨」に関する講演／講師	北陸先端科学技術大学院大学 産学官連携本部
	2022年2月17日、25日、28日	「地域通貨の活用に向けて-東川町の事例-」／指導助言・講演講師	同上
小宮 加容子	2021年12月4日	市民学習講座「だれでも楽しい！けいとアート」／講師	夕張市教育委員会
森 朋子	2022年2月26日	さっぽろれきぶんフェス2022「札幌の都市史を振り返る」／講師	札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会
片山 めぐみ	2021年5月12日	「こんな地域で暮らしたい」／講師	札幌市在宅福祉活動団体ネットワーク
	2021年10月24日	地域にとっての居場所の必要性や多世代交流の実践例、地域を巻き込む工夫の事例紹介／講師	生活クラブ生活協同組合

② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
松浦 和代	2021年4月1日～2024年3月31日	(一社)日本看護学教育学会／専任査読者	(一社)日本看護学教育学会
	2021年7月28日～2022年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員長	(一社)日本生活支援工学会
	2021年5月30日～2025年(社員総会)まで	(一社)日本小児看護学会／評議員	(一社)日本小児看護学会
	2021年8月1日～2023年定時社員総会終了まで	(一社)日本小児看護学会／災害対策委員会 委員	(一社)日本小児看護学会
	2022年1月～2023年5月	ファミリーハウス利用者が安全に滞在するための基盤づくりのアドバイザー	(特)ファミリーハウス
菊地 ひろみ	2021年5月12日、26日	「2021年度北海道専任教員養成講習会」／講師	(公社)北海道看護協会
	2021年4月15日～2022年3月31日	第11回日本在宅看護学会学術集会／企画委員	第11回日本在宅看護学会学術集会
	2021年6月1日～2021年7月31日	第11回日本在宅看護学会学術集会／査読委員	第11回日本在宅看護学会学術集会
	2021年10月30日	訪問看護人材確保に関するセミナー／講師	(公社)北海道看護協会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
荒木 奈緒	2020年3月31日～ 2022年定時社員総 会終結まで	(一社) 日本助産学会／代議員	(一社) 日本助産学会
	2021年4月5日 ～2022年3月31日	臨床看護研究支援スタッフ育成のための研修会 ／講師	NTT東日本札幌病院
	2021年10月2日	北海道看護協会南空知支部助産師職能委員会の 研修会／講師	北海道看護協会南空知支部
	2022年2月26日	MCMC母と子のメンタルヘルスケア研修会／ 講師	北海道産婦人科医会
	2021年4月1日 ～2023年3月31日	日本助産学会誌／専任査読者	(一社) 日本助産学会
	2022年3月1日 ～2022年11月30日	第53回日本看護学会学術集会／抄録選考委員	(公社) 日本看護協会
	2021年12月6日 ～2022年12月5日	センター調査＜C0161＞個別調査部会／部会員	(一社) 日本医療安全調査機構
川村 三希子	2021年7月28日 ～2022年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員	(一社) 日本生活支援工学会
卯野木 健	2022年2月27日	挿管固定に関わるミニセミナー／講師と座長	アルケア(株)ウンド&ナーシ ングケア事業部
	2022年3月15日 ～2022年9月30日 (配信期間)	新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研 修／講師	(公社) 日本看護協会
小田 和美	2021年6月15日、 29日、10月、 2022年2月予定	ラダー教育企画、各研究研修会／講師	JA北海道厚生連 帯広厚生 病院
貝谷 敏子	2021年5月26日	日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 持田ヘルスケア株式会社 共催セミナー／座長	日本創傷・オストミー・失 禁管理学会学術集会 持田 ヘルスケア株式会社 共催
	2021年7月28日 ～2022年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員	(一社) 日本生活支援工学会
	2021年10月30日	オンラインセミナー／講師	コンパテックジャパン(株)
喜多 歳子	2019年7月17日 ～2023年11月30日	北海道公衆衛生学会／理事	北海道公衆衛生協会
	2021年7月28日 ～2022年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員	(一社) 日本生活支援工学会
	2021年12月16日	「新任保健師研修」／講師	札幌市（保健福祉局）
	2021年12月23日	「中堅保健師研修」／講師	札幌市（保健福祉局）
定廣 和香子	2021年6月18日、 23日、7月16日	北海道専任教員養成講習会／講師	(公社) 北海道看護協会
佐藤 ひとみ	2021年7月30日	第22回日本医療情報学会看護学術大会／講師	第22回日本医療情報学会看 護学術大会
樋之津 淳子	2019年2月28日 ～2023年3月	(公社) 日本看護科学学会／代議員	(公社) 日本看護科学学会
	2020年6月7日～ 2024年度定時評議 員会の終結の時	(一社) 日本看護学教育学会／評議員	(一社) 日本看護学教育学会
	2021年4月1日 ～2023年3月31日	看護人間工学会／役員	看護人間工学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2021年4月1日 ～2024年3月31日	(一社) 日本看護学教育学会／専任査読者	(一社) 日本看護学教育学会
	2021年9月18日	第3回看護人間工学会学術集会／座長	第3回看護人間工学会学術集会
	2021年10月9日～ 2023年評議員会終了まで	看護理工学会／評議員と監事	看護理工学会
神島 滋子	2021年4月1日 ～2024年3月31日	日本慢性看護学会／評議員	日本慢性看護学会
	2021年4月11日 ～2023年3月31日	日本脳神経看護研究学会／役員 理事	日本脳神経看護研究学会
	2021年7月24日	日本脳神経看護研究学会北海道部会研修会／講師	日本脳神経看護研究学会北海道支部
	2021年7月1日 ～2021年12月31日	第23回日本救急看護学会学術集会／企画実行委員	第23回日本救急看護学会学術集会
	2021年9月10日	看護研究の基礎研修会（小樽支部）／講師	(公社) 北海道看護協会
菅原 美樹	2019年10月3日～ 2023年開催の定時社員総会の前日まで	(一社) 日本救急看護学会／評議員	(一社) 日本救急看護学会
	2021年2月13日～ 選出後4年以内に実施される代議員選挙終了の時まで	(一社) 日本災害看護学会／代議員	(一社) 日本救急看護学会
	2021年9月24日	2021年度認定看護師教育課程 クリティカルケア学科／講師	(公社) 日本看護協会看護研修学校
檜山 明子	2021年6月23日 ～8月20日	「令和3年度 北海道専任教員養成講習会」／講師	(公社) 北海道看護協会
藤井 瑞恵	2021年4月1日 ～2022年3月31日	札幌医科大学訪問研究員	札幌医科大学
本田 光	2021年6月17日	南区の高齢者の支援に携わる関係機関職員に対する地域アセスメントについての研修会／講師	札幌市（南区保健福祉部）
	2021年10月16日	北海道産業看護研修会／講演者	日本産業衛生学会 北海道地方会産業看護部会
	2021年8～10月	札幌市南区地域包括支援センター「地域アセスメントに係るミーティング」／講師	札幌市（南区第1・2・3地域包括支援センター）
	2022年3月14日	性や生き方について深く学ぶ授業／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
村松 真澄	2020年7月17日～ 2022年度社員総会まで	(一社) 日本老年看護学会編集委員会／査読委員	(一社) 日本老年看護学会及び日本老年看護学会編集委員会
	2020年6月29日～ 2024年度社員総会まで	(一社) 日本老年看護学会／代議員	(一社) 日本老年看護学会
	2020年7月17日～ 2022年度社員総会まで	(一社) 日本老年看護学会編集委員会／査読委員	(一社) 日本老年看護学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
村松 真澄	2020年8月28日～ 2022年度社員総会 まで	(一社)日本老年看護学会老年看護政策検討委員会 ／委員	(一社)日本老年看護学会
	2020年4月1日 ～2025年3月31日	(一社)日本口腔ケア学会認定施設(医)はぎわら歯科 クリニック内「口腔ケアチーム」／認定指導者	(医)はぎわら歯科クリニック
	2020年12月17日 ～2023年11月30日	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生協会
	2021年4月	「Eilers口腔アセスメントガイド」／監修	Meiji Seika ファルマ株式会 社
	2021年5月20日	北海道医療大学 要介護高齢者に対する口腔ケ アの研鑽及び勉強会／講師	北海道医療大学
	2021年6月13日	「第32回日本老年学会総会」／講師	第32回日本老年学会総会
	2021年11月13日、 14日	第11回日本在宅看護学会学術集会の教育セミ ナー／講師	第11回日本在宅看護学学術 集会
	2021年11月28日	日本口腔看護研究会 2021年10～11月口腔ケ ア実践WEBセミナー／座長	日本口腔看護研究会
	2021年10月23日	第9回看護理工学会学術集会の市民公開講座／ 座長	第9回看護理工学会学術集会
	2021年10月21日	JA北海道厚生連 札幌厚生病院研修会／講師	JA北海道厚生連札幌厚生病 院
	2021年10月24日	北海道口腔保健学会の特別講演／講師	北海道口腔保健学会
	2021年12月4日	ホームホスピス北海道市民フォーラム実行委員 会／実行委員	ホームホスピス北海道市民 フォーラム
	2021年8月1日 ～2023年7月31日	(一社)日本摂食嚥下リハビリテーション学会／評 議員	(一社)日本摂食嚥下リハビリ テーション学会
守村 洋	2021年8月19日	<社会保険診療報酬算定要件研修>精神科訪 問看護基本療養指導に係る研修(第1回・第2 回)研修会」／講師	(公社)北海道看護協会
	2021年7月20日	札幌市教育センター専門研修「自殺予防の取 組」／講師	札幌市(教育委員会)
	2021年6月11日、 10月6日、2022年 2月17日	「生活支援員登録に向けた研修・説明会」／講 師	札幌市(社会福祉協議会)
	2021年7月24日	「第464回精神療養講座」／講師	(緋)札幌市精神障害者家族連 合
	2021年8月3日	福祉職場におけるメンタルヘルス研修／講師	北海道社会福祉協議会社会 福祉研修所
	2021年5月9日	「メンタルケア・スペシャリスト養成講座」／ 講師	(一財)メンタルケア協会
	2021年10月23日	パネルディスカッション／座長	第23回日本救急看護学会学 術集会
	2021年11月9日～ 終了日まで	熊本保健科学大学研究誌／査読	熊本保健科学大学
	2021年11月19日	札幌市自殺総合対策連絡会議への参画	札幌市(保健福祉局)
	2022年2月22日	札幌むつみ会の講演／講師	札幌むつみ会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
守村 洋	2022年1月25日	第1回学生メンタルヘルス支援部会への参画	札幌市（保健福祉局）
	2022年3月9日、14日	日常生活自立支援事業「生活支援員現任者研修会」／講師	(編)札幌市社会福祉協議会
	2021年8月25日	＜社会保険診療報酬算定要件研修＞精神科訪問看護基本療養指導に係る研修（第1回・第2回）研修会」／講師	(公社)北海道看護協会
大野 夏代	2022年2月24日	王子総合病院附属看護専門学校・卒業記念講演／講師	王子総合病院附属看護専門学校
石引 かずみ	2021年12月23日 ～2022年8月28日	日本遺伝看護学会の第21回学術大会／実行委員	日本遺伝看護学会第21回学術大会
黒田 紀子	2020年8月3日～ 2022年定時社員総会まで	若手による小児保健検討会準備委員会／委員	(公社)日本小児保健協会
	2022年1月12日 ～2022年8月28日	日本遺伝看護学会の第21回学術大会／実行委員	日本遺伝看護学会第21回学術大会
高橋 奈美	2021年4月1日 ～2024年3月31日	日本慢性看護学会／評議員	日本慢性看護学会
	2021年4月1日 ～2024年3月31日	日本慢性看護学会編集委員会／専任査読委員	日本慢性看護学会
武富 貴久子	2021年9月11日	標準模擬患者／指導教員	北海道大学医学研究院
	2021年9月 ～2022年3月	2021年度砂川市立病院看護部／看護研究指導	砂川市立病院看護部
	2021年10月23日	標準模擬患者／指導教員	北海道大学医学研究院
	2021年11月13日	令和3年度 札幌第4支部研修「看護研究研修会」／講師	(公社)北海道看護協会札幌第4支部
	2022年1月22日、23日	セミナーとワークショップ／講師及びコーディネーター	岐阜大学医学教育開発研究センター
	2021年4月1日 ～2022年3月31日	客員研究員	北海道大学医学研究院
原井 美佳	2022年2月9日	札幌青葉学園 北海道看護専門学校2年次講義／ゲストスピーカー	(学)札幌青葉学園北海道看護専門学校
矢野 祐美子	2021年4月26日	「臨床実習指導者」研修会／講師	JA北海道厚生連札幌厚生病院
	2022年2月3日	実習指導者・プリセプター育成研修／講師	苫小牧市立病院
	2021年3月14日～ 2023年度定時社員総会 終結時業務完了時まで	(一社)日本看護管理学会 学術活動推進委員会／委員	(一社)日本看護管理学会
山本 真由美	2021年12月21日 ～2022年8月28日	日本遺伝看護学会第21回学術大会／実行委員	日本遺伝看護学会第21回学術大会
	2022年2月20日、 2022年8月6日	桶谷式母乳育児推進協会／講師及びアドバイザー	(公社)桶谷式母乳育児推進協会
市戸 優人	2022年3月14日	性や生き方について深く学ぶ授業／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
大友 舞	2021年12月28日 ～2022年8月28日	日本遺伝看護学会第21回学術大会／実行委員	日本遺伝看護学会第21回学術大会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
鬼塚 美玲	2021年4月1日 ～2022年3月31日	自衛隊札幌病院／看護研究指導	自衛隊札幌病院
栗原 知己	2021年7月4日	第17回日本クリティカルケア看護学会／演者	第17回日本クリティカルケア看護学会
	2021年5月9日	日本救急看護学会主催 第2回WEB版外傷初期看護セミナー／インストラクター	(一社)日本救急看護学会
	2021年5月30日	日本救急看護学会主催 第3回WEB版外傷初期看護セミナー／インストラクター	(一社)日本救急看護学会
	2021年7月1日 ～2021年12月31日	第23回日本救急看護学会学術集会／事務局	第23回日本救急看護学会学術集会
	2021年4月1日 ～2022年3月31日	看護教育委員会／委員、ワーキンググループ／メンバー	(一社)日本集中治療医学会
	2021年11月28日	(一社)日本救急看護学会主催 第11回WEB版外傷初期看護セミナー／インストラクター	(一社)日本救急看護学会
	2021年12月12日	(一社)日本救急看護学会主催 第12回WEB版外傷初期看護セミナー／インストラクター	(一社)日本救急看護学会
	2022年2月19日	看護セミナー／講師	日本救急看護認定看護師会事務局(一社)救急ケア開発研究所
近藤 圭子	2021年10月6日、 12月8日	令和3年度 訪問指導員研修会・連絡会（9・10月実施分）／講師	(編)札幌市社会福祉協議会
齋 若奈	2021年11月21日	「第7回 札幌医科大学附属病院 ELNEC-J看護師教育プログラム」／ファシリテーター	札幌医科大学附属病院
坂本 結城	2021年8月30日 ～2021年9月8日	「保健師助産師看護師実習指導者講習会」／講師及び演習助言者	(公社)北海道看護協会
平山 憲吾	2022年3月26日	がん看護コース 事例検討会／担当者	北海道医療大学大学院
牧田 靖子	2022年1月 ～2023年5月	ファミリーハウス利用者が安全に滞在するための基盤づくり／アドバイザー	(協)ファミリーハウス

③ AIラボ

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
高橋 尚人	2022年1月29日	「AI画像解析技術とその活用について」／講師	(公社)日本技術士会 船舶・海洋/航空・宇宙部会



5 国際交流実績

期間	種別	内容
2021年8月27日	その他	2021年7月に帰国した交流学生1名がラップランド大学留学帰国報告会を実施し、デザイン学部学生15名ならびに教職員16名が参加
2021年10月1日 ～2022年9月30日	受入	台中科技大学から特別聴講生1名を受入
2021年11月19日	セミナー型	経済連携協定で来札したインドネシア人看護師とのオンライン交流会を実施し、看護学部学生11名ならびに教職員3名が参加
2021年12月21日	セミナー型	スウェーデンの高齢者福祉施設オンライン視察研修を実施し、デザイン学部学生7名、看護学部・看護学研究科学生6名ならびに教職員11名が参加
2022年3月8日	オンライン 交流	フランスのInstitut Supérieur du Design (ISD) Rubika (学生10名、教員2名) と、オンライン情報交換・交流会を実施し、デザイン学部学生12名ならびに教職員4名が参加
2022年3月11日	オンライン 交流	オーストラリアのグリフィス大学 (医学専攻学生2名) へのオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生1名ならびに看護学部学生1名が参加
2022年3月14日	オンライン 交流	台中科技大学 (学生30名、教員6名) と、オンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生8名ならびに教職員5名が参加

6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
講演会・セミナー	24
会 議	※内訳 会議 (学内者のみ) 63 産学連携・会議 (学外者を含む) 84 147
研究会・学会	140
そ の 他	3
合計	311

V キャリア支援活動

1 デザイン学部

1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取組を図る目的で2008年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の就職活動支援方法、学生の就業意識の形成・向上につながる取組、求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

また、同時に開設されたキャリア支援室では、教職員による就職相談体制を整えるとともに、専門の就職相談員1名を配置し、きめ細かな個別指導を行っている。2020年度以降は、対面だけではなくオンラインによる取組も進め、後援会からの支援をうけた就職活動支援も行っている。活動実績の詳細については以下のとおりである。

学部4年生への支援	・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（2021年4月～） ・学内企業説明会の開催（随時） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	・OB・OGイベントを含むキャリアガイダンス（2021年4月～2022年1月） ・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（2021年10月～2022年1月） ・就職活動ハンドブックの配布（2021年4月） ・進路希望調査（2021年9月） ・ビジネスEXPO見学会の開催（2021年11月） ・学内業界セミナーの開催（2022年1月～2022年2月） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
学部2・3年生への支援	・スケッチ講習会の開催（2021年11月） ・ワークショップ型インターンシップ体験の開催（2021年12月）
後援会からの支援	・エントリーシート個別相談会の開催（2021年12月） ・履歴書用証明写真撮影補助（2021年11月～2021年12月） ・模擬面接（2022年1月～2月）

2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、キャリア支援委員会の委員、2コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課学生支援係キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち就職活動に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。

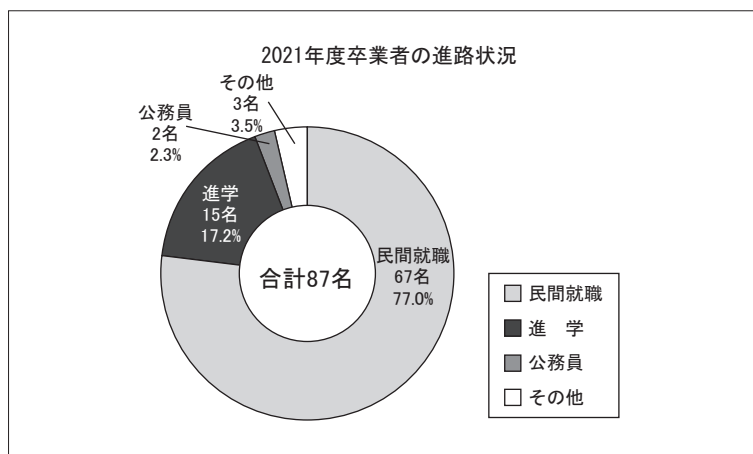
3) 就職・進学結果
(13期生) 2022年3月卒業生

就職先	■建設業 (株)石山工務店/川本工業(株)/建装工業(株)/株三五工務店/須藤建設(株)/株南香園
	■製造業 (株)オリバー/東洋(株)/(株)パーペル/フィルネクスト(株)/フランスベッド(株)/(株)ブラッツ/松下ラゲッジ(株)
	■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等） (有)3KG /haptics Inc./株HBA/株Hitoshi-Maru/ INTER BLUE(株)/(株)nice/(株)Olivier/(株)ProVision/(株)USEN/(株)アイレップ/(株)エイチ・アイ・ディ/(株)エイチ・ビー・シー・フレックス/(株)エスユーエス/クリナップソリューション(株)/サーバーフリー(株)/(株)シーズ・ラボ/(株)シオンステージ/(株)ジャパンテクニカルソフトウェア/(株)大広WEDO/(株)ディンブス/東洋ワークセキュリティ(株)/(株)トップ・クリエーション/トランスコスモス(株)/ハコレコドットコム(株)/(株)メンバーズ/リバティーンズ(株)
	■卸売・小売業 イオン北海道(株)/札幌トヨタ自動車(株)/(株)ネクステージ/ネットトヨタ函館(株)/(株)ハスコムモバイル/長谷川産業(株)/ハミューレ(株)/(株)日比谷花壇
	■金融・保険業 第一生命保険(株)
	■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等） (株)BWORKS/commono(株)/(株)商藝舎/(株)ニトリパブリック/フリーランス
	■宿泊・飲料サービス業 (株)アレフ
	■生活関連サービス・娯楽業 (株)スガイディノス
	■医療・福祉 (協)札幌市社会福祉協議会/(株)ベネッセスタイルケア
	■教育・学習支援業 北海道国立大学法人等職員（室蘭工業大学）
	■サービス業 (株)カケハシスカイソリューションズ/陸別町農業協同組合/(株)ルーツ・オブ・ジャパン
	■公務 岩見沢市/小樽市
進学先	札幌市立大学大学院/北海道大学大学院

(13期生) 札幌市立大学デザイン学部 2021年度卒業生 就職状況 (2022年7月1日現在)

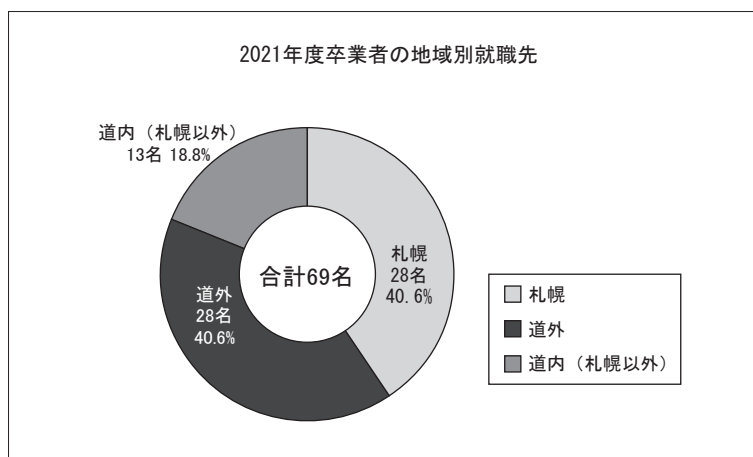
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	67名	77.0%
進学	15名	17.2%
公務員	2名	2.3%
その他	3名	3.5%
合計	87名	—



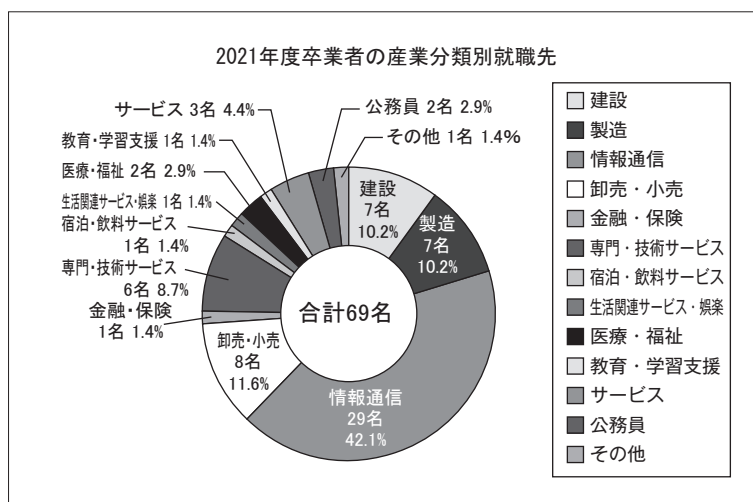
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	28名	40.6%
道外	28名	40.6%
道内 (札幌以外)	13名	18.8%
合計	69名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設	7名	10.2%
製造	7名	10.2%
情報通信	29名	42.1%
卸売・小売	8名	11.6%
金融・保険	1名	1.4%
専門・技術サービス	6名	8.7%
宿泊・飲料サービス	1名	1.4%
生活関連サービス・娯楽	1名	1.4%
医療・福祉	2名	2.9%
教育・学習支援	1名	1.4%
サービス	3名	4.4%
公務員	2名	2.9%
その他	1名	1.4%
合計	69名	—



4) コース別概要

(13期生) 札幌市立大学デザイン学部 2021年度卒業者 (2022年7月1日現在)

1.コース別進路状況

コース	卒業生数①	1. 就職希望		就職者（起業含）		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	⑥※ 2
人間空間	45	32	0	32	0	13	13	0
人間情報	43	38	2	37	2	2	2	3
合 計	88	70	2	69	2	15	15	3
割 合		79.5%	2.9%	98.6%	2.9%	17.0%	100.0%	3.4%

$$\textcircled{2} \div \textcircled{1}$$
$$\textcircled{3} \div \textcircled{2} \quad \times 1$$
$$\textcircled{4} \div \textcircled{1}$$
$$\textcircled{5} \div \textcircled{4} \quad \times 3$$
$$\textcircled{6} \div \textcircled{1}$$

(備考)

※1：就職希望者に対する就職者の割合

※2：就職希望・進学希望以外の者（アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの）

※3：進学希望者に対する進学先決定者の割合

2.内定先の内訳（市内26社28名、道内13社13名、道外27社28名）

コース	道内企業（札幌市内含む）	道外企業
人間空間	市内 (株)BWORKS〔専門・技術〕 - haptics Inc.〔情報通信：アシスタント〕 (株)Hitoshi-Marun〔情報通信〕 (株)nice〔情報通信〕 (株)アレフ〔宿泊・飲食：総合職〕 - 札幌トヨタ自動車(株)〔卸売・小売：総合職〕 (株)三工務店〔建設：設計職〕（２名） (株)スガイディノス〔生活・娯楽：総合職〕 (株)トップ・クリエーション 〔情報通信：デザイナー〕 (株)南香園〔建設：造園職〕 - フリーランス〔専門・技術〕 - その他	- INTER BLUE(株)〔情報通信：総合職〕 (株)オリバー〔製造：デザイナー〕 (株)カケハシスカイソリューションズ 〔サービス：クリエイティブ職〕 - 川本工業(株)〔建設：施工管理職〕 - 建装工業(株)〔建設：総合職〕 - サーバーフリー(株)〔情報通信〕 (株)シオンステージ 〔情報通信：アシスタントディレクター〕 - 第一生命保険(株)〔金融・保険：営業職〕 - トランスコスモス(株)〔情報通信：設計職〕（２名） (株)ブラッツ〔製造：総合職〕 (株)ベネッセスタイルケア〔医療・福祉：介護職〕 (株)メンバーズ〔情報通信：デザイナー〕
	道内 (株)石山工務店〔建設：設計職〕 (株)商藝舎〔専門・技術：デザイナー〕 - 須藤建設(株)〔建設：施工管理職〕 - ネットトヨタ函館(株)〔卸売・小売：総合職〕 (株)パーペル〔製造：企画職〕 - 陸別町農業協同組合〔サービス：総合職〕	

コース		道内企業（札幌市内含む）	道外企業
人間情報	市内	(有)3 K G〔情報通信：デザイナー〕 commono(株)〔専門・技術：デザイナー〕 (株)HBA〔情報通信：SE職〕 (株)Olivier〔情報通信〕 イオン北海道(株)〔卸売・小売：総合職〕 (株)エイチ・アイ・ディ〔情報通信：SE職〕 (株)エイチ・ビー・シー・フレックス 〔情報通信：SE職〕（2名） (偏)札幌市社会福祉協議会〔医療・福祉：事務職〕 (株)シーズ・ラボ〔情報通信：SE職〕 (株)ジャパンテクニカルソフトウェア 〔情報通信：SE職〕 (株)ニトリパブリック〔専門・技術：総合職〕 (株)ハスコムモバイル〔卸売・小売：販売職〕 ハミューレ(株)〔卸・小売：総合職〕 (株)ルーツ・オブ・ジャパン 〔サービス：輸出事業職〕	(株)ProVision〔情報通信：テストエンジニア〕 (株)USEN〔情報通信：総合職〕 (株)アイレップ〔情報通信：コピーライター〕 (株)エスユーエス〔情報通信：エンジニア〕 クリナップソリューション(株)〔情報通信：SE職〕 (株)大広WEDO〔情報通信：総合職〕 (株)ディンプス〔情報通信：ゲームプランナー〕 東洋ワークセキュリティ(株)〔情報通信：総合職〕 (株)ネクステージ〔卸売・小売：営業職〕 (株)日比谷花壇〔卸売・小売：総合職〕 フィルネクスト(株)〔製造：デザイン企画職〕 フランスベッド(株)〔製造：法人営業企画職〕 松下ラゲッジ(株)〔製造〕 (株)メンバーズ〔情報通信：デザイナー〕 リバティーンズ(株)〔情報通信：デザイナー〕
	道内	岩見沢市〔公務：事務職〕 小樽市〔公務：事務職〕 (株)商藝舎〔専門・技術：デザイナー〕 東洋(株)〔製造：デザイナー〕 ハコレコドットコム(株)〔情報通信：デザイナー〕 長谷川産業(株)〔卸売・小売：総合職〕 北海道国立大学法人等職員（室蘭工業大学） 〔教育・学習支援：事務職〕	
小計		39社 41名	27社 28名
合計		66社 69名	

3.進学状況（大学院15名）

コース	進学先						
人間空間	大学院	札幌市立大学大学院12名、北海道大学大学院1名					
	研究生						
	その他						
人間情報	大学院	札幌市立大学大学院2名					
	研究生						
	その他						
合計		大学院	15	研究生	0	その他	0

2 看護学部（助産学専攻科含む）

1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	キャリアハンドブック配布（専攻科生） 進路希望調査	
5月	WEB模擬面接（10日間）	
6月		
7月		
8月	再学修セミナー（8月～9月）※オンデマンド配信 看護師模試① 保健師模試①	
9月	後期ガイダンス	
		進路活動ガイダンス※オンデマンド配信 特別講義（就職活動への心構え）※オンデマンド配信
10月	看護師模試② シャトル研修※ZOOMオンライン開催	第1回進路希望調査 国家試験対策自主ゼミ結成
11月	国家試験対策講座※オンデマンド配信 看護師模試③ 保健師模試② 助産師模試① 国家試験説明会	
12月		
1月	看護師模試④ 保健師模試③ 助産師模試②	

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング※新型コロナウイルス 対応のため日程縮小	特別講義（マナー講座）※オンデマンド配信 学内キャリア説明会（道内27施設、道外12施設） ※ZOOMオンライン開催 低学年用国家試験模試
3月	特別講義（就労支援）※オンデマンド配信 卒業・修了前ガイダンス	

3) 就職・進学結果

① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	77	71	6	68	95.8
助産学専攻科	11	11	0	11	100.0

② 就職者の職種

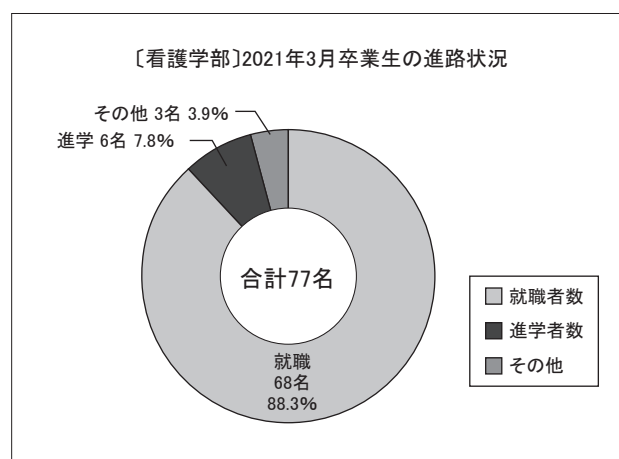
(単位：名)

看護師	64
保健師	4
助産師	11
その他	0
合計	79

2021年3月卒業生・修了生

看護学部

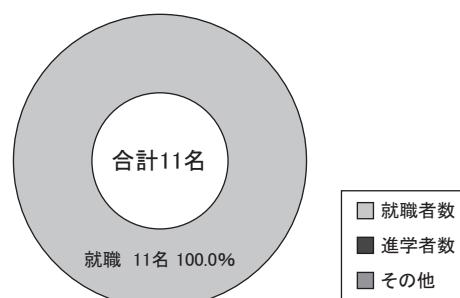
進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	68	88.3
進学	6	7.8
その他	3	3.9
合計	77	—



助産学専攻科

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	11	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	11	—

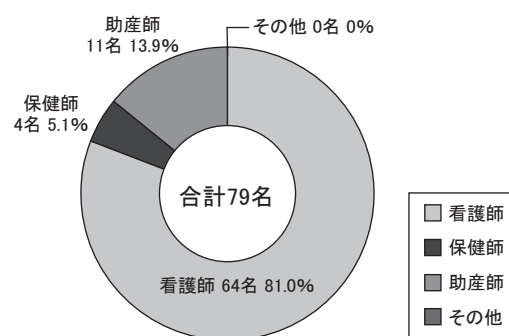
〔助産学専攻科〕2021年3月修了生の進路状況



看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	64	81.0
保健師	4	5.1
助産師	11	13.9
その他	0	0
合計	79	—

〔看護学部・助産学専攻科〕就職者の職種



4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数(名)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
看護師	75	75	74	98.7
保健師	28	28	27	96.4
助産師	11	11	11	100.0

3 デザイン研究科

1) 就職・進学結果

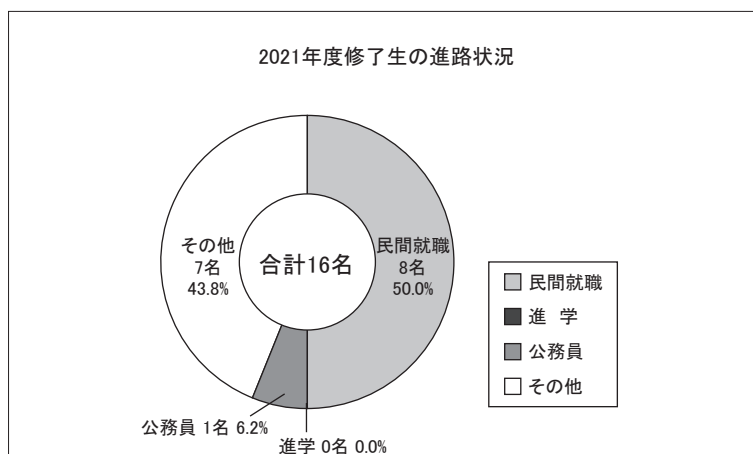
(11期生) 札幌市立大学（デザイン研究科博士前期課程） 2021年度修了生

就職 先	■建設業 (株)ALEX/(株)SHUKEN Re/(株)遠藤建築アトリエ
	■情報通信業 トランスコスモス(株)/(株)ミツエーリンクス
	■卸・小売業 (株)HUGEMORI商事
	■専門・技術サービス業 (株)日建設計
	■サービス業 (株)アルトナー
	■公務 札幌市（建築職）

(11期生) デザイン研究科博士前期課程 2021年度修了者 就職状況

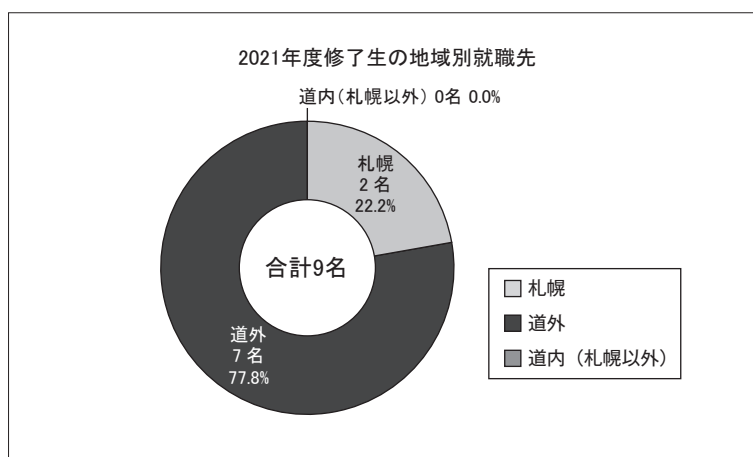
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	8名	50.0%
進学	0名	0.0%
公務員	1名	6.2%
その他	7名	43.8%
合計	16名	—



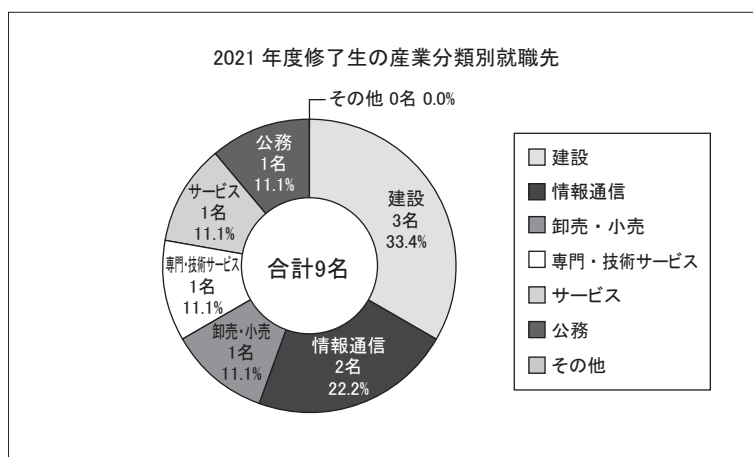
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	2名	22.2%
道外	7名	77.8%
道内（札幌以外）	0名	0.0%
合計	9名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設	3名	33.4%
情報通信	2名	22.2%
卸売・小売	1名	11.1%
専門・技術サービス	1名	11.1%
サービス	1名	11.1%
公務	1名	11.1%
その他	0名	0.0%
合計	9名	—



2) 進路決定状況概要

1.進路状況

(11 期生) 札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程 2021 年度修了者

(単位: 名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者 (起業含) ※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人 数	17	10	1	9	1	0	0	7
割 合	100.0%	58.8%	10.0%	90.0%	11.1%	0.0%	0.0%	41.2%
		②÷①		③÷②		④÷①		⑤÷④
								⑥÷①

(8 期生) デザイン研究科博士後期課程 2021 年度修了者

(単位: 名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者 (起業含) ※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人 数	0	0	0	0	0	0	0	0
割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②÷①		③÷②		④÷①		⑤÷④
								⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者 (社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2.内定先の内訳 (市内2社2名、道外7社7名)

コース	道内企業 (札幌市内含む)		道外企業
デザイン専攻	市内	(株)遠藤建築アトリエ [建設: 設計職] 札幌市 [公務: 建築職]	(株)ALEX [建設: 設計職] (株)SHUKEN Re [建設: 施工管理職] (株)HUGEMORI商事 [卸売・小売] (株)アルトナー [サービス: エンジニア職] トランスコスモス(株) [情報通信: 設計職] (株)日建設計 [専門・技術サービス: 機械設備職] (株)ミツエーリンクス [情報通信: 総合職]
	道内		
小 計	2社 2名		7社 7名
合 計	9社 9名		

3.進学状況 (大学院0名)

課 程	進学先			小計(名)
デザイン研究科博士前期課程	大学院			0
	研究生			0
	その他			0
合計	大学院博士後期課程 0 研究生 0 その他 0			0



VI 令和4年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部

1) 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【全学部共通アドミッション・ポリシー】

本学は、教育研究上の理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容を踏まえ、以下の方針を定め、入学者を受け入れます。

<求める学生像>

- 1 人間重視を理解し、自身の専門性を生かして未来を創造しようとする姿勢をもつ人
- 2 人々の幸福や地域社会の持続的な発展に貢献しようとする意志をもつ人
そのため、本学は、高等学校等における基礎学力、課外活動等によって培われた協調性及び責任感のある人を求めています。入学者には、日ごろから、生命、人間及びその生活に興味・関心をもち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学修の中で幅広い知識・思考力・判断力・表現力を身につけるとともに、多様な人々と協同するためのコミュニケーション能力を備え、学ぶ意欲があることが求められます。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、複数の選抜区分により行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入学共通テストの成績、調査書等で測る。
- 3 各学部が求める能力等は、個別試験で測る。

【デザイン学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人間重視の姿勢をもち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と見識をもって、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志をもつ人

これらの学生像は、高等学校等における次のような学習により導かれるものです。

- ・「国語」及び「英語」において、基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。
- ・「数学」及び「理科」において、論理的思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。
- ・「社会」において、人間と社会の諸問題に関心をもつこと。
- ・「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等において、美や文化を理解する感性を育むこと。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・私費外国人留学生）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、選抜区分ごとに、大学入学共通テスト、英語の資格・検定試験、個別試験の成績及び調査書等を組み合わせて測る。
- 3 観察力、想像力、思考力、判断力、表現力、自分の考えを他者へ伝える力は、個別試験のデザイン総合問題やグループワーク・個別発表で測る。
- 4 専門分野への関心、主体性（学習意欲、目的意識等）、社会性（コミュニケーション能力等）は、個別試験の面接やグループワークで測る。
- 5 3年次編入学では、面接に加え、学修・研究成果、適性等を口頭試問で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）と個別試験



(デザイン総合問題、面接)により行う。配点は、大学入学共通テストを800点、個別試験を300点とする。

- 2 学校推薦型選抜は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 3 総合型選抜は、個別試験（グループワーク・個別発表）により行う。グループワークと個別発表の配点は、それぞれ200点とする。
- 4 特別選抜（社会人・私費外国人留学生）は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 5 3年次編入学は、面接・口頭試問、英語の資格・検定試験により行う。配点は、面接・口頭試問を300点、英語の資格・検定試験を100点とする。
- 6 調査書等の提出書類は、面接やグループワークの際の参考資料とするとともに選抜の総合的な判定資料とする。

【看護学部アドミッション・ポリシー】

＜求める学生像＞

- 1 人々の健康・心・暮らしに関心をもち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢をもつ人
 - 2 豊かな感性と探究心をもって、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
 - 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志をもつ人
- このため看護学部では、高等学校等における「国語」「英語」「数学」「理科」などの基礎的な学力及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

＜入学選抜の在り方＞

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（社会人）で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力、読解力、論理的思考力、判断力、表現力、専門分野への関心、主体性、社会性等は、大学入学共通テストの成績及び個別試験で測る。

＜入学選抜方法＞

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト及び面接の合計得点を算出する。
- 2 学校推薦型選抜は、小論文及び面接の合計得点を算出する。
- 3 特別選抜（社会人）は、総合問題及び面接の合計得点を算出する。
- 4 調査書等の提出書類は、面接の際の参考資料とするとともに、選抜の総合的な判定資料とする。

② 令和4年度入学選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜 前期日程	学校推薦型 選抜	総合型選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人 留学生)
デザイン学部 デザイン学科	90	57	25	8	若干名	若干名
看護学部 看護学科	85	48	37	—	若干名	—



選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
一般選抜 前期日程	2022年1月24日 ～2月4日	2022年2月25日	2022年3月8日 【入学手続期間】 2022年3月8日～15日
学校推薦型選抜	2021年11月1日～4日	2021年11月20日	2021年12月6日 【入学手続期間】 2021年12月6日～13日
総合型選抜（※）	2021年9月13日～17日	2021年10月9日	2021年11月1日 【入学手続期間】 2021年11月1日～8日
特別選抜（社会人）	デザイン学部 2021年11月1日～4日	デザイン学部 2021年11月20日	デザイン学部 2021年12月6日 【入学手続期間】 2021年12月6日～13日
	看護学部 2021年8月4日～10日	看護学部 2021年9月4日	看護学部 2021年9月21日 【入学手続期間】 2021年9月21日～9月28日
特別選抜 （私費外国人留学生）（※）	2022年1月24日 ～2月2日	2022年2月25日	2022年3月8日 【入学手続期間】 2022年3月8日～15日

（※）は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



選抜方法

選抜区分	学部・学科名	選抜方法
一般選抜 前期日程	デザイン学部 デザイン学科	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別試験の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。ただし、看護学部においては、面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがある。
	看護学部 看護学科	
学校推薦型選抜	デザイン学部 デザイン学科	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	小論文及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、小論文か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
総合型選抜	デザイン学部 デザイン学科	講義1・講義2に基づいた2回のグループワーク、個別発表（レポート作成、口頭試問含む）、提出書類を総合的に判定して行う。
特別選抜（社会人）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	総合問題及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、総合問題か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
特別選抜（私費外国人留学生）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。

一般選抜試験の大学入学共通テスト及び個別試験の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テスト		個別試験
		教科	科目名等（略称）	
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国 語	「国」（古文・漢文を含む。）	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接
		地 歴 公 民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数 学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	
看護学部 看護学科	前期日程	国 語	「国」（古文・漢文を含む。）	面 接
		数 学	「数Ⅰ・数A」	
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	



注1) 【デザイン学部】

- ・ 地歴公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目の得点を利用します。
- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。
「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

注2) 【看護学部】

- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。

注3) 【デザイン学部・看護学部共通】

- ・ 外国語について、「英語」のリーディング及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

③ 令和4年度3年次編入学選抜概要

募集人員

(単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	若干名

選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	2021年6月18日 ～25日	2021年7月17日	芸術の森キャンパス	2021年7月29日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	本学が実施する面接・口頭試問、TOEICのスコア、提出書類を総合的に判定して行う。



2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	57	108	107	63	63
学校推薦型選抜	25	51	51	25	25
総合型選抜	8	38	30	8	8
特別選抜（社会人）	若干名	1	1	0	0
特別選抜 （私費外国人留学生）	若干名	0	0	0	0

看護学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	48	112	105	48	46
学校推薦型選抜	37	83	83	37	37
特別選抜（社会人）	若干名	8	8	2	2

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	96	51	28	17	29	67
看護学部	85	37	42	6	4	81
合計	181	88	70	23	33	148

② 編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
デザイン学部	人間空間デザイン	若干名	5	5	1
	人間情報デザイン		4	4	0
	計	若干名	9	9	1



b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	1	0	0	1	0	1



2 デザイン研究科・看護学研究科

1) 博士前期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎的知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意志を持った人

【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

② 令和4年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	—	18 (一般選抜、特別選抜を含む)		

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は、入学定員18名に含む。



選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	2021年6月18日 ～25日	2021年7月17日	2021年7月29日 【入学手続期間】 2021年7月29日～8月4日
	一般選抜	2021年8月27日 ～9月3日	2021年9月25日	2021年10月12日 【入学手続期間】 2021年10月12日～19日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2022年1月24日 ～2月2日	2022年2月19日	2022年3月4日 【入学手続期間】 2022年3月4日～10日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2021年8月11日 ～17日	2021年9月25日	2021年10月12日 【入学手続期間】 2021年10月12日～19日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2022年1月5日 ～1月11日	2022年2月5日	2022年2月22日 【入学手続期間】 2022年2月22日～3月1日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEIC/TOEFLのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	筆記試験（専門科目）、面接（口頭試問含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科 【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜		9	10	10	10	10
一般選抜		9	6	5	5	5
特別選抜	社会人	若干名	1	1	1	1
	私費外国人留学生	若干名	7	7	4	4

看護学研究科 【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜		18	4	4	3	3
特別選抜	社会人		10	9	7	7
	私費外国人留学生		0	0	0	0

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	20	17	2	1	12	8
看護学研究科	10	9	0	1	1	9
合計	30	26	2	2	13	17

2) 博士後期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科】

＜教育研究の理念＞

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

＜教育研究の目的＞

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて



- 旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
 - 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

【看護学研究科】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士後期課程の求める学生像＞

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

② 令和4年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	2022年1月24日 ～2月2日	2022年2月19日	2022年3月4日 【入学手続期間】 2022年3月4日～10日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2022年1月5日 ～11日	2022年2月5日	2022年2月22日 【入学手続期間】 2022年2月22日～3月1日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	面接（入学前の研究成果・研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	1	1	1	1

看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	5	5	4	4

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	1	1	0	0	1	0
看護学研究科	4	2	2	0	1	3
合計	5	3	2	0	2	3



3 助産学専攻科

1) 入学選抜要項

① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

<助産学専攻科の求める学生像>

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人

② 令和4年度入学選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
2021年8月4日 ～10日	2021年9月4日	2021年9月21日 【入学手続期間】 2021年9月21日～28日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

① 入学選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	32	32	12	10

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
10	4	3	3	—	10



VII 附属図書館

1 概要

1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,480㎡
 桑園キャンパス図書館 延べ床面積／519㎡

2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数

(2022年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	73,903	9,874	2,331	86,108	330	16	0
桑園 キャンパス図書館	41,226	1,972	701	43,899	394	9	6
合計	115,129	11,846	3,032	130,007	724	25	6

3) 2021年度年間受入状況

区分			和	洋	計
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,059	65	1,124
		寄贈	304	1	305
		計	1,363	66	1,429
	雑誌 (種)	購入	55	2	57
		寄贈	138	0	138
		計	193	2	195
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,002	44	1,046
		寄贈	49	1	50
		計	1051	45	1,096
	雑誌 (種)	購入	60	2	62
		寄贈	33	1	34
		計	93	3	96



2 利用状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開館時間を短縮し、利用者を学内関係者に限定した。

1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：午前9時～午後5時
休 館 日	土曜・日曜・祝日・年末年始

2) 利用資格

学内関係者

3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生 (科目等履修生を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間 ※登校禁止の期間については、返却期限を延長した。
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	—	—

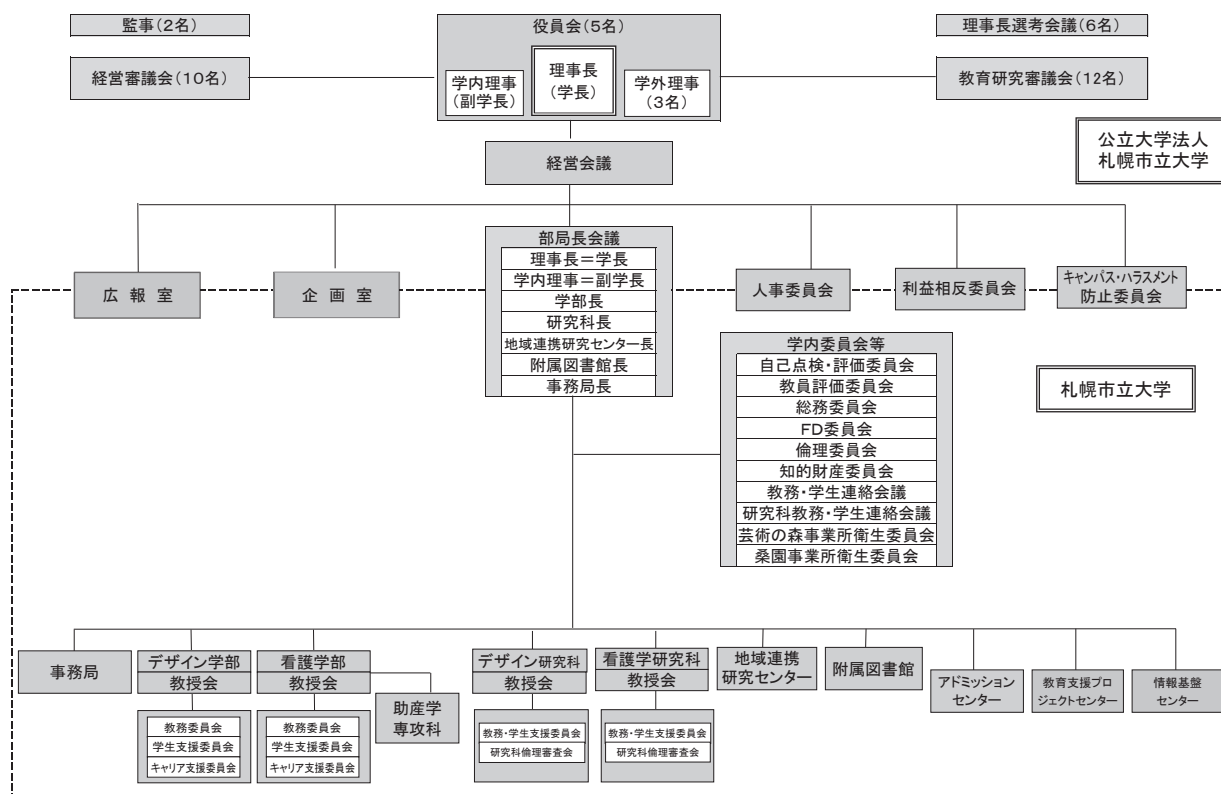
4) 年間利用者数・貸出冊数等

図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	236	1,150	1,020	2,697	22	88
	市民等 学外者	—	—	—	—	—	—
桑 園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	236	1,841	1,059	2,831	211	737
	市民等 学外者	—	—	—	—	—	—
合計		—	2,991	2,079	5,528	233	825

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）

VIII 法人・学内運営の概要

1 2021年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2020年度決算及び事業報告について (2) 2020年度計画の実績報告について	(1) 2020年度計画の実績報告について (2) 名誉教授の発議について (3) 公衆衛生看護学専攻科設置について	(1) 2020年度決算及び事業報告について (2) 2020年度計画の実績報告について (3) 公衆衛生看護学専攻科設置について
第2回	(1) 2022年度予算編成方針について (2) 規程等の改正及び廃止について	(1) 規程等の改正及び廃止について (2) 2022年度以降の共通教育科目カリキュラムの変更について (3) 教員の再任について	(1) 2022年度予算編成方針について
第3回	(1) 公立大学法人札幌市立大学理事長の任期に関する規程の改正	(1) 公立大学法人札幌市立大学理事長の任期に関する規程の改正	(1) 公立大学法人札幌市立大学の給与規程の改正
第4回	(1) 公立大学法人札幌市立大学の給与規程の改正	(1) 部局長等人事案	(1) 部局長人事について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第5回	(1) 2022年度計画及び予算 (2) 認証評価機関による認証評価の受審 (3) 前期授業料口座振替日の変更に係る規程改正 (4) 入学時における保証人契約の適正化 (5) 大学院生に対するCOVID-19感染拡大に伴う特例措置 (6) 認定看護管理者教育課程サードレベル部門設置要項の改正及び運営細則の制定 (7) AITセンター関連規則の改正・制定	(1) 2022年度計画及び予算 (2) 認定看護管理者教育課程サードレベル部門設置要項の改正及び運営細則の制定 (3) AITセンター関連規則の改正・制定 (4) 札幌市立大学学則及び公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正 (5) 全学部共通及びデザイン学部カリキュラム・ポリシーの改正について	(1) 2022年度計画及び予算

3 役員会及び審議会委員名簿（2021年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	松浦 和代	副学長
理事（常勤）	小野 聡	事務局長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	上田 順子	公益財団法人北海道看護協会会長



3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	松浦 和代	
デザイン学部長	細谷 多聞	
看護学研究科長	菊地 ひろみ	
デザイン研究科長	石井 雅博	
附属研究所長	安齋 利典	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	小野 聡	
学 外 委 員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学 外 委 員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
学 外 委 員	黒宮 裕久	札幌市立札幌清田高等学校 学校長

4 経営会議

2021年度は7回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月7日	(1) 学内会議等実施報告
第2回	5月13日	(1) 学内会議等実施報告
第3回	6月2日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 2020年度決算について (3) 2020年度計画の実績報告に係る自己点検・評価結果について (4) 公衆衛生看護学専攻科の開設について (5) 地域共創の場形成支援プログラムへの参画について
第4回	7月7日	(1) 学内会議等実施報告
第5回	7月15日	(1) 2020事業年度の実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第6回	8月4日	(1) 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月1日	(1) 学内会議等実施報告
第8回	10月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 情報システム関連規程等の改正及び廃止について (3) 大学認証評価に係る認証評価機関の選定について (4) 2022年度以降の共通教育科目カリキュラムの変更について
第9回	11月4日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 遠隔会議システムの更新について



回数	開催日	議題
第10回	12月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 芸術の森キャンパスでのドラマ撮影について (3) 看護学研究科倫理審査会規程の改正について (4) 入学時における保証人契約の適正化に関する規則等の改正について
第11回	1月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 共通教育科目の科目区分名称の変更について
第12回	2月2日	(1) 学内会議等実施報告 (2) COVID-19拡大に伴う在学年限及び又は休学期間延長に関する特例措置について (3) 遠隔会議システムの更新について (4) 自己点検・評価実施方針について (5) 全学部共通及びデザイン学部カリキュラム・ポリシーの改正について (6) AIT センターの設置に伴う関係規則等の改正・制定について
第13回	3月2日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 2022年度計画について (3) 札幌市立大学学則及び公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について (4) 認定看護管理者教育課程サードレベル部門設置要項の改正及び運営細則の制定について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関すること、その他、理事長が指定するものについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2021年度の会議の開催数は4回であった。

主な活動として、大学の魅力向上のためDNAタスクフォースを設置し、大学の魅力向上のための意見収集を行った。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2021年度の会議の開催数は12回であった。

主な活動として、2021年度版大学パンフレットの発行及び2022年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載などのメディア展開を行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2021年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2021年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った



3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2021年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2021年度に臨時教授会4回を含む16回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、まこまない班の3セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

＜公開講座＞

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした13コース32コマの講座を、延べ999名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ16名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、述べ530名が視聴した。

＜地域・産学連携＞

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア（2021年はオンライン開催）」や「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会をSCU-TV（YouTube）にて配信するなど、COVID-19の影響を受けながらも、更なるネットワークづくりを図った。

＜国際交流＞

国際化に関する基本方針及び行動計画に基づき、推進することを計画していたが、COVID-19の影響により、予定していた交流プログラムを中止または延期し、新たにオンライン国際交流プログラムを行った。また、学生に広く国際交流の機会を提供するため、新たに、国際交流事業促進支援制度（セミナー型）を設けた。

「学生の国際化」

2020年度に引き続き、台中科技大学とオンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生8名ならびに教職員5名が参加した。

提携校ではないが、フランス・ヴァレンシエンヌのInstitut Supérieur du Design (ISD) Rubikaと、オンライン情報交換・交流会を実施し、デザイン学部学生12名ならびに教職員4名が参加した。また、オーストラリアのグリフィス大学へのオンライン留学体験を実施し、医学専攻学生2名とデザイン学部学生1名ならびに看護学部学生1名との交流を行った。

新たなセミナー型プログラムでは、経済連携協定で来札したインドネシア人看護師とのオンライン交流会を実施し、看護学部学生11名ならびに教職員3名が参加した。また、スウェーデンの高齢者福祉施設オンライン視察研修を実施し、デザイン学部学生7名、看護学部学生5名、看護学研究科学生1名ならびに教職員11名が参加した。



「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

ラップランド大学とは国際ワークショップを実践するために、共同研究の一環として遠隔システムを活用しつつ、意見交換を行い、COVID-19の影響により直接の訪問は延期となったが、今後の研究発展に向けた取組を継続している。

「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学生交流協定に基づき、特別聴講生1名を受け入れた。

「海外とのネットワーク化」

フランス・Institut Supérieur du Design (ISD) Rubika、オーストラリアの大学等との新たな交流を検討した。

<知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。特許出願1件、意匠登録1件を行ったほか、イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「看護系大学連携による知的財産創出ネットワーク」に幹事校として参画し、ネットワーク会議（1回）、知的財産研修会（1回）を開催した。

<研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究6件、共同研究7件、寄附金3件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 附属図書館

2021年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第15巻」を2021年10月に発行した。また、第16巻発行に向けて、投稿論文の査読を開始した。

11 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2021年度に10回の会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対応の検討、前年度の入試結果の分析、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校訪問等を企画・実施した。

12 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。



13 情報基盤センター

情報基盤センターの2021年度の活動は、情報セキュリティポリシーの啓発活動として、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。また、各種システムの見直し・更新、教職員への情報システムに関する情報提供等を行った。なお、これらの活動については、情報基盤センター運営会議（2021年度10回開催）において確認しながら実施した。

14 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2021年度は8回開催した。

2021年度の主な活動として、2020年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2021年度計画に係る半期の取組状況の進捗管理や2023年度の大学評価（認証評価）受審に向けて認証評価機関の選定に係る情報を取得した上で比較検討を行い、（社）大学教育質保証・評価センターを認証評価受審機関として選定した。

2) 教員評価委員会

2021年度は委員会を6回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、2021年度末に任期満了を迎える教員の再任審査及び2021年度に実施した学内昇任選考の書類審査時に資料として活用した。

3) 総務委員会

2021年度は委員会を9回開催した。校舎保全工事の計画、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた防災訓練の報告、2021年度卒業式・修了式、2022年度入学式等の検討を行い実施した。

また、昨年を引き続き、夏季及び冬季の節電対策についても実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、2021年度に9回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。

5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2021年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は58件であったが5件の申請取下げならびに差戻しがあり、最終的に承認したのは53件であり、1回当たり平均4.4件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働



省)に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した(2021年度は、特別審査部門の開催は0回)。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

1件の利益相反自己申告書に基づき審議し、非該当とした。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2021年度に12回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。特に、新型コロナウイルス感染症への対応に関しては両キャンパスの情報共有の場になったとともに、授業実施方針や課外活動に関する方針などの原案を作成し各教授会に諮った。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2021年度に5回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 安齋 利典 川村 三希子 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ ◎小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	細谷 多聞 小田 和美 石田 勝也 須之内 元洋 福田 大年 伊東 健太郎 高橋 奈美 鬼塚 美玲 ◎小野 聡	デザイン学部長 看護学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎安 齋 利 典 山 田 良 貝 谷 敏 子 金 秀 敬 武 田 亘 明 張 浦 華 並 木 翔 太 郎 横 溝 賢 森 朋 子 檜 山 明 子 藤 井 瑞 恵 本 田 光 武 富 貴 久 子 原 井 美 佳 近 藤 圭 子 加 藤 秀 樹	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	図書館	◎川 村 三 希 子 松 井 美 穂 金 子 晋 也 神 島 滋 子 藤 井 瑞 恵 片 山 め ぐ み 松 永 康 佑 矢 野 祐 美 子 加 藤 秀 樹	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎松 浦 和 代 佐 藤 ひ と み 樋 之 津 淳 子 成 澤 元 宏	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	◎松 浦 和 代 細 谷 多 聞 藤 木 淳 小 宮 加 容 子 山 田 信 博 菅 原 美 樹 本 田 光 守 村 洋 大 淵 一 博 須 之 内 元 洋 福 田 大 年 山 本 真 由 美 福 原 啓 祐 布 廣 成 規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
		情報基盤センター	佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 ◎大 渕 一 博 矢久保 空 遥 木田 敏 郎	看護学部教授 看護学部教授 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	松浦 和代 細谷 多聞 ◎石井 雅博 菊地 ひろみ 川村 三希子 椎野 亜紀夫 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 附属図書館長 デザイン学部教授 事務局長
		教員評価委員会	◎松浦 和代 細谷 多聞 石井 雅博 菊地 ひろみ 樋之津 淳子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	齊藤 雅也 西川 忠 卯野 木 健 定廣 和香子 大 渕 一 博 工藤 京子 ◎小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 情報基盤センター長 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	◎若林 尚樹 佐藤 ひとみ 武田 亘明 張 浦華 檜山 明子 石引 かずみ 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 荒木 奈緒 三谷 篤史 山田 良 小林 重人 市戸 優人 加藤 秀樹	附属図書館長 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部助教 事務局地域連携課長
		看護学部卒業研究部会	神島 滋子 矢野 祐美子 黒田 紀子	看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間	教務・学生連絡会議	松浦 和代 ◎細谷 多聞 柿山 浩一郎 齊藤 雅也 松井 美穂 小田 和美 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間	研究科教務・学生連絡会議	◎石井 雅博 菊地 ひろみ 椎野 亜紀夫 樋之津 淳子 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会		芸術の森事業所衛生委員会	森 朋子 ◎成澤 元宏 安藤 貴之 廣瀬 瑞絵	デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 保健室保健管理員
		桑園事業所衛生委員会	大友 舞 田仲 里江 ◎成澤 元宏 佐々木 亜矢子	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎柿山 浩一郎 藤木 淳 小林 重人 並木 翔太郎 丸山 洋平 森 朋子 山田 信博 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎齊藤 雅也 三谷 篤史 松井 美穂 金子 晋也 小宮 加容子 横溝 賢 松永 康佑	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部	キャリア支援委員会	◎若林 尚樹 西川 忠 大島 卓 金 秀敬 石田 勝也 片山 めぐみ 福田 大年	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	看護学部	教務委員会	◎喜多 歳子 卯野 木 健 村松 真澄 伊東 健太郎 工藤 京子 黒田 紀子 高橋 奈美 武富 貴久子 山本 真由美 鬼塚 美玲 齋 若奈 田仲 里江 牧田 靖子 坂本 結城	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
		学生支援委員会	◎小田 和美 貝谷 敏子 守村 洋 原井 美佳 矢野 祐美子 大友 舞 渋谷 友紀 中田 亜由美 平山 憲吾	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
		キャリア支援委員会	◎荒木 奈緒 神島 滋子 菅原 美樹 檜山 明子 石引 かずみ 近藤 圭子 栗原 知己 吉田 実和 高橋 葉子	助産学専攻科長 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎椎野 亜紀夫 三谷 篤史 大島 卓 金 秀敬 小林 重人 横溝 賢	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科	研究科倫理審査会	◎三 谷 篤 史 小 宮 加 容 子 丸 山 洋 平 成 澤 元 宏	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
		教務・学生支援委員会	◎樋 之 津 淳 子 定 廣 和 香 子 神 島 滋 子 黒 田 紀 子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師
研究科委員会	看護学研究科	研究科倫理審査会	荒 木 奈 緒 ◎卯 野 木 健 村 松 真 澄 成 澤 元 宏	助産学専攻科長 看護学部教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等

16 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	参加者数
7月21日	本学の情報セキュリティポリシーについて	109
8月31日	2021年度札幌市立大学研究交流会	89
2月17日	コロナ禍における学生および教職員のメンタルヘルス	65

（単位：名）

デザイン学部・研究科FD	研修会名	参加者数
6月16日	オンラインでの定期試験実施について	38
9月15日	授業目的公衆送信補償金制度について～ SARTRAS対応のキソ・キモ ～	36
12月15日	SCUオンライン教育の可能性を探る	38
3月11日	研究指導のための、研究・開発におけるテーマ設定と成果公表の考え方・進め方	15
3月16日	学習成果の公正な測定	32

（単位：名）

看護学部・研究科FD	研修会名	参加者数
12月15日	メンタルヘルス不調の学生への対応	35
1月8日	人生一度、看護管理を「真に」楽しむための講義 「理論と実践の融合が人生を楽しめるコツ！」	15
3月16日	学習成果の公正な測定	36



SD活動 年間活動概要

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	2
通年	本学の情報セキュリティポリシーについて	札幌市立大学	66
2021年4月12日	採用者レク	札幌市立大学	3
4月13日	採用者レク	札幌市立大学	3
4月14日	採用者レク	札幌市立大学	3
6月24日	第1回「公立大学の経営課題に関する研修会」	学外	8
7月5日	人を動かすコミュニケーション研修～キーパーソンへ働きかける編～	学外	1
7月12日	アサーティブコミュニケーション研修	学外	1
7月26日	分かりやすい説明の仕方研修	学外	1
7月30日	第2回「公立大学の経営課題に関する研修会」	学外	4
8月3日	タイムマネジメント研修～仕事を効率的に進めるための時間管理を学ぶ	学外	1
8月5日	達成力強化研修～仕事を最後までやり抜く力を身に付ける	学外	1
8月16日	メンタルヘルス研修～ラインケア	学外	1
8月20日	男性のための部下育成研修～女性リーダーの活躍を支援する	学外	1
8月25日	リーダーシップ研修～意識改革し、部下、後輩を牽引するリーダーとなる	学外	1
8月30日	論理的で分かりやすい文書の書き方研修	学外	1
9月8日	事務職のための業務改善研修	学外	1
9月8日	入札談合防止に関する調達担当者研修会	学外	3
9月9日	論理的で分かりやすい文書の書き方研修	学外	1
9月9日	説明力UPセミナー～話す力と情報整理力を高める～	学外	3
9月10日	「教務事務セミナー」	学外	2
9月13日	自立型社員研修～自立型社員に成長する「部下力強化&モチベーションアップ」セミナー	学外	1
9月16日	入札談合防止に関する調達担当者研修会	学外	1
9月27日	公立大学法人会計セミナー「入門」	学外	5
9月28日	入札談合防止に関する調達担当者研修会	学外	3
10月5日	公立大学法人会計セミナー「初級」	学外	3
10月7日	公立大学法人会計セミナー「中級」	学外	4
10月15日	入札談合防止に関する調達担当者研修会	学外	1
11月17日	研究倫理e-ラーニング	学外	1
11月11日	一日でわかる最新版の年末調整	学外	1
11月30日	公立大学の経営課題に関する研修会	学外	2
12月17日	公立大学の経営課題に関する研修会	学外	3
2022年2月17日	「コロナ禍における学生および教職員のメンタルヘルス」	札幌市立大学	17



IX 資料

1 2021年度計画

I 教育に関する目標を達成するための措置

1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

【項目番号1】

- ・ 両学部¹の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。

- ・ 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

〔指標〕 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

【項目番号2】

- ・ 共通教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養う。特に英語については新入生に対するTOEIC¹試験を実施する。

- ・ 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

〔指標〕 TOEIC受験率（1年次）：100%

〔指標〕 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

【項目番号3】

- ・ 「デザイン学部」カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

〔指標〕 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

【項目番号4】 【重点取組項目】

- ・ 「デザイン学部」3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

〔指標〕 専門科目における企業等連携課題の実施：2件

【項目番号5】 【重点取組項目】

- ・ 「看護学部・助産学専攻科」OSCE²やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

〔指標〕 「看護学部」卒業時の看護実践能力の達成度：3.75（5段階自己評価）

〔指標〕 「助産学専攻科」修了時の助産実践能力の到達度：3.25（5段階自己評価）

【項目番号6】

- ・ 「看護学部」道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員³が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

〔指標〕 専門科目における臨地教員の活用：29科目

【項目番号7】

- ・ 「大学院博士前期課程」実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

〔指標〕 「デザイン研究科」修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では（財）国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等



〔指標〕 〔看護学研究科〕修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（5段階自己評価）

項目番号8

- 〔大学院博士後期課程〕1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立的かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

〔指標〕 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

項目番号9

- 〔デザイン学部〕キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援室において進路希望に対応したサポートを行う。
- 〔看護学部〕キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

〔指標〕 〔デザイン学部〕就職内定率（直近3年間平均）：93%

〔指標〕 〔デザイン学部〕キャリアガイダンスの開催：10回

〔指標〕 〔看護学部〕就職内定率（直近3年間平均）：97%

〔指標〕 〔看護学部〕キャリア支援対策講座の開催：8回

項目番号10

- 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。
- 2020年4月から運用が開始された修学支援新制度に係る授業料の減額免除を実施する。

〔指標〕 授業料減額免除基準に該当する学生のうち、経済的理由による退学者：なし

項目番号11

- 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、財政状況を勘案しながらキャンパス施設のバリアフリー⁴化に係る整備を行う。
- あらゆる差別の解消に向け、障害者や性的指向・性自認等について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

〔指標〕 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー工事の計画的な執行

〔指標〕 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

項目番号12

- 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- 本学のメンター⁵制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

〔指標〕 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

〔指標〕 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

項目番号13

- 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の両学期において日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

〔指標〕 日本語能力の向上に役立たと認識した留学生の割合：80%

4 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

5 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話をし、気軽に相談できるようにしている。



Ⅱ 研究に関する目標を達成するための措置

1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

【項目番号14】 【重点取組項目】

- ・ 学内の競争的資金⁶である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。

〔指標〕 デザインと看護の両分野の連携による研究：6件

【項目番号15】

- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。

〔指標〕 地域特性や地域課題等に関する研究：15件

【項目番号16】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。

〔指標〕 企業や外部機関との連携による課題研究：1件

2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置

【項目番号17】

- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。
- ・ 科学研究費助成事業⁷への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。

〔指標〕 教員向け情報提供：3回

〔指標〕 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員⁸の83%

【項目番号18】

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。

〔指標〕 国際学会・国際展示会における研究成果の発表：11件

Ⅲ 地域貢献に関する目標を達成するための措置

1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

【項目番号19】 【重点取組項目】

- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼⁹の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援¹⁰等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。

〔指標〕 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件

【項目番号20】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンス・キャリア教育科目「キャリアデザイン」における講座や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者や卒業生を招き、企業を知る機会を設ける。また求人の紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。
- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。

6 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

7 科学研究費助成事業

文部科学省及び(独)日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を格段に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

8 対象教員

退職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である2023年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

9 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

10 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。
- [指標] [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まったと認識した学生の割合：60%
- [指標] [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

項目番号21

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。
- [指標] 職業人向け公開講座の開催：8件

項目番号22

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム¹¹の会議を定期的に開催し、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。
- [指標] 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

項目番号23

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。
- [指標] 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件
- [指標] 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人
- [指標] 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

項目番号24

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

項目番号25

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

項目番号26

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。
- [指標] 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

項目番号27

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、交流の機会を設け、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。
- [指標] 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回
- [指標] 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

¹¹ 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体



項目番号28

- 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学、国立台中科技大学、パシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート）との交流活動を実施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

項目番号29

- 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：325,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

項目番号30

- デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- 機関リポジトリ¹²を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

項目番号31

- 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス¹³の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学学生アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

項目番号32 【重点取組項目】

- 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。
- 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス¹⁴の向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

項目番号33

- 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

12 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

13 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

14 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。



項目番号34

- ・ 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などの検証及び評価結果の活用など、制度及び運用の見直し・改善を行う。

〔指標〕 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

項目番号35

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD¹⁵研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

〔指標〕 教育改善に資するFD研修の実施：7回

〔指標〕 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

項目番号36

- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

〔指標〕 職員を対象としたSD¹⁶研修への派遣：15回

〔指標〕 職員を対象としたSD研修の受講：延べ100人

〔指標〕 SD研修報告会の実施：1回

3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

項目番号37

- ・ 2020年度の業務実績や2021年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル¹⁷による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価¹⁸機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。
- ・ 2023年度の認証評価受審に向け、認証評価機関の情報収集を行い選定する。

〔指標〕 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

〔指標〕 認証評価に係る説明会への参加：2回以上

項目番号38

- ・ 2022年度計画の策定に当たり、前年度の実績見込みを参考に可能な限り各項目に適切な成果指標を設定する。

〔指標〕 年度計画のうち「教育」「研究」「地域貢献」に関する目標の全項目に成果指標を設定

4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

項目番号39

- ・ 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

〔指標〕 受託研究・共同研究の受入：15件

項目番号40

- ・ 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。
- ・ 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

〔指標〕 一般管理費の節減額：170万円

5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

項目番号41

- ・ 保全計画に基づき、芸術の森キャンパス図書館・E棟ほか空調・衛生設備更新工事、芸術の森キャンパスG・H棟ほか受変電・電気設備更新工事实施設計を適正に実施する。

15 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

16 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

17 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

18 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



- ・ キャンパス施設のバリアフリー化に係る整備状況を踏まえ、「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、財政状況を勘案しながら施設や設備の整備・改修を行う。
- ・ 大学内の要修繕箇所のリストを更新し、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、順次可能なものから速やかに修繕等を実施する。

〔指標〕 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

項目番号42

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて学生や教職員等の防災意識を高め、学生や教職員等の安全を確保する体制の強化を図る。
- ・ 全学的な危機管理体制の検証・見直しを行う。避難経路を確保するために必要な校舎周辺の整備や、対策本部体制等の見直し等、可能なものから検討を進める。

〔指標〕 リスク管理に関する研修の実施：1回

〔指標〕 防災訓練の実施：2回

項目番号43

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。

〔指標〕 電気使用量：1,650千kWh以下

〔指標〕 ガス使用量：426千m³以下

〔指標〕 水道使用量：9千m³以下

項目番号44

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

項目番号45

- ・ コンプライアンス¹⁹に係る研修を行う。
- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の実施：1回

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

項目番号46

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。
- ・ 利益相反²⁰に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

〔指標〕 研究倫理教育の受講：対象者²¹全員

項目番号47

- ・ 入学者選抜試験（2022年度入試）を円滑に実施する。

〔指標〕 新テストに対応した入学者選抜試験の円滑な実施

19 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

20 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

21 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

別紙参照

VI 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

2億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし。

VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する剰余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

IX 施設及び設備に関する計画

1 施設整備

- ・ 芸術の森キャンパス図書館・E棟ほか空調・衛生設備更新工事

予算額：136,859千円

- ・ 芸術の森キャンパスG・H棟ほか受変電・電気設備更新工事实施設計

予算額：6,091千円

2 キャンパスの活用等に関するプラン

- ・ 芸術の森キャンパスH棟エレベータ改修工事

予算額：18,000千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

X 人事に関する計画

1 教職員の採用

- ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。（再掲）
- ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。

2 教職員の育成

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。（再掲）
- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。（再掲）
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。（再掲）

3 ワーク・ライフ・バランスの向上

- ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。（再掲）
- ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。（再掲）
- ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。（再掲）



別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,575
施設整備費補助金	143
授業料等収入	437
受託研究等収入及び寄附金収入	65
その他収入	24
目的積立金取崩	98
計	2,342
支出	
教育研究経費	474
受託研究等経費及び寄附金事業費等	65
人件費	1,334
一般管理費	326
施設整備費	143
計	2,342



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,275
教育研究経費	464
受託研究等費	61
人件費	1,334
一般管理費	298
財務費用	2
減価償却費	116
収益の部	
経常収益	2,177
運営費交付金収益	1,555
授業料等収益	491
受託研究等収益	61
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	35
資産見返寄附金戻入	2
資産見返物品受贈額戻入	5
雑益	24
その他収益	24
純利益（純損失）	△98
目的積立金取崩益	98
総利益（総損失）	0

3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,366
業務活動による支出	2,102
投資活動による支出	163
財務活動による支出	77
翌年度への繰越金	24
資金収入	2,366
業務活動による収入	2,101
運営費交付金による収入	1,575
授業料及び入学金検定料による収入	437
受託研究等による収入	61
寄付金による収入	4
その他収入	24
投資活動による収入	143
施設費による収入	143
前年度よりの繰越金	122



2 2021年度 決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,575	1,575	－	
施設整備費補助金	143	141	△ 2	
授業料等収入	437	426	△ 11	(注1)
受託研究等収入及び寄附金収入	65	59	△ 6	
補助金収入	－	10	10	(注2)
その他収入	24	16	△ 8	
目的積立金取崩	98	98	－	
計	2,342	2,325	△ 17	
支出				
教育研究経費	474	387	△ 87	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	65	61	△ 4	
人件費	1,334	1,171	△ 163	(注3)
一般管理費	326	320	△ 6	
施設整備費	143	141	△ 2	
計	2,342	2,080	△ 262	
収入－支出	－	245	245	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 授業料減額免除対象者が多かったこと、出願者数が少なかったことから減少しました。

(注2) 文部科学省の大学改革推進等補助金等により増加しました。

(注3) 教員の欠員等により、減少しました。



3 教職員数（2022年3月31日現在）

1) 学部別教員数（単位：名）

学 長	1
副 学 長	1
デザイン学部	31
看護学部	41
合計	74

2) 職位別教員数（単位：名）

		教授	准教授	講師	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	12	8	5	1	0	26	21
	女	1	4	1	0	0	6	14
看護学部	男	1	2	1	3	0	7	46
	女	10	6	8	10	1	35	34
合計		24	20	15	14	1	74	115

3) 職員数（単位：名）

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	27	2	0	0	0	29
女	43	2	0	0	0	45
合計	70	4	0	0	0	74

4 管理職一覧表（2022年3月31日現在）

役職名	教職員名
学長	中島 秀之
副学長 兼 看護学部長	松浦 和代
デザイン学部長	細谷 多聞
看護学研究科長	菊地 ひろみ
デザイン研究科長	石井 雅博
地域連携研究センター長	安齋 利典
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	小野 聡
事務局次長 兼 桑園事務室長	成澤 元宏
事務局総務課長	木田 敏郎
事務局地域連携課長	加藤 秀樹
事務局学生課長	福原 啓祐
事務局桑園担当課長	布廣 成規



5 学生定員及び学生数（2021年5月1日現在）

1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	90	若干名	360
看護学部	85	－	340
合計	175	－	700

2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	29	67	96
	2学年	23	72	95
	3学年	22	65	87
	4学年	21	79	100
看護学部	1学年	7	81	88
	2学年	6	81	87
	3学年	7	77	84
	4学年	3	76	79
助産学専攻科		0	11	11
合計		118	609	727

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	9	15	24
	2学年	11	12	23
看護学研究科 博士前期課程	1学年	0	4	4
	2学年	8	12	20
合計		28	43	71

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	2	1	3
	2学年	1	1	2
	3学年	4	1	5
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	5	5
	2学年	1	4	5
	3学年	2	4	6
合計		10	16	26



3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	1	0	1
看護学部	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	6	6
看護学研究科	2	0	0	2
合計	2	0	6	8

6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2022年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			その他	計
	給付型	第1種	第2種		
学部1年生	21	48	45	2	116
学部2年生	28	49	36	3	116
学部3年生	25	40	40	1	106
学部4年生	24	49	31	3	107
助産学専攻科	－	1	5	－	6
研究科（博士前期）1年生	－	10	2	1	13
研究科（博士前期）2年生	－	7	1	0	8
研究科（博士後期）1年生	－	－	－	－	－
研究科（博士後期）2年生	－	－	－	－	－
研究科（博士後期）3年生	－	－	－	－	－
合計	98	204	160	10	472



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	2/3減免者	半額減免者	1/3免除者	計
学部1年生	前期	13	1	0	12	26
	後期	8	7	1	11	27
学部2年生	前期	16	4	0	15	35
	後期	15	8	0	12	35
学部3年生	前期	17	6	4	4	31
	後期	13	9	3	2	27
学部4年生	前期	14	6	11	4	35
	後期	13	7	13	1	34
助産学専攻科	前期	－	－	1	1	2
	後期	－	－	1	1	2
研究科（博士前期） 1年生	前期	－	－	2	2	4
	後期	－	－	2	3	5
研究科（博士前期） 2年生	前期	－	－	3	2	5
	後期	－	－	1	4	5
合計	前期	60	17	21	40	138
	後期	49	31	21	34	135



8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

入選・受賞 年月	氏名	タイトル及び入賞・受賞の別	主催者
2021年4月	【佳作】伊藤 冠介（デザイン学部4年）	「第14回 長谷工 住まいのデザインコンペティション」テーマ「集まって生きるかたち」において佳作を受賞	(株)長谷工コーポレーション
2021年4月	【個人賞】梶 明日花（デザイン学部4年）	全国学生オンライン演劇祭において、個人賞を受賞	劇団ノーミーツ
2021年6月	【グッドプレゼンテーション賞（一般セッション）】清水 康志（デザイン研究科博士前期課程1年）	第68回日本デザイン学会春季研究発表大会において、グッドプレゼンテーション賞（一般セッション）を受賞	日本デザイン学会
2021年10月	【ポスター発表優秀賞】能戸 紫月（デザイン学部2年） 【ポスター発表奨励賞】来田 玲子（デザイン学部2年）	2021年度日本造園学会北海道支部大会において、ポスター発表優秀賞、ポスター発表奨励賞を受賞	日本造園学会 北海道支部
2021年10月	【優秀賞】白幡 結衣（デザイン学部3年）	第1回SANGO学生プロジェクト設計コンペ「新しい戸建て賃貸住宅の提案」において優秀賞を受賞	三五工務店
2021年10月	【優秀賞】村川 龍司（デザイン研究科博士前期課程1年）	第28回日本インテリア学会卒業作品展2021において優秀賞を受賞	日本インテリア学会
2021年10月	【最優秀賞】石崎 航琉、蒲田 暁、沼畑 亜美（デザイン学部3年） 【奨励賞】梶 明日花（デザイン学部4年）	アート&テクノロジー東北2021において、最優秀賞、奨励賞を受賞	芸術科学会 東北支部
2021年11月	【女子の部3位】岩瀬 萌々香（デザイン学部2年）	JOCジュニアオリンピックカップ第30回日本ジュニアカーリング選手権大会女子の部において3位	日本カーリング協会
2021年12月	【入選】谷口 風太（デザイン学部2年）	Asia Digital Art Award FUKUOKA 2021学生カテゴリー静止画部門において入選	2021アジアデジタルアート大賞 展実行委員会
2021年12月	【優秀賞】田中 健太郎、川去 鳳聖（デザイン学部3年） 【入選】川去 鳳聖（デザイン学部3年）	ICCキャッチコピー&ポスターデザインコンペティション2021において優秀賞、入選	インタークロス・ クリエイティブ・ センター
2021年12月	【最優秀賞】坂井 ゆき（デザイン学部3年） 【優秀賞】伊東 大悟（デザイン学部3年）	北海道建築新人戦2021において最優秀賞、優秀賞を受賞	建築学生同盟 北海道組
2022年1月	【佳作】中津 正樹（デザイン研究科博士前期課程1年） 【入選作】石崎 航琉、蒲田 暁、沼畑 亜美（デザイン学部3年）	「INTERNATIONAL STUDENTS CREATIVE AWARD 2021」デジタルコンテンツ部門において佳作、入選作受賞	ISCA2021事務局
2022年2月	【Dynabook賞】二階 鼓（デザイン学部2年）	「インテル学生クリエイティブ・コンテスト2021CG部門」においてDynabook賞を受賞	Intel Corporation
2022年2月	【北海道知事賞】高島 栞（デザイン学部4年）	2021年度第6回北のまんが大賞イラスト部門において北海道知事賞を受賞	北海道札幌市



9 学生の課外活動

	公認団体	主な入選・受賞等
1	バスケットボール部	
2	軽音楽部「halo」	
3	美術部「noumenon」	
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」	
5	服飾制作部「Alice」	
6	写真映像部「SEED」	
7	演劇部「デンコラ」	
8	茶道部「Cha部」	
9	バレーボール部	
10	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」	
11	創作活動サークル「創-KIZ-」	
12	ダンスサークル「VOLUME」	
13	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」	
14	アウトドアサークル「PEAK」	
15	アルティメットサークル「Fly☆Fly」	
16	バドミントンサークル	
17	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」	
18	地域交流ボランティア同好会「act」	
19	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」	
20	日本語デザイン研究会「しろ」	
21	合唱同好会「Forte」	
22	球技同好会「Mt.」	
23	手芸同好会「もふもふ」	
24	団地同好会「団地さーくる」	
25	当事者研究同好会「のっきんおん～レッツ当事者研究！」	
26	ボードゲーム同好会「H.O.M.E」	
27	陶芸同好会「ころんと」	
28	映画同好会「土曜の夜倶楽部」	
29	D×N同好会「Co-Large」	
30	ヨガ同好会「癒しの会」	



10 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生の推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

2021年度

役員	(会 長) 石井 敏三 (副会長) 川嶋 嘉史 (理 事) 三浦 邦彦、木下 健二、若本 彩子、男澤 誠一、 上原 佳子、小池 和夫、嶋田 直美、三浦 祐大 (監 事) 高野 祐子、平井 賢二
主な事業	・ 課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・ 就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策等） ・ 後援会報「SSA News」発行、後援会WEBページ情報発信 ・ 卒業記念事業、緊急支援事業（コロナ対策）
後援会費	40,000円（ただし、編入学者は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2021年3月	2021年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
2021年4月	2021年度学生生活ハンドブック
2021年4月	札幌市立大学後援会 会報2020 (SSA NEWS)
2021年4月	令和4年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
2021年5月	2022大学案内
2021年5月	令和4年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
2021年5月	令和4年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
2021年5月	令和4年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
2021年6月	令和4年度入学選抜要項（デザイン学部・看護学部）
2021年6月	令和4年度学生募集要項（デザイン学部 総合型選抜）
2021年6月	令和4年度学生募集要項（看護学部 社会人特別選抜）
2021年6月	令和4年度学生募集要項（助産学専攻科）
2021年6月	令和4年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
2021年6月	令和4年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
2021年7月	令和4年度学生募集要項（デザイン学部 特別選抜）
2021年9月	SCUZINE vol.1
2021年9月	札幌市立大学 研究・活動事例集 2021
2021年9月	札幌市立大学 教員研究紹介 2021
2021年9月	令和4年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 学校推薦型選抜）
2021年10月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2021 札幌市立大学研究論文集第15巻第1号
2021年11月	令和4年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
2021年11月	令和4年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
2021年11月	令和4年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
2022年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第15号
2022年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2022 図録）

12 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(2021年4月1日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	82	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス

(施設配置図・校舎配置図)

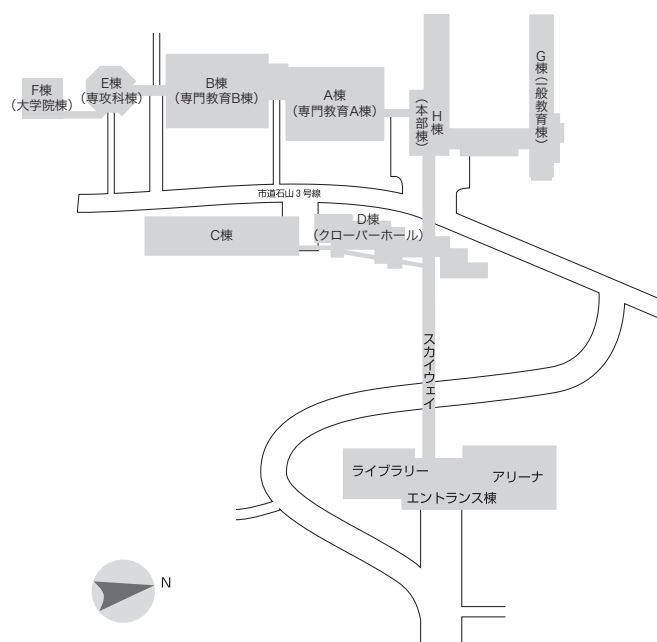
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



●桑園キャンパス

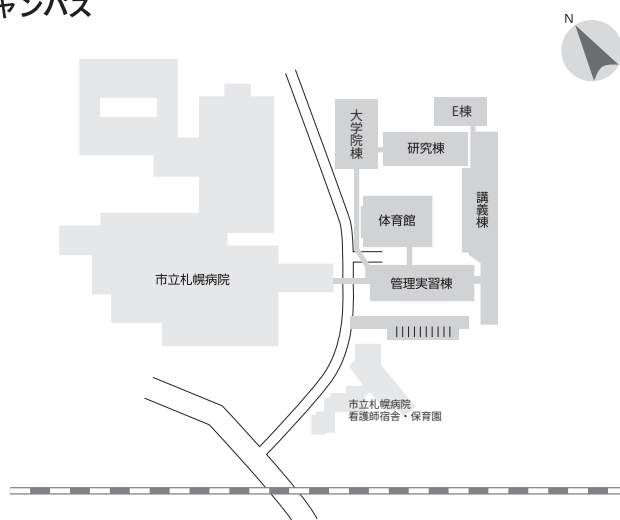
桑園キャンパス

〒060-0011

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





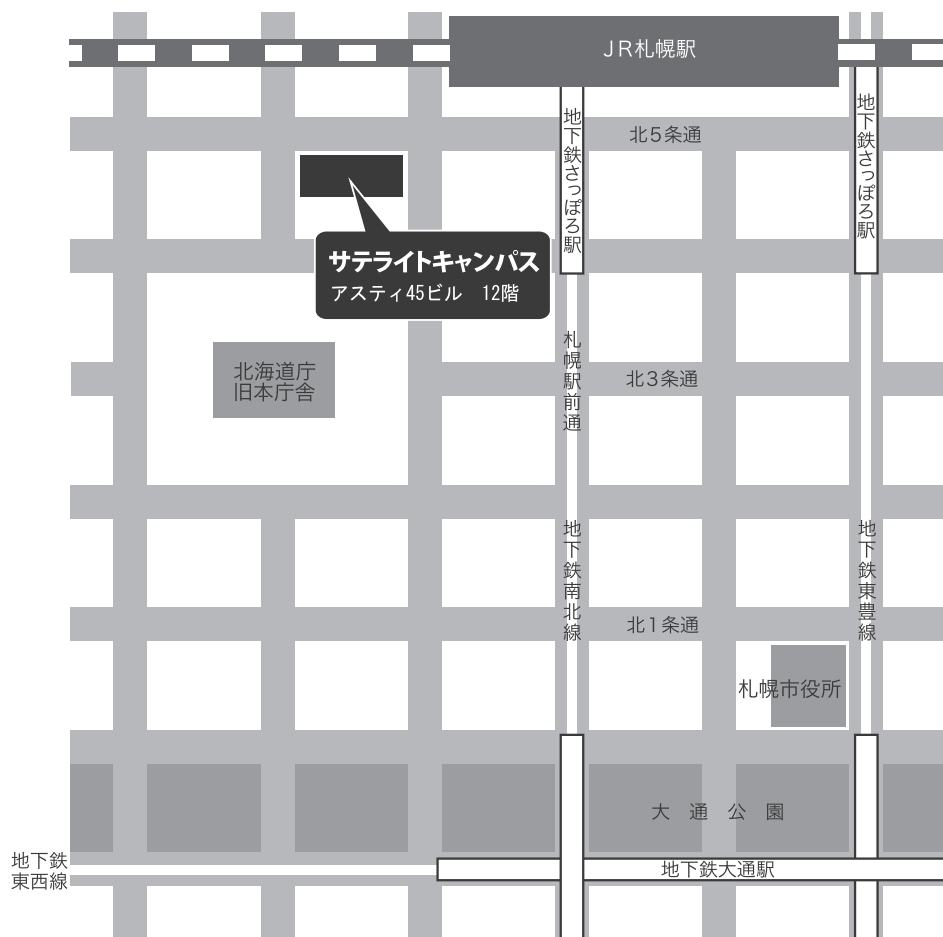
サテライトキャンパス

〒060-0004

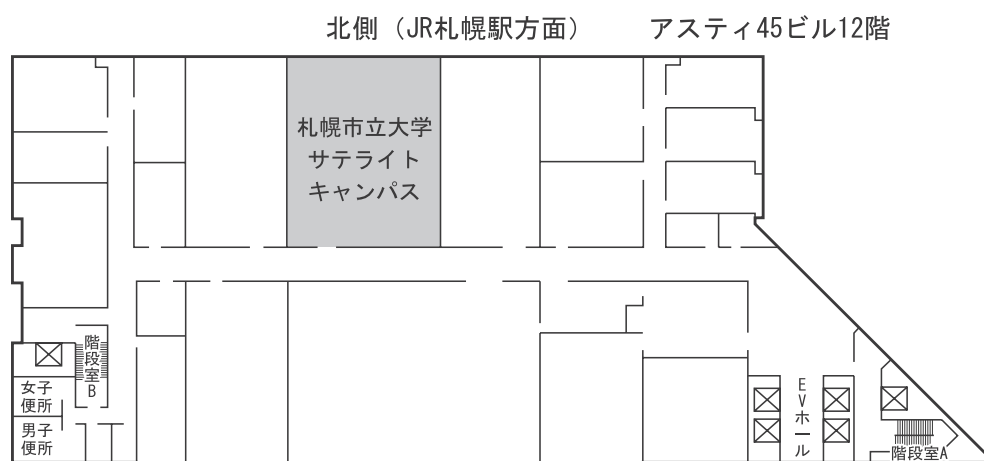
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





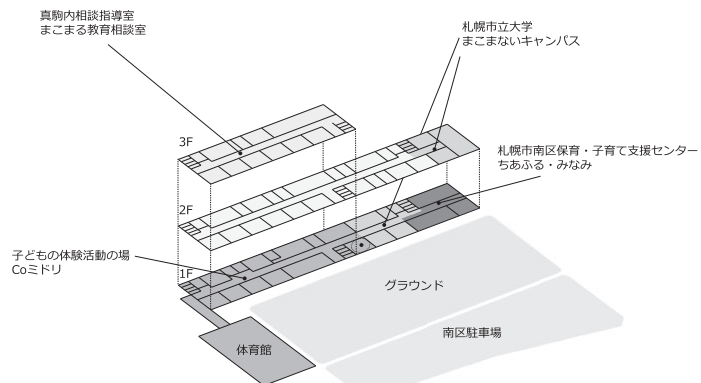
まこまないキャンパス

7005-0014

北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

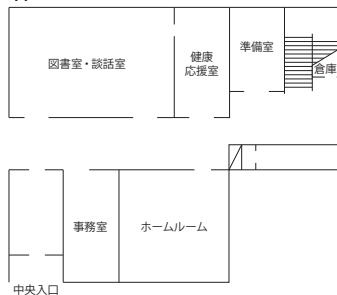
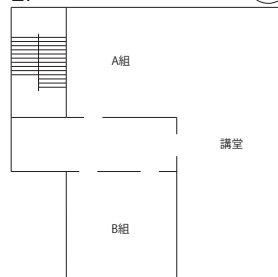
TEL : 011-596-6675

FAX : 011-596-6676



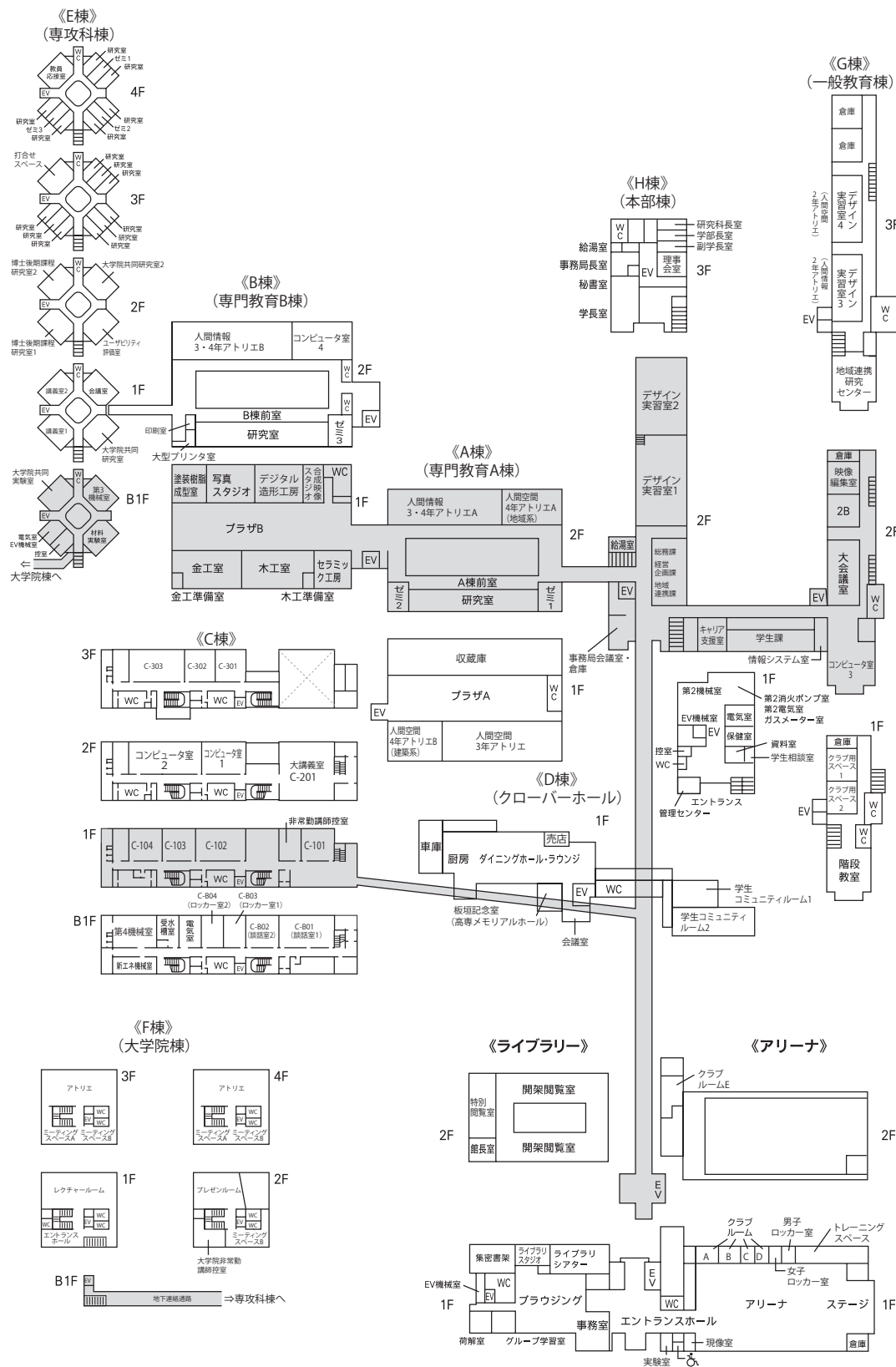
〈まこまないキャンパス施設平面図〉

1F

 $2F$ 



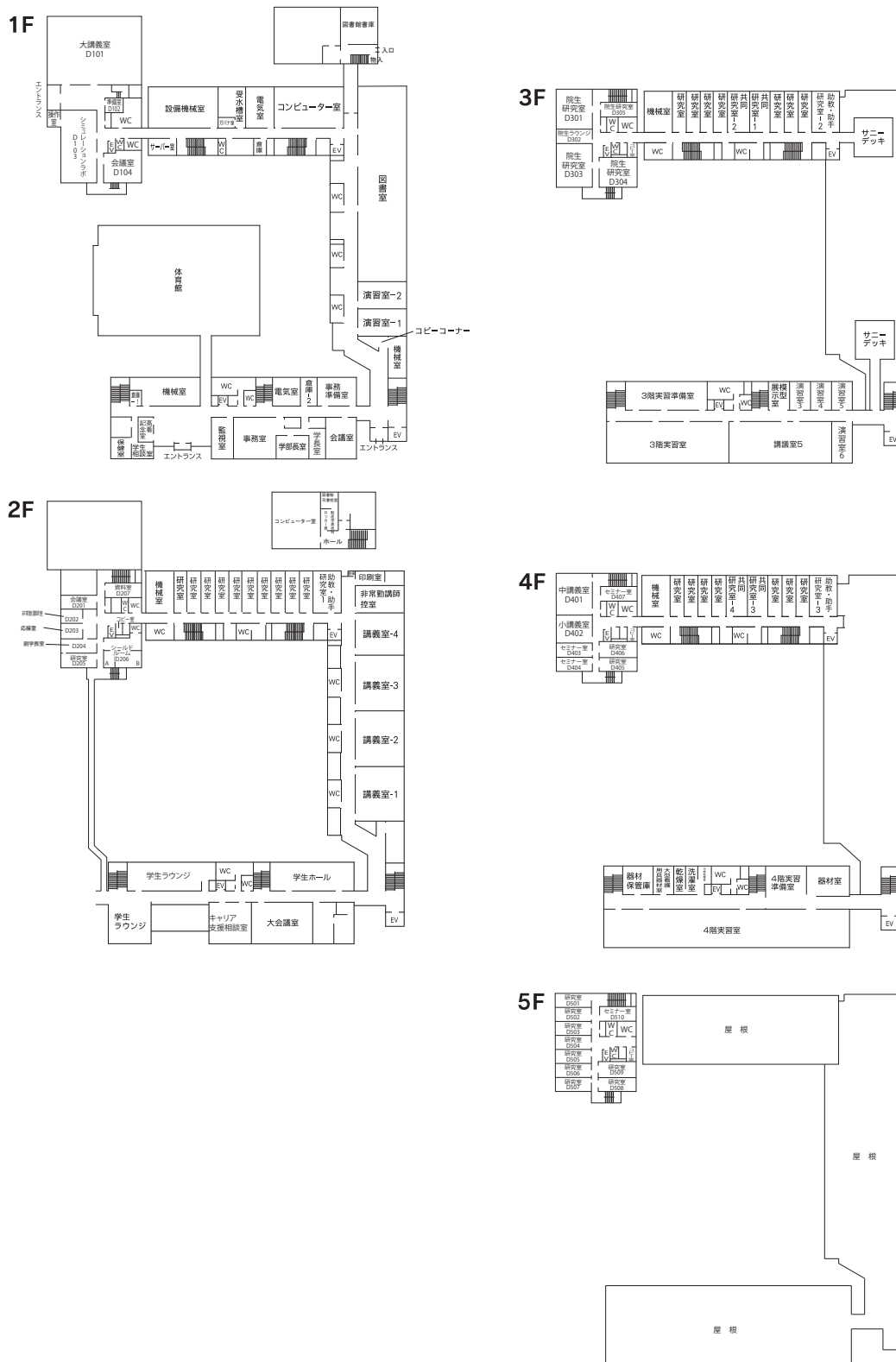
芸術の森キャンパス(校舎配置図)



排水槽



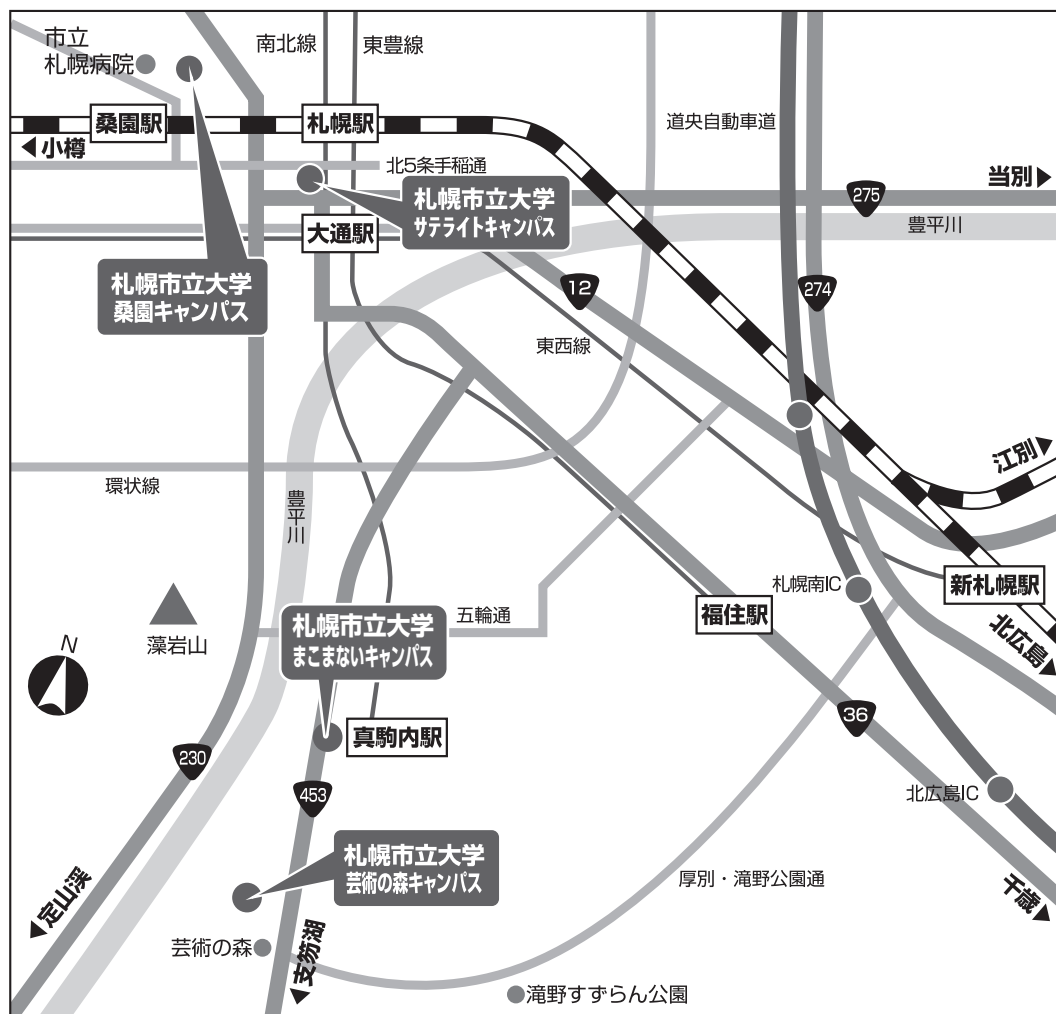
桑園キャンパス〈校舎配置図〉



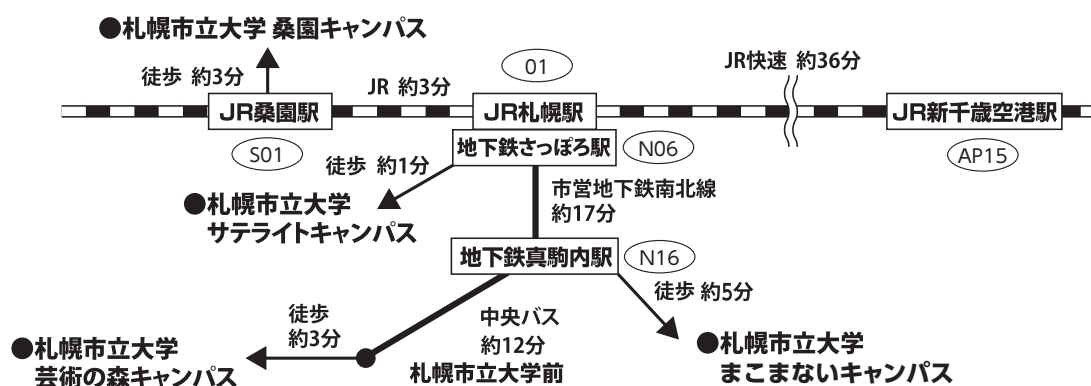


13 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞:後藤優太・首藤翠(デザイン学部 第4期生)
作曲:堀 彩菜(デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

ともに笑いとともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞:後藤 翠・後藤 優太
作曲:堀 彩菜

Musical score for 'Mirai no Te' (Part 1). The score is in 4/4 time and G major. It features a piano introduction and a vocal melody. The lyrics are: 力強く風が吹き抜ける / 新たな希望をたずさえて / さあ飛び出そう / 翼広げて / 光の指す方へと. The score includes a section labeled 'A' with lyrics: 僕らには創りあげる手がある / 僕らには支えあえる手がある / あの地平の彼方にはきっと / 君の染める世界がある.

Continuation of the musical score for 'Mirai no Te' (Part 2). The lyrics are: とともに笑いとともに競った仲間たち / これからは別々の道を往く / 強い風に吹かれ / 立ち止まりかけても / 恐れず歩き続けて. The score includes a section labeled 'A' with lyrics: 僕らには導く能力(ちから)がある / 僕らには差し伸べる精神(こころ)がある / その壁の向こうにはきっと / 君を待つ世界がある.

Continuation of the musical score for 'Mirai no Te' (Part 3). The lyrics are: 僕らには創りあげる手がある / 僕らには支えあえる手がある / あの地平の彼方にはきっと / 君の染める世界がある. The score includes a section labeled 'A' with lyrics: 僕らには導く能力(ちから)がある / 僕らには差し伸べる精神(こころ)がある / その壁の向こうにはきっと / 君を待つ世界がある.

Continuation of the musical score for 'Mirai no Te' (Part 4). The lyrics are: 僕らには創りあげる手がある / 僕らには支えあえる手がある / あの地平の彼方にはきっと / 君の染める世界がある. The score includes a section labeled 'A' with lyrics: 僕らには導く能力(ちから)がある / 僕らには差し伸べる精神(こころ)がある / その壁の向こうにはきっと / 君を待つ世界がある.



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・小児	松浦 和代
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間情報	石井 雅博	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	安齋 利典	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間情報	柿山 浩一郎	教授・成人	卯野木 健
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	小田 和美
教授・人間空間	椎野 亜紀夫	教授・老年	貝谷 敏子
教授・人間空間	西川 忠	教授・地域	喜多 歳子
教授・人間情報	藤木 淳	教授・基礎	定廣 和香子
教授・共通教育	松井 美穂	教授・管理	佐藤 ひとみ
教授・人間情報	三谷 篤史	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間空間	山田 良	准教授・成人	神島 滋子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間空間	大島 卓	准教授・基礎	檜山 明子
准教授・人間空間	金子 晋也	准教授・成人	藤井 瑞恵
准教授・人間情報	金 秀敬	准教授・地域	本田 光
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間空間	小宮 加容子	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間空間	武田 亘明	特任准教授・基礎	大野 夏代
准教授・人間情報	張 浦華	講師・母性	石引 かずみ
准教授・共通教育	並木 翔太郎	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・共通教育	丸山 洋平	講師・成人	工藤 京子
准教授・人間空間	森 朋子	講師・母性	黒田 紀子
准教授・人間空間	山田 信博	講師・在宅	高橋 奈美
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・老年	原井 美佳
講師・人間情報	大渕 一博	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間空間	片山 めぐみ	講師・母性	山本 真由美
講師・人間空間	須之内 元洋	助教・地域	市戸 優人
講師・人間情報	福田 大年	助教・母性	大友 舞
講師・人間情報	松永 康佑	助教・管理	鬼塚 美玲
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・成人	栗原 知己
		助教・地域	近藤 圭子
		助教・成人	齋 若奈
地域連携研究センター		助教・在宅	坂本 結城
職位・担当	教員名	助教・基礎	渋谷 友紀
特任准教授・A I ラボ	高橋 尚人	助教・地域	田仲 里江
特任助教・A I ラボ	吉田 彩乃	助教・老年	中田 亜由美
		助教・成人	平山 憲吾
		助教・小児	牧田 靖子
		助教・基礎	吉田 実和
		助手・基礎	高橋 葉子

2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

＜著書＞1.計算論的思考ってなに?—コンピュータサイエンティストのように考える（共著、2022年、近代科学社）

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本認知科学会／PRICAI／サービス学会／日本ソフトウェア科学会／観光情報学会／日本工学アカデミー会員／日本工学会

＜講演会・講習会活動＞純真学園大学サイエンスカフェ講師「人工知能×健康」（2021年11月6日、純真学園大学）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞取締役会長（未来シェア）／副代表理事（社会システムデザインセンター）／未来AI研究センター顧問（公立はこだて未来大学）／理事（本田財団）／理事（産学連携推進機構）／「情報システム本部研究開発部門計算工学応用開発ユニット」客員主管研究員（理化学研究所）／未踏事業審査委員会委員（情報処理推進機構）／DX白書有識者委員会委員（情報処理推進機構）／NEDO技術委員（NEDO）／会長（北海道MaaS推進研究会）／有識者会員（日本ディープラーニング協会）／トヨタ「技術者の一日」講師（トヨタ自動車株式会社）／国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会委員（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）／「AI白書2022」編集委員長（角川アスキー総合研究所）／「MITテクノロジーレビュー Innovators Under 35 Japan」審査員（角川アスキー総合研究所）／「人工知能（AI）技術分野における大局的な研究開発のアクションプラン策定及び事業抽出のための調査」アクションプラン策定委員会委員長（角川アスキー総合研究所）／「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー（さっぽろ産業振興財団）／公立大学法人会津大学参与会参与（公立大学法人会津大学）／NoMaps実行委員会顧問（NoMaps実行委員会）／札幌国際芸術祭実行委員会副会長（札幌国際芸術祭実行委員会事務局）／「LIFE2022運営幹事学会（日本生活支援工学会）」大会長（日本生活支援工学会）／リードエンジニア発掘・育成プログラム「STAND OUT」審査委員長（札幌市経済観光局）／㈱FDSホールディングス社内勉強会講師「人工知能と社会」（2021年10月5日、㈱FDSホールディングス）／追手門学院大学心理学部心理学科講演「人工の知能と自然の知能」（2021年10月13日、追手門学院大学）／日本救急看護学会学術集会基調講演「救急看護のDXとAI化」（2021年10月22日、日本救急看護学会）／超異分野学会北海道フォーラム2021「チャレンジフィールド北海道 融合セミナー」パネラー「融合ってなんだろう？」（2021年12月4日、北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団））／「くるまからモビリティへ」技術展講演「AIが紡ぐスマートモビリティの世界」（2022年2月16日、自動車技術会）／十勝経営者大学「人間と教育論コース」講演「人工知能と人間の知能」（2022年2月22日、北海道中小企業家同友会とかち支部）

細谷 多聞

＜学術論文＞1.アール・ブリュット展における遊びの試み—誰もが楽しむことができる遊びに必要な6つの条件—（共著、2022年3月31日、日本デザイン学会、デザイン学研究作品集、2021年、27巻、1号、pp.146-151）

＜学会発表＞1.COVID-19下におけるデザイン教育の技能課題の設定と試行（共同、日本デザイン学会第68回春期研究発表大会3B-05、2021年6月26日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.2021年度デザイン学研究作品集（3件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（2019～2021年度作品審査委員会、委員（学会理事））／日本デザイン学会（2022～2024年度作品審査委員会、委員長（学会理事））

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会

石井 雅博

＜所属学会・研究会＞Vision Sciences Society／日本視覚学会／日本光学会／日本感性工学会／日本バーチャルリアリティ学会／芸術科学会／映像情報メディア学会／電子情報通信学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞幹事（視覚科学技術コンソーシアム）



安齋 利典

＜学術論文＞1. アナログってなんだろう？次世代オンラインワークショップ（共著、2022年3月、日本デザイン学会 デザイン学研究 作品集 27（1））

＜学会発表＞1. 人間中心設計プロセスの教育への応用に関する研究（共同、人間中心設計推進機構（HCD-Net） 2022年度春季 HCD研究発表会、2021年6月5日）／2. 遠隔授業の可能性に関する一考察 -演習系授業における遠隔グループワーク-（単独、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月26日）／3. 航空教室の教材開発の研究 -揚力実験装置と説明ツールの提案-（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月26日）／4. 外来看護の負荷を軽減する情報の可視化に関する研究（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月26日）／5. デスクランプの造形デザイン向上に関する研究—その2（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月26日）／6. ものづくりを通じた木への関心度向上の研究（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月26日）／7. 企業のコミュニケーションツールとしての絵本の研究（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月26日）／8. 植物と箱庭遊びを融合させたテラリウムの研究（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月27日）／9. 人間中心設計プロセスの教育への応用に関する研究 -看護教員の指導意欲の明確化に向けて-（共同、日本デザイン学会 第68回研究発表大会、2021年6月27日）／10. つくる責任・つかう責任（単独、芸術工学会2021秋期大会、2021年11月27日）／11. パリの街に潜むデザインの断片を拾い集めた考察 - パリの街とデザイン（1） -（単独、芸術工学会2022秋期大会、2021年11月27日）／12. レトル ～レトロとSDGsを組み合わせた容器回収型ドリンクサービスの提案～（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／13. 子どもが興味を示す木材の特徴に関する研究 ～五感を通して木にふれる制作ワークショップの提案～（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／14. 室内における子どものストレス緩和に関する研究 ～箱庭づくりに焦点をあてた植物栽培キットの可能性について～（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／15. 外来看護の負荷を軽減する情報の可視化に関する研究（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／16. デスクランプの構造と造形に関する研究（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／17. 女性向け製品デザインのイメージと形態の関係について ～ヘアードライヤーの女性向けデザインの研究～（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／18. 道産材を活用した家庭用電気製品の提案（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）／19. アニマルDO ～SDGsの視点から考察するキャラクターの提案～（共同、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会、感性フォーラム2022、2022年2月26日）

＜学会座長就任状況＞感性フォーラム札幌2022（2022年2月20日、日本感性工学会北海道支部、第5セッション（発表番号：21～25））

＜論文査読・学会抄録査読＞1. IASDR2021（2件（#1161, #1103）、International Association of Societies of Design Research Conference）／2. 道具学論集（1件、道具学会）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会（評議員 2021年11月～）／日本デザイン学会（代議員 2022年1月1日～）

＜学術集会運営＞芸術工学会 2021年度 秋期大会（芸術工学会（企画委員・梗概取りまとめ））

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／芸術工学会／道具学会／日本看護研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞これからのクリエイティブなオフィス環境のサービスデザイン（2021年4月1日～11月30日、Septeni Ad Creative株式会社）／UXデザインワークショップ（2021年9月1日～30日、東京エレクトロン株式会社）／NoMaps2021 Conference「デジタル時代だからこそそのアナログ！オンラインワークショップを考える」（2021年10月13日、JAA（日本アドバタイザーズ協会）デジタルマーケティング研究機構）／W+Aゼミのデザイン展（2022年2月22日～27日、若林・安

齋ゼミ)

柿山 浩一郎

＜学術論文＞1.『デザイン思考の5段階』に対する一考察（口頭発表）（単著、2021年6月、日本デザイン学会誌 第68回研究発表大会概要集2021 セッションID: 3A-07、pp.110-111）

＜学会発表＞1.Observed changes in garment color selection of university students across pre and postexamination periods（共同、Proceedings of the International Colour Association (AIC) Conference 2021、pp.801-806、2021年8月）／2.現代の若者がレトロから受ける魅力の構造に関する研究（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2022 演題番号04、pp.7-8、2022年2月）／3.ご当地ゆるキャラの愛着を高めるための「時代性」付与の効果（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2022 演題番号11、pp.21-22、2022年2月）／4.満足感を引き出す写真の構成要素の検討（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2022 演題番号20、pp.39-40、2022年2月）／5.写真に特有な視覚の制限を基軸とした撮影手法とその写真の評価についての研究（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2022 演題番号21、pp.41-42、2022年2月）／6.自分の中で「友達」と対話する～新たな視点に気づくことで視野を広げる制作物～（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2022 演題番号22、pp.43-44、2022年2月）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会 第68回春季大会（2021年6月25日～27日、日本デザイン学会「ポスターセッション（P1,P2,P3）」において座長を務める）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会（論文査読））／2.デザイン学研究（2件、日本デザイン学会（論文査読））／3.proceedings of IASDR 2021（3件、日本デザイン学会理事として（抄録査読））

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（梗概集編集委員会、委員長）／日本デザイン学会（研究推進委員会、委員）／日本デザイン学会（理事）／日本感性工学会（理事）／日本感性工学会（論文審査委員会、委員）／日本感性工学会（北海道支部、支部長）／日本感性工学会（感性インタラクション研究部会 部会長）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会春季研究発表大会2021（日本デザイン学会）／感性フォーラム札幌2022（日本感性工学会・北海道支部・感性インタラクション研究部会）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／日本教育工学会

＜講演会・講習会活動＞UXデザインワークショップ「第1回「車に対する価値観の想像を通じたメンタルモデルの理解」」（2021年9月14日、東京エレクトロン株式会社）／UXデザインワークショップ「第4回「車の機能分類を通じたメンタルモデルの理解」」（2021年9月17日、東京エレクトロン株式会社）

齊藤 雅也

＜学術論文＞1.ヒトの想像温度尺度による熱的快・不快感の評価に関する研究 冬季の放射・対流暖房でのヒトの想像温度の考察（共著、2021年5月、日本建築学会環境系論文集、第86巻、第783号、pp.517-525）／2.双曲放物屋根をもつ木造オフィスの冬季・夏季の室内気候と快適性 スタッフの想像温度と快適感・行動について（共著、2021年6月、日本建築学会技術報告集、第27巻、第66号、pp.767-772）

＜著書＞1.設計のための建築環境学 第2版 みつける・つくるバイオクライマティックデザイン（日本建築学会編）（共著、2021年4月、彰国社）／2.北方型住宅の熱環境計画2021（共著、2021年9月、一般社団法人北海道建築技術協会）

＜学会発表＞1.寒冷地の病室における夏季の熱中症リスクに関する研究（共同、日本建築学会大会（東海）学術講演会、pp.1121-1122、2021年9月）／2.夏季の微気候を対象にした想像温度に基づく設計用線図の提案（共同、日本建築学会大会（東海）学術講演会、pp.739-740、2021年9月）／3.建築家 上遠野徹「札幌の家・自邸」の冬季の熱環境と人体エクセルギー収支（共同、日本建築学会大会（東海）学術講演会、pp.741-742、2021年9月）／4.熱環境に対する「温度想像力」養成の検証 2020年春季・夏季の被験者実験（共同、日本建築学会大会（東海）学術講演会、pp.1093-1096、2021年9月）／5.冬季の多湿な室内気候デザインに関する基礎的研究 トカゲとシダの視点から（共同、日本緑化工学会 第52回日本緑化工学会大会、2021年9月）／6.地域差を考慮した熱中症危険度に関する研究 その1 北海



道における住まい手の想像温度・体熱感による評価（共同、令和3年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福島）、2021年9月）／7.地域の気候風土を活かす「住みこなし」のための想像温度による検証（共同、日本建築学会 環境工学委員会 第50回熱シンポジウム予稿集、pp.59-62、2021年10月）／8.想像温度による熱中症危険度の判定に関する検討（共同、日本建築学会 環境工学委員会 第50回熱シンポジウム予稿集、pp.63-66、2021年10月）／9.出身国・地域が異なる住まい手に適応した室内気候デザインの研究 札幌の住宅における冬季の乾き感・想像温度の関係（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集、pp.79-82、2021年11月）／10.寒冷地の夏季の病室空間における熱環境と熱中症リスクに関する調査 被験者年代とベッド配置に着目して（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集、2021年11月）

＜学会座長就任状況＞一般社団法人 日本建築学会／日本太陽エネルギー学会／日本建築学会環境工学委員会 第50回熱シンポジウム／日本建築学会環境工学委員会 バイオクライマティックデザインシンポジウム

＜論文査読・学会抄録査読＞1.一般社団法人 日本建築学会／2.一般社団法人 日本建築学会／3.エネルギー・環境学会／4.空気調和・衛生工学会技術振興賞

＜学会役員就任状況＞日本建築学会地球環境委員会（幹事）／日本建築学会地球環境委員会環境ライフスタイル普及小委員会（主査）／日本建築学会熱環境委員会バイオクライマティックデザイン小委員会（委員）／空気調和・衛生工学会北海道支部（幹事）／日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会（委員）／日本建築学会北海道支部北海道建築賞審査委員会（委員）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本感性工学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／LowEx. Net (Network of International Society for Low Exergy Systems in Buildings)／PLEA (Passive and Low Energy Architectures)

＜講演会・講習会活動＞BIS認定養成講習会（北海道建築技術協会）／BIS認定更新講習会（北海道建築技術協会）／文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業 北海道旭川西高等学校 特別講師「ペットボトルハウスで考える住まいの温・涼デザイン」（2022年2月24日）／第30回日本飼育技術学会「ウェルフェアにつながる環境建築デザインについての講演」/講師・講演集執筆（2022年3月7日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞幹事（2001年4月～現在、Passive and Low Energy Architecture日本支部）／環境工学専門委員（2001年4月～現在、日本建築学会 北海道支部）／環境工学委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会（2015年4月～現在、日本建築学会 本部）／北海道支部 常任幹事（2015年12月～現在、公益社団法人空気調和・衛生工学会）／パッシブ換気システムを備える住宅の専門家（顧問）（2018年～現在、パッシブシステム研究会）／地球環境本委員会 環境ライフスタイル普及小委員会・主査（2021年4月～2023年3月、一般社団法人 日本建築学会）／地球環境本委員会・幹事（2021年4月～2023年3月、一般社団法人 日本建築学会）／第12回 JIA・テスクチャレンジ設計コンペ・審査委員長（2021年6月～9月、公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部）／BIS認定事業に係る試験講習委員会/委員（(社)北海道建築技術協会）／登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員（(財)北海道建築指導センター）／甲府市遊亀公園附属動物園実施設計に伴う推進委員会・専門委員（2021年12月～現在、甲府市）

椎野 亜紀夫

＜学術論文＞1. Investigation into Use of Urban Park Water Supply Facilities During Large-Scale Power Outages After Hokkaido Eastern Iwate Earthquake（単著、2021年4月、Journal of Environmental Information Science Vol.2020, No.2, pp.1-9）

＜学会発表＞1.大規模停電を伴う災害時における都市公園の水道使用状況と周辺環境に関する研究（共同、日本造園学会北海道支部大会研究・事例報告、pp.19-20（2021）、2021年10月）／2.芸術の森キャンパスの地域特性と環境整備の提案（共同、芸術工学会誌No.83 Nov.21、pp.42-43（2021）、2021年11月）

＜学会座長就任状況＞日本造園学会支部大会（2021年10月、日本造園学会北海道支部大会（オンライン））／日本都市計画学会全国大会（2021年11月、日本都市計画学会全国大会（愛媛大学））

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ランドスケープ研究（4件、日本造園学会）／2.ランドスケープ研究



(オンライン論文集) (2件、日本造園学会) / 3.日本都市計画学会学術研究論文集 (5件、日本都市計画学会)

＜学会役員就任状況＞日本造園学会 (北海道支部副支部長 (2017年～現在)) / 日本造園学会 (ランドスケープ作品選集委員会委員 (2020年～現在))

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会 (2021年度) (日本造園学会)

＜所属学会・研究会＞日本造園学会 / 日本都市計画学会 / 日本建築学会 / こども環境学会 / 日本博物館協会 / 環境情報科学センター

＜講演会・講習会活動＞札幌市立芸術の森小学校 総合的な学習の時間における講師派遣「常磐の自然を生かした公園デザインをしよう」 (2021年10月7日・15日・22日・27日、札幌市立芸術の森小学校)

西川 忠

＜学会発表＞1.国際的な視野からの補強コンクリートブロック造の可能性の研究 (その1～その11) (共同、日本建築学会大会学術講演、2021年9月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会 (2件、日本建築学会構造系論文集) / 2.日本コンクリート工学会 (40件、日本コンクリート工学会年次大会)

＜学術集会運営＞日本コンクリート工学会年次大会 (日本コンクリート工学会)

＜講演会・講習会活動＞コンクリート診断士更新講習 (2021年4月8日～5月16日、(社)日本コンクリート工学協会) / 日本非破壊検査協会「北の大地の建築物への非破壊検査技術の展開」 (2021年11月9日、(社)日本非破壊検査協会) / 北海道住宅検査人更新講習「木造住宅の診断」 (2022年2月15日、(社)北海道建築技術協会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞建築診断研究会 主査 (2021年4月1日～、(社)北海道建築技術協会) / たてものドクターG委員会 幹事 (2021年7月1日～、(社)北海道建築技術協会) / 日本建築学会 建築保全標準・同解説講習会 (前・後編) (2021年7月2日、9月3日、(社)北海道建築技術協会)

藤木 淳

＜学術論文＞1.青銅鏡の魅力への智覚 (共著、2021年6月、芸術科学会誌: DiVA第50号、p.32) / 2.『おいかけっこ』『1フレーム』『夜の朝顔』『オンとオフ』—非接触で体験可能な参加型作品— (単著、2021年10月、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022 札幌市立大学論文集) / 3.cellroid2: 一自律的に図形を形成する点群 CG— (共著、2021年10月、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022 札幌市立大学論文集) / 4.植物になったかのような疑似体験により観察者の共感を向上させる手法の開発 (共著、2021年11月、芸術科学会論文誌)

＜作品発表＞1.おいかけっこ (共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作) / 2.1フレーム (共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作) / 3.夜の朝顔 (共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作) / 4.オンとオフ (共同、2021年、札幌芸術の森美術館「アフターダーク」展からの依頼を受け制作) / 5.P055E5510N2020 (単独、2021年、東京現代美術館「おさなごころを、きみに」展からの依頼を受け制作) / 6.A day in their lives (共同、2021年、東京現代美術館「おさなごころを、きみに」展からの依頼を受け展示) / 7.動き続ける静止画 (単独、2021年、芸術科学会誌DiVA50号) / 8.Ich hätte mich doch wohl früher (単独、2021年、芸術科学会誌DiVA50号) / 9.cellroid2 (単独、2021年、芸術科学会誌DiVA51号) / 10.フラッグクエスト 歪められし空間 (共同、2021年、芸術科学会誌DiVA51号)

＜学会発表＞1.色眼鏡インターフェースを用いたゲーム設計、ゲームを通じた新たなコミュニケーション体験の創造 (共同、日本デザイン学会 第69回春季研究発表大会、2021年6月26日) / 2.ヘッドマウントディスプレイ式補助走行装置システムの提案 (共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月) / 3.映像内の移動対象の軌道をグラフと数式で提示する可視化アプリケーションソフトウェアの開発 (共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月) / 4.実体験に基づく制作過程と完成作品の並列提示による、鑑賞者に作品への興味を向上させる展示方法の提案・青銅鏡の事例 (共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月) / 5.写意画と工筆画の融合による水墨アニメーションの研究 (共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月) / 6.ゲームらしさが作業意欲・楽しさ



に与える影響の検証（共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月）／7.分離可能なボタンゲームインターフェースの開発（共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月）／8.描画行為によって蓄電可能なペイントデバイスの開発（共同、Entertainment Computing 2021、2021年8月）／9.非現実的仮想世界インタフェースを備えたゲームシステム操作の学習（共同、ヒューマンインタフェースシンポジウム2021、2021年8月）／10.選択行為と選択行為に対するフィードバックが感情に与える影響（共同、第41回日本看護科学学会学術集会、2021年11月）／11.「1フレーム」「ドットペア」「P055E5510N」「にほんむかしせいぞろい」（共同、おとどけアート、2021年9月～11月）／12.自分と語る、自分と演じる、自分と観る・自分と深く向き合う演劇型ワークショップメソッド・（共同、共創学会第5回年次大会、2021年12月）／13.視線距離に応じて閲覧者に異なるイメージ像を提示可能とする表現手法の基礎研究（単独、感性フォーラム札幌2022、2022年2月）／14.「Flag Quest」（共同、Design for the Unreal World. ～アンリアルを考える～、2022年3月）／15.「Game Order」（共同、Design for the Unreal World. ～アンリアルを考える～、2022年3月）

＜学会役員就任状況＞日本バーチャルリアリティ学会2022年全国大会（展示委員）

＜学術集会運営＞日本バーチャルリアリティ学会2021年全国大会（日本バーチャルリアリティ学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本バーチャルリアリティ学会／芸術科学会／共創学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞Design for the Unreal World. ～アンリアルを考える～（2021年3月20日）

松井 美穂

＜学会発表＞1. “God help the South.” -カーソン・マッカラーズの『針のない時計』における南部と病（単独、日本英文学会北海道支部大会 文学部門シンポジウム「アメリカ文学と病」 司会兼講師、2021年11月（ウェッブカンファランス））

＜所属学会・研究会＞日本英文学会／日本英文学会北海道支部／日本アメリカ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Carson McCullers Society／アメリカ学会／カナダ文学会／文学と評論社

三谷 篤史

＜学術論文＞1.Measurement algorithm for oral care simulator（共著、2021年6月、Advanced Robotics Vol. 35, No.11, 2021）／2.Development of a Spoon Motion Navigation Algorithm for the Mealtime Assistant Simulator（共著、2021年8月、Journal of Mechatronics, Vol.33, No. 4, pp768-776, 2021）

＜国際会議での発表＞1.Development of a device for retaining good posture of elderly people（The 17 th INTERNATIONAL CONGRESS The Federation of Robotics in Education and Therapy International, Seoul, South Korea, 2021年6月）／2.Development of Measurable Oral Care Simulator for Nursing Education,（2021 IEEE Int. Conf. on Advanced Robotics and Its Social Impacts (ARSO), online, July 8-10, 2021、2021年7月）

＜学会発表＞1.食事介護シミュレータの第1次プロトタイプにおける被験者実験（共同、第9回看護理工学会学術集会、札幌（オンライン）、2021年10月）／2.ブラッシング技能の視覚的フィードバックが可能な口腔ケアシミュレータ（共同、第9回看護理工学会学術集会、札幌（オンライン）、2021年10月）／3.口腔ケアシミュレータのためのMEMS センサによるブラッシング検知（共同、第9回看護理工学会学術集会、札幌（オンライン）、2021年10月）／4.畳み込みネットワークを用いた画像解析による咀嚼機能別の下顎運動を再現した口腔シミュレータの開発-パイロットスタディ-（共同、第9回看護理工学会学術集会、札幌（オンライン）、2021年10月）／5.口腔ケアシミュレータに向けたMEMS センサ搭載歯-歯茎モデルの検討（共同、電気学会 E部門 交通・電気鉄道/マイクロマシン・センサシステム 合同研究会、オンライン、2022年3月）

＜所属学会・研究会＞日本ロボット学会／日本機械学会／アメリカ電気電子学会（IEEE）／精密工学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／看護理工学会／日本感性工学会／日本トライボロジー学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞イベントで配布するマスクケースのデザイン提供（2021年6月30日、桑園わくわく商店会）／防災冊子「もしも北海道」の編集（2021年8月20日、もしも北海道）／道内のトライボロジー研究者に対する講演会の実施・運営「摩擦界面からの機械システムイノベーション」（2021年9月30日、北海道トライボロジー研究会）／ビジネスEXPOにおける北海道EVプロジェ



クトに関する展示「EZO-MOBI」（2021年11月11日～12日、㈱Will-E、北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会）／ロゴの制作（2021年11月15日、ホームホスピス北海道）／サッポロ・ロボットコーナーに置ける展示（通年、札幌市青少年科学館）

山田 良

＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術（2件、環境芸術学会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／環境芸術学会

＜講演会・講習会活動＞関口勇揮記念美術館 屋外展（2021年7月1日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞チカホ空間での地域振興展ディレクター（2021年4月～12月、札幌駅前通まちづくり会社）

若林 尚樹

＜学術論文＞1.アナログってなんだろう？次世代オンラインワークショップ（共著、2021年3月、デザイン学研究作品集2021年、27巻、1号、pp.1_128-1_133）

＜学会発表＞1.おしゃべり知における落書きグラフィックの比較分析（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）／2.企業のコミュニケーションツールとしての絵本の研究（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）／3.航空教室の教材開発の研究（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）／4.地域の自然を共有する体験価値提案の研究（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）／5.対話型ワークショップによる暗黙知的ノウハウの抽出（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）／6.視覚障害児と家族の会の活動（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）／7.動物園のガイドマップを用いた観覧体験の主観評価分析（共同、デザイン学会第68回春期発表大会、2021年6月）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会（国内学会） 会員／こども環境学会（国内学会） 会員／感性工学会（国内学会） 会員／芸術科学会（国内学会） 会員／動物園水族館教育研究会（国内研究会） 会員／アジアデジタルアートアンドデザイン学会（国際学会） 会員

＜講演会・講習会活動＞NoMaps 2021 Conference 「デジタル時代だからこそそのアナログ！オンラインワークショップを考える」（2021年10月、JAA（日本アドバタイザーズ協会）Web広告研究会）／総合の学習の時間「ペーパークラフトを作ってみよう」（2021年12月～2022年3月、芸術の森小学校）／総合の学習の時間、教科科目のための工作キットの教材開発と、それを活用したワークショップ型授業の実施「1年で一番思い出に残ったこと」（2021年12月～2022年3月、藻岩南小学校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2021年3月12日実施ワークショップ「アナログってなんだろう？」の企画運営実施（2021年3月12日、株式会社オーディオテクニカ）／Webデザイナーテキストブック編集委員長、CR-ARTS協会委員（2021年4月～2022年3月、画像情報教育振興協会）／Septeni Ad Creativeのためのこれからのクリエイティブなオフィス環境のサービスデザインの提案（2021年5月～10月、Septeni Ad Creative株式会社）／触察用海洋生物組み立てキットの提案、作成（2021年9月～2022年3月、沖縄美島財団）／3年開校科目のインターンシップと連携した、中小企業家同友会の合同採用委員会の主催で学生と企業経営者の懇談会「2021年度合同インターンシップ」（2021年9月16日・17日、北海道中小企業家同友会）／航空機のより快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン、他2件「地域産学協力依頼もとづくデザイン総合実習IVでの協力」（2021年10月～2022年3月、㈱AIRDO）／沖縄美ら海水族館と連携して、視覚障害児のための触察ワークショップを企画、実施「海の生物触察ワークショップ」（2021年10月11日、京都ライトハウスあいあい教室）／NoMaps2020「NoMaps 2021 Conference デジタル時代だからこそそのアナログ！オンラインワークショップを考える」「No Maps 2021ハレのひ宣言」（2021年10月13日、JAA（日本アドバタイザーズ協会）Web広告研究会）

大島 卓

＜調査研究報告書＞1.「北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究」調査研究報告書（共著、2022年2月、2021年度札幌市円山動物園からの受託研究、pp.1-30、pp.60-61）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本造園学会誌『ランドスケープ研究』Vol.85 No.5（2022年発行）（2件、公益社団法人日本造園学会）



＜学術集会運営＞2021年度 日本造園学会北海道支部大会（公益社団法人日本造園学会北海道支部）
 ＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本造園学会／一般社団法人日本建築学会
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞1) オンラインデザインワークショップの開催・運営、2) 「冬みち便り」のデザイン協力、3) 小型EV 自動車ラッピングのデザイン協力「冬みち便り及びEV自動車ラッピングデザイン製作事業」（2021年8月11日～10月5日、札幌市南区土木部維持管理課）

金子 晋也

＜学術論文＞1.フィンランドの応用科学大学の職業人育成に関する研究ノート-メトロポリア応用科学大学Construction Architectureコースの現地調査と札幌市立大学人間空間デザインコースの比較を通じた事例研究-（査読有）（共著、2021年10月、札幌市立大学研究論文集、第15号、pp.43-50）／2.石狩地方の木村家住宅と旧白鳥家住宅にみるダイドコロとニワの架構法（査読有）（単著、2022年6月、日本建築学会技術報告集、第69号、pp.846-851）

＜調査研究報告書＞1.厚真町における慰霊碑・慰霊施設に関する調査研究（共著、2022年3月、札幌市立大学）／2.DIYによる拠点整備事業（単著、2022年3月、札幌市立大学）／3.三笠市炭坑遺産調査及び図面調査報告書（共著、2022年3月、日本建築学会北海道支部歴史・意匠委員会）

＜学会発表＞1.芸術の森キャンパスの地域特性と環境整備の提案（共同、芸術工学会誌no.83、2021年11月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.生活学論叢（1件、日本生活学会）／2.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／3.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（設計計画・構法計画運営委員会 委員）／日本建築学会（建築歴史・意匠委員会近代建築史小委員会 委員）／日本建築学会（木造構法小委員会 委員・幹事）／日本建築学会（北海道支部 建築歴史・意匠委員会 委員）／日本建築学会（設計計画・構法計画運営委員会 委員）

＜学術集会運営＞日本建築学会 北海道支部研究発表会 実行委員

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／生活学会／日本在宅ケア学会

＜講演会・講習会活動＞2021年度 北海道ヘリテージマネジメント専門職（第6期）育成講座「登録文化財所見演習」（2021年10月10日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／ヘリテージマネジメント専門職育成講座の最終講義「私が見つけた文化財（中間発表）」（2021年11月13日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／ヘリテージマネジメント専門職育成講座の最終講義「私が見つけた文化財（最終発表）」（2021年12月4日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞建築的特徴・建物維持に関する知見の提供「滝川市元丸井今井呉服店実測調査」（2022年9月10日、北の民家の会）／建築的特徴・建物維持に関する知見の提供「旧木村家住宅（石狩市濃昼）調査」（2022年9月16日、ごきびる番屋サポートの会）／木造建築に関する研究成果の発表（2021年11月13日、日本建築学会木造構法小委員会）／小委員会設置に関する準備、関連する情報の提供等の運営（2021年12月4日、日本建築学会文化的・生態的景観小委員会）

金 秀敬

＜学術論文＞1.Towards Value-Driven Experience Design by Minding the Gap between Visual-Olfactory Perception（単著、2022年9月、Proceedings of the 24th International Conference on Engineering and Product Design Education (E&PDE 2022) DOI number : 10.35199/EPDE.2022.90) Global Award・Innovation Sensory Perception and Design 賞受賞.

2.Influence of Multimodal Integration on Spatial Perception（共著、2022年9月、Proceeding of Kansei Engineering and Emotion Research International Conference 2022, KEER2022, Japan Society of Kansei Engineering）

＜学会発表＞1.Multisensory Integration on Enhancing Affective Experience（単独、2022年7月、International Multisensory Research Forum ULM2022）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.International Journal of Economic Policy in Emerging Economies（1件、Economic Policy in Emerging Economies）／2.The REDO biannual Cumulus Conference Proceedings（4件、Cumulus Association）／3.日本感性工学会論文集（1件、日本感性工学会）／4.International Journal of Affective Engineering（6件、日本感性工学会）／5.International



Conference on Tangible, Embedded and Embodied Interactions Proceedings (1件、Association for Computing Machinery) / 6. International Conference on Engineering and Product Design Education (4件、International Design Society) / 7. SCU Journal of Design & Nursing (1件、札幌市立大学)

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／The Design Society

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞特別講演会の企画と運営「感性科学とデザイン研究」(2021年10月25日、札幌市立大学)／ポートフォリオ講習会の運営(2021年12月8日、札幌市立大学)／キャリア支援特別講座の運営(2021年12月8日、札幌市立大学)

小林 重人

＜学術論文＞1. 地域通貨の発行形態の違いに対する利用者の印象と評価—ゲーミング・シミュレーションを用いたアナログ地域通貨とデジタル地域通貨の比較分析—(共著、2021年9月、経済社会学会、『経済社会学会年報』、43、pp.59-71)

＜学会発表＞1. 音風景における音の関係性の理解を促す教育プログラムの開発と評価(共同、日本デザイン学会 第68回春季研究発表大会、3B-01、2021年6月) / 2. ネットワーク分析を活用した電子地域通貨の流通デザイン—小樽の電子地域通貨TARCAの事例—(共同、地域活性学会 第13回研究大会 論文集、pp.104-107、2021年9月) / 3. 「働き方の課題を把握するシミュレーションゲーム」実施の効果と課題(共同、日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集、2021秋号、pp.88-91、2021年12月) / 4. 電子地域通貨TARCAによるキャッチコピーゲーム—完全匿名によるオンラインゲームの実践—(単独、日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集、2021秋号、pp.84-87、2021年12月) / 5. 学会通貨JAFEEを使ってみよう(共同、進化経済学会 北海道・東北部会 春期大会、2021年3月) / 6. 新規プロスポーツチームが地域に根付くためのデザイン—広域をホームタウンとするプロスポーツチームを事例として—(共同、進化経済学会 26回大会、2022年3月)

＜学会座長就任状況＞日本シミュレーション&ゲーミング学会 秋季全国大会(2021年12月、日本シミュレーション&ゲーミング学会)

＜学会役員就任状況＞進化経済学会 北海道・東北部会(事務局長) / 進化経済学会 JAFEE通貨委員会(委員)

＜学術集会運営＞日本シミュレーション&ゲーミング学会 春季全国大会(日本シミュレーション&ゲーミング学会)

＜所属学会・研究会＞情報処理学会／進化経済学会／地域活性学会／日本シミュレーション&ゲーミング学会／経済社会学会／経済教育学会／日本建築学会

＜講演会・講習会活動＞SDGs未来都市に関するセミナー「電子地域通貨によるソーシャルデザイン」(2021年10月22日、北陸先端科学技術大学院大学) / 石川県能美市に対するセミナー「地域通貨の活用に向けて「ヒダスケ!」と「ひがしかわユニバーサルカード」の事例から」(2022年2月28日、北陸先端科学技術大学院大学)

小宮 加裕子

＜学会発表＞1. COVID-19下におけるデザイン教育の技能課題の設定と試行(共同、日本デザイン学会 第68回研究発表会、2021年6月)

＜学術集会運営＞第68回日本デザイン学会春季研究発表大会(日本デザイン学会)

＜講演会・講習会活動＞夕張市民講座「けいとでアート」講義とワークショップ「けいとでアート」(2021年12月4日、夕張市教育委員会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞理事(北のユニバーサルデザイン協議会(NUDA))

武田 亘明

＜学術論文＞1. 社会イノベーションを目指す人材育成のためのプログラミング教育のデザイン(単著、2022年12月4日、日本教育工学会研究報告集 JSET2021-4、pp.100-105)

＜学会役員就任状況＞日本教育工学協会(評議員) / 教育とコンピュータ利用研究会(副会長・北海道支部長)

＜所属学会・研究会＞情報処理学会／日本教育工学会／日本教育工学協会(評議員) / 北海道中国哲学



会／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞全日本中学高校WebコンテストThinkQuest JAPAN審査員（特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会）

張 浦華

＜作品発表＞1.花園之歌（審査有り）（オブジェ作品）最優秀新人賞受賞（単独、2021年7月20日～25日・月1日、札幌市民ギャラリー）／2.the Color Symphony（色の交響曲）（オブジェ作品）（単独、2021年7月30日～12月31日、ANBD Virtual Gallery）／3.秋宵の幻想（審査有り）（花器作品）（単独、2021年7月27日～8月1日、札幌市民ギャラリー）／4.,（単独、2021年7月27日～8月1日、ギャラリー大通り美術館）／5.金彩茶碗（抹茶茶碗）（単独、2021年7月27日～8月1日、ギャラリー大通り美術館）／6.花器（単独、2021年7月27日～8月1日、ギャラリー大通り美術館）／7.東洋の幻想（オブジェ）（審査有り）（単独、2021年8月5日～15日、国立新美術館）／8.金彩茶碗（審査有り）（抹茶茶碗）（単独、2021年8月5日～15日、国立新美術館）／9.Rhythm of Life（ワインクーラー）（単独、2021年8月5日～15日、Art Center, Tainan University of Technology）／10.星の誕生（水指）（審査有り）（単独、2021年10月16日～22日、東京都美術館）／11.「花園之歌」（オブジェ）（単独、2021年10月29日～2022年1月21日、北星信金ウィンドウギャラリー）／12.秋宵の幻想（花器）（単独、2021年10月29日～2022年1月21日、北星信金ウィンドウギャラリー）／13.金彩朴葉（単独、2021年10月29日～2022年1月21日、北星信金ウィンドウギャラリー）／14.Light of Life（鉢）（単独、2021年11月15日～21日、Creativity Space）／15.星の煌めき（水指）（審査有り）（単独、2021年11月17日～21日、京都市京セラ美術館）／16.Field of Life（抹茶茶碗）（単独、2021年11月26日～12月1日、Dream Forest Gallery）／17.Garden of Life（抹茶茶碗）（単独、2021年12月13日～20日、Phuket Cultural Center Phuket Rajabhat University）／18.金彩花入れ（単独、2022年3月、札幌市立大学公式記念品）／19.金彩花入れ（単独、2022年3月、札幌市立大学公式記念品）／20.箸置（36個）（単独、2022年3月、札幌市立大学公式記念品）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.中国清華大学美術学院教員評価（連携校である中国清華大学美術学院、教員2名（1.Zhang Mangmang 2.Fu Zhiyong）の論文査読、業績評価を行なった。）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／北海道陶芸会

＜講演会・講習会活動＞北海道陶芸会の窯地図、案内DMなど関連資料の制作を行った／ANBD 特任理事、中国語エリアへの展覧会等の連絡調整

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道陶芸会の展覧会DM担当、北海道窯地図、案内DMなど関連資料の制作を行った。「北海道陶芸会展」（2021年7月27日～8月1日、北海道陶芸会）／ANBD2020年展について、中国大陸、台湾ANBD協会との連絡調整翻訳などを行った。「ANBD 2021年Tainan（8月5日～15日）、ANBD 2021 ShangHai（11月15日～21日）」（2021年8月・11月）

並木 翔太郎

＜学会発表＞1.やさしい日本語はどう“やさしい”？：伝わる注意喚起看板を目指して（単著、2021年11月～2022年3月、SCU産学官金研究交流会（於札幌市立大学（オンライン配信）））

＜所属学会・研究会＞筑波英語学会／日本言語学会／日本英語学会／英語語法文法学会／日本語文法学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究発表「やさしい日本語はどう"やさしい"？：伝わる注意喚起看板を目指して」（2021年11月～2022年3月、産学官金連携の企業・行政・技術者）／「こころとカラダのライフデザイン」リレー講演（全4回）の企画・運営（2022年1月・2月・3月・4月、医療従事者及び一般市民）

丸山 洋平

＜学術論文＞1.地域人口指標の客観的な解釈とは？—人口移動と居住・家族形成との関係を手掛かりにして—（単著、2021年6月、人口問題研究、第77巻、第2号、pp.129-152）／2.市区町村別親子同居率の地域的差異—国勢調査オーダーメイド集計結果を用いて—（単著、2021年7月、社会学雑誌、第38巻、pp.83-99）

＜著書＞1.自然災害と人口（共著、2021年8月、原書房）



＜学会発表＞1.地域人口推計におけるChild Woman Ratioの分母年齢設定（単独、日本人口学会第73回大会、Web報告、2021年6月6日）／2.地域指標の客観的解釈に関する一考察—地域別ランキングの批判的検討を通して—（単独、経済統計学会北海道支部研究会、Web報告、2021年10月2日）／3.地域指標の客観的解釈に関する一考察—地域別ランキングの批判的検討を通して—（単独、経済統計学会第65回全国研究大会、Web報告、2021年10月16日）／4.北陸3県をめぐる人口移動傾向の変化—北陸新幹線金沢延伸前後に着目して—（共同、2021年人文地理学会大会、Web報告、2021年11月21日）／5.地域指標の客観的解釈に関する一考察—地域別ランキングの批判的検討を通して—（単独、人口学研究会第637回定例会、Web報告、2022年2月5日）／6.高齢者の居住状態から見る家族の地域性—市区町村スケールでの検討—（単独、地域類型研究会、Web報告、2022年3月14日）

＜学会座長就任状況＞日本人口学会2021年度第1回東日本地域部会（2021年12月5日、日本人口学会）／2022年日本地理学会春季学術大会（2022年3月19日、日本地理学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人口問題研究（1件、国立社会保障・人口問題研究所）／2.SCU Journal（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本人口学会（編集委員）／人口学研究会（総務幹事）

＜学術集会運営＞2021年度日本人口学会東日本地域部会（日本人口学会）

＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本家族社会学会／人文地理学会／日本地理学会／日本都市計画学会／経済統計学会／北海道社会学会／人口学研究会

＜講演会・講習会活動＞中央大学経済研究所公開研究会（人口・労働・社会保障研究会）「地域指標の客観的解釈に関する一考察—地域別ランキングの批判的検討を通して—」（2022年1月17日、中央大学経済研究所）／清里みらい塾まちづくり講演会「清里町の人口変動から地域の持続可能性を考える」（2022年3月8日、清里町教育委員会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道新聞、「札幌集中のリアル」グループへの助言、コロナと人口移動に関する助言、函館市局への助言（2021年度、北海道新聞）／中央大学経済研究所公開研究会（人口・労働・社会保障研究会）での発表（2022年1月17日、Web報告）／オリパラ開催に係る市民アンケート作成への助言（札幌市）／札幌一極集中、コロナと人口移動に関する助言（北海道新聞）

森 朋子

＜報告書＞1.21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究報告書（共著、2022年3月、北海道大学観光学高等研究センター、第4章2-3、pp.106-110）

＜国際会議での発表＞1.The Study on the Relationship between a Newar village and its Broader Setting in Kathmandu Valley（The 17th Conference of Asian and African City Planning,（日本都市計画学会、東京大学）pp.132-139、2021年12月）

＜学会発表＞1.札幌における冬季オリンピック招致から実施までの競技施設等配置計画の変遷（共同、2021年度日本建築学会大会（東海）、2021年9月）／2.中国人留学生在が病院の外來を受診する際に生じる課題の整理と対策の提案、カスタマージャーニーマップを用いた検討（共同、札幌市立大学研究論文集、15（1）、pp.51-61、2021年10月）／3.ビルテナント属性から見た札幌市大通地区の特性把握、沿道97棟を対象に雑居ビルテナントに着目して（共同、日本都市計画学会北海道支部2021年度研究発表会、p.11、2021年11月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集、査読付論文の査読（3件、日本建築学会）／2.日本都市計画学会論文集、査読付論文の査読（2件、日本都市計画学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（都市計画本委員会委員、グローバル景観小委員会委員、2022年度日本建築学会大会（北海道）大会実行委員会行事部会委員）／日本建築学会北海道支部（都市計画専門委員会委員（2021年度より主査）、学術委員会委員、第94回日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員）／日本都市計画学会北海道支部（幹事、2021年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会実行委員）／日本イコモス国内委員会（第8小委員会幹事）

＜学術集会運営＞第94回日本建築学会北海道支部研究発表会（日本建築学会北海道支部）／公開研究会「胆振東部地震からの復興を考える」（日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）／2021年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会（日本都市計画学会北海道支部）／公開研究会「札幌の都心部における地下歩行ネットワークを考える」（日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）



＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本都市計画学会／日本エコモス国内委員会

＜講演会・講習会活動＞「さっぽろれきぶんフェス2022」講師（2022年2月26日、札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「ユネスコ・日本信託基金-世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」への参加「国際科学委員会会議」（2021年3月23日～25日、ユネスコ・カトマンズ事務所）／大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会まちづくり委員会・委員（2021年10月22日・11月26日、大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会）／令和3年度都市計画実務発表会でのコメンテーター（2021年10月22日、都市計画コンサルタント協会）／「21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究」への参加（北海道大学観光学高等研究センター）

山田 信博

＜学会発表＞1.芸術の森キャンパスの地域特性と環境整備の提案（共同、芸術工学会 2021年度秋期大会、研究発表、2021年11月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.都市学研究（1件、北海道都市地域学会）／2.日本建築学会住宅系報告会（1件、日本建築学会）／3.日本建築学会技術報告書（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（常議員・北方系住宅専門委員・建築計画専門委員）／北海道都市地域学会（理事・論文編集委員）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本居住福祉学会／北海道都市地域学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞公営住宅の福祉的利活用に関する講義「公営住宅の福祉的利活用について」（2022年1月13日、大牟田未来競争センター）／コンクリート表面の新たなデザインに向けた支援（2022年1月18日、共和コンクリート工業）／真駒内のまちづくりに関する事例を札幌市、UR都市再生機構と協議している（真駒内まちづくり協議会）

横溝 賢

＜学会発表＞1.自分の「問い」を発見し研究にしていく創造的ゼミナールの実践、札幌市立大学 デザイン学部 横溝研究室を事例として、（共同、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、2021年6月）／2.「浮書き」タイポグラフィワークショップの実践、相手を知るためのタイポグラフィデザイン（共同、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、2021年6月）／3.生活世界に親しむ社会実践型デザインリサーチの試み、NPO法人さっされんのパッケージデザイン提案を事例として（共同、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、2021年6月）／4.間合いをつかむデザイン実践の試み、デザインにおけるここちよい間合いとは（共同、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、2021年6月）／5.オンラインでの知識交流を促す学会活動のデザインプロセス、第11回日本デザイン学会第1支部オンライン大会を事例として（共同、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、2021年6月）／6.人と未知なる自然との関わり合いの知のはたらき、道北・浜頓別町に住む祖父との釣りを事例として（共同、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会梗概集、2021年6月）／7.協働的な秩序構築によるナラティブモデルによる対話の活性化の一考察、～第11回日本デザイン学会第1支部オンライン大会を事例として（共同、第5回共創学会年次大会予稿集、2021年12月）／8.市電に乗って札幌の暮らしを描きなおす活動のデザイン（共同、第5回共創学会年次大会予稿集、2021年12月）／9.市民とのデザイン活動における共創のための独創的デザイン実践（共同、第5回共創学会年次大会予稿集、2021年12月）／10.地域住民の記憶を遠隔地で描き出し伝達するコミュニケーションデザインの研究、一郵便局員だった祖父の住む浜頓別町を事例として（共同、第5回共創学会年次大会予稿集、2021年12月）

＜学会座長就任状況＞第68回日本デザイン学会春季研究発表大会（2021年6月25日～27日、日本デザイン学会）／第12回日本デザイン学会第1支部大会「素朴な継承」（2021年10月3日、日本デザイン学会 第1支部会）／第5回共創学会年次大会（2021年12月4日～5日、共創学会）

＜学術集会運営＞2021年度日本デザイン学会情報デザイン研究部会オルタナティブ部vol.01-vol.9（日本デザイン学会 第1支部会）／2021年度第12回日本デザイン学会第1支部大会「素朴な継承」（日本デザイン学会 第1支部会）／2021年度 第5回共創学会年次大会「生まれつづける」（共創学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本工学教育協会／共創学会／認知科学会／日本教育メ



ディア学会

＜講演会・講習会活動＞第68回日本デザイン学会春季研究発表大会オーガナイズドセッション「人とひとならざるものに想いを馳せていく実践者たちの知」（2021年6月、日本デザイン学会）／JSSD情報デザイン研究部会オルタナティ部vol.01-09（2021年7月～2022年3月、毎月第2土曜日開催）／2021年度日本デザイン学会秋季企画大会OPEN SIG.オーガナイズドセッション「足元のWHYを問い直すデザイン」（2021年11月、日本デザイン学会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第68回JSSD春季研究発表大会オーガナイズドセッション企画運営「人とひとならざるものに、おもいを馳せていく実践者たちの知」（2021年6月26日、日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／第12回JSSD第1支部大会IN盛岡 大会プログラム、ワークショップ企画「第12回JSSD第1支部大会 素朴な継承」（2021年10月6日、日本デザイン学会第1支部会）／2021年度JSSD秋季企画大会 OPEN SIG. オーガナイズドセッション企画運営「足元のWHYを問い直すデザイン」（2021年11月6日、日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／就労支援施設事業者向け・商品開発ワークショップの実施（2021年11月16日～12月17日、特定非営利活動法人さっされん）／共創学会第5回年次大会 企画運営「生まれつづける」（2021年12月5日～6日、共創学会）／就労支援施設事業者向け・ものづくりワークショップ講演会「ものづくりワークショップ講演会（ZOOM）」（2022年3月3日、特定非営利活動法人 さっされん）／マンスリー研究部会 オルタナティ部 企画運営（2021年度1年間、日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会 情報デザイン研究部会主査として部会の運営に携わる（2021年度1年間、情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会第1支部会の支部長として同支部会の運営に携わる（2021年度1年間、JSSD第1支部会）／日本デザイン学会理事として同学会の運営に携わる（2021年度1年間、日本デザイン学会）／NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会の理事として同団体の運営に携わる（2021年度1年間、NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会）／岩手大学が運営する産官学民連携プラットフォーム岩手ネットワークシステムの研究部会、INS SDGs研究会の運営に会著として携わる。（2021年度1年間、INS SDGs研究会）

石田 勝也

＜所属学会・研究会＞環境芸術学会／情報処理学会／芸術科学会

＜講演会・講習会活動＞Backstage Pass to YCAM / ONLINE制作現場や展覧会の裏側を見てみよう！札幌から山口市の山口情報芸術センターにオンラインで訪問します！「Backstage Pass to YCAM / ONLINE」（2021年4月4日、札幌文化芸術交流センター）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞番組審議委員会（2021年度、FM北海道）／札幌市消防局（2021年度 札幌市消防団入団促進広報事業）企画競争実施委員会委員）

大淵 一博

＜学会発表＞1.介護施設で生活する高齢者の生活の質を向上させる口腔ケア普及への挑戦～口腔ケアシミュレーションモデルの開発と口腔ケアの教育と評価のシステムづくり～（共同、第32回日本老年学会総会、2021年6月）／2.介護福祉施設の入居者における年齢と口腔の状態と機能の関連（共同、第73回北海道公衆衛生学会、2021年11月）／3.異分野連携によるイベント企画と運営 ～札幌サンタファンの活動を通じて～（共同、感性フォーラム札幌2022、2022年2月）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事（庶務・会計担当）※2019～）

＜学術集会運営＞感性フォーラム2022（日本感性工学会北海道支部）／第27回バーチャルリアリティ学会大会（日本バーチャルリアリティ学会）

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市消防団入団啓発品デザイン審査会（2021年9月22日、札幌市消防局）／札幌市長グリーティングカード デザイン審査会（2021年10月8日、札幌市国際部）／創立100周年記念ロゴマーク審査（2022年3月23日、NTT東日本札幌病院）／システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／ソフトウェア利用に関する個別指導等・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）／実行委員会委員長（統括・経理・イベント企画・運営・デザイン制作協力等）（通年、北海道グレートサンタラン実行委員会）



片山 めぐみ

＜学術論文＞1.コミュニティマネジメントと住民の交流実態からみた「多世代共生住宅」の可能性（再掲）（共著、2021年6月、日本建築学会技術報告集、第27巻、第66号、pp.931-936）／2.SNSによる古民家の物語配信と場への移入感の形成～メディアミックスとしてのストーリーイマージョンの提案（共著、2022年1月、デザイン学研究、第68巻、第3号、通巻259号、pp.1-8）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会論文査読（1件）／2.日本建築学会技術報告集査読（2件）／3.札幌市立大学研究論文集 SCU Journal of Design&Nursing 2023 査読（1件）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員会／日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会委員／人工知能学会「仕掛学」オーガナイズドセッション組織委員

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／日本社会福祉学会

＜講演会・講習会活動＞札幌市在宅福祉団体活動ネットワークセミナー（2021年5月12日、札幌市社会福祉協会）／生活クラブ生活協同組合主催のオンライン講演会「地域の福祉はみんなでつくる」（2021年9月3日、生活クラブ生活協同組合 北海道）／日本世代間交流学会第12回全国大会セミナー話題提供者「セミナー2「歴史・生活・文化と世代間交流」―世代を超えた豊かな交流とそのための地域づくりを目指して―」（2021年10月2日）

須之内 元洋

＜学術論文＞1.Diversity-Robust Acoustic Feature Signatures Based on Multiscale Fractal Dimension for Similarity Search of Environmental Sounds（共著、2021年10月、IEICE Trans. Information and Systems Vol. E104-D, No.10）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.DH Unbound 2022国際会議 抄録査読（4件、DH Unbound 2022 (The Association for Computers and the Humanities and Canadian Society for Digital Humanities)）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜講演会・講習会活動＞「デジタルノマド：脱出する10億人が変える世界」（2021年10月、武邑塾 2021事務局）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞書籍「Iro: The Essence of Colour in Japanese Design」資料調査・提供（2021年6月～9月、Phaidon Press）／企画展「戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡」資料調査・提供（2021年7月～10月、川崎市 岡本太郎美術館）／「日本のデザインアーカイブ実態調査 森正洋」インタビュー対応、資料提供（2021年7月、NPO法人建築思考プラットフォーム <https://npo-plat.org/mori-masahiro.html>）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（みずのき美術館）／デジタルアーカイブの運用・構築及びギャラリー広報の支援（京都府）／科学書籍掲載用写真の提供（Lankester Botanical Garden）／「アートとリサーチ」データベースの運用支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／インタビュー対応、及び資料提供「日本のデザインアーカイブ実態調査 森正洋」（2021年7月21日、NPO法人建築思考プラットフォーム）／小学校教員向けワークショップの企画・実施、プロジェクトウェブメディア構築「ざいしらべワークショップ 身近な音探しと表現」（2021年8月19日、NPOアートフル・アクション）／インダストリアルデザイナー 柳宗理氏のデジタルアーカイヴ構築アドバイス・支援（一般財団法人 柳工業デザイン研究会）／デザイン資料の調査・提供（川崎市 岡本太郎美術館）／デザイン資料の調査・提供（Phaidon Press）／ウェブメディア構築支援（NPO法人S-AIR）／八王子市の文化財マップのデザイン・実装（株式会社SETENV）／講演、パネルディスカッションへの参加、ウェブメディア構築「Digital Nomad : 脱出する10億人が変える世界」（2021年10月13日、武邑塾）／展示用写真の提供（New York Botanical Garden）

福田 大年

＜学会発表＞1.描いて、見せ合い、語り合うことで、互いをなんとなくわかろうとするプロセス（共同、第68回日本デザイン学会春季研究発表大会、2021年6月）／2.多視点によって観察を再構成する手法（単独、共創学会第5回年次大会、2021年12月）

＜作品発表＞1.札幌市円山動物園動物科学館における展示デザインリニューアルのための研究（共同、2022年3月、札幌市）



＜学会座長就任状況＞第68回日本デザイン学会春季研究発表大会（2021年6月、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会

＜学術集会運営＞日本デザイン学会第一支部大会（大会テーマ「素朴な継承」）（日本デザイン学会第一支部会（2021年10月））／共創学会第5回年次大会（大会テーマ「生まれつづける」）（共創学会（2021年12月））

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／共創学会

＜講演会・講習会活動＞ビジュアル思考大全 出版記念トークイベント第1弾「ビジュアル思考はクリエイティブを刺激できるか？」（2021年3月5日、株式会社グラグリッド）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市立大学×JAF札幌支部×厚真町 観光ルート創出事業（2020年11月26日～2021年12月31日、厚真町、JAF札幌支部、札幌市立大学）／「清酒 千歳鶴 季節限定商品」ラベルデザイン募集（2021年6月18日～7月7日、日本清酒株式会社）／学部・研究科FD研修会「SCUオンライン教育の可能性を探る」（2021年12月15日、札幌市立大学）

松永 康佑

＜学会発表＞1.樺太アイヌ文化継承の試みについて（共同、第55回研究大会・日本文化人類学会 分科会発表 日本図学会大会発表、2021年5月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Journal asia digital art and design association（2～5件、asia digital art and design association）

＜学会役員就任状況＞asia digital art and design association（査読委員）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ADADA学会／ACM SIGGRAPH／日本図学会／日本看護科学学会

矢久保 空遥

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2021（日本感性工学会）

＜所属学会・研究会＞"日本デザイン学会／日本音響工学会／日本感性工学会／芸術工学会／日本サウンドスケープ協会

＜講演会・講習会活動＞観光商材開発支援事業における専門家個別相談会（2021年5月31日、札幌市経済観光局）

看護学部

松浦 和代

＜著書＞1.病気の子どもの教育入門改訂増補版（共著、2021年9月、クリエイツかもがわ、978-4-8634-2311-4、pp.133-157）／2.小児看護学Ⅰ小児看護学概論・小児看護技術改訂第4版（共著、2022年1月、南江堂、978-4-5242-2756-3、pp.289-328）

＜受賞等＞NICUにおける子ども虐待予防に向けた新生児集中ケア認定看護師の臨床判断（2022年2月、日本新生児看護学会、学術奨励賞）

＜学会発表＞1.妊娠初期における女性の口腔内自覚症状と関連要因の分析（共同、2021年5月、第70回日本口腔衛生学会・総会）／2.子ども虐待予防に向けた教育的アプローチ—地域看護学・小児看護学領域における共同OSCE課題の試み（共同、2021年8月、日本看護学教育学会第31回学術集会）／3.COVID-19禍において学生の学びをどう継続するか？オンライン型客観的臨床能力試験（OSCE）の導入を試みて（共同、2021年12月、日本看護科学学会第41回学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児看護学会第31回学術集会講演集（5件、日本小児看護学会）／2.日本小児看護学会誌（1件、日本小児看護学会）／3.日本看護学教育学会第31回学術集会講演集（4件、日本看護学教育学会）／4.第41回日本看護科学学会学術集会（5件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本小児看護学会（評議員）／日本看護学教育学会（評議員）／日本看護科学学会（社員（代議員））／全国病弱教育研究会（北海道・東北ブロック世話人）／北海道成育看護研究会（理事長）／北海道学校保健学会（理事）／北海道臨床工学技士会（理事）／北海道小児保健研究会（幹事）

＜学術集会運営＞LIFE2022

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本学校保健学会／日本小児保健研究／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本新生児看護学会／日本口腔衛生学会／北海道成育看護研究会／北海道学校保健学会／北海道臨床工学技士会／北海道小児保健研究会／全国病弱教育研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞終末期用ファミリーハウス運営マニュアルの作成（毎月1回・1年間、認定統計非営利活動法人ファミリーハウス）／①トータルフィットネス ②こころとカラダのリレー講演（3回1月22日～3月28日、北海道大学COI-NEXT）／日本看護系大学協議会 2021年度高度実践看護市教育課程認定委員会小児看護専門分科会

菊地 ひろみ

＜学術論文＞1.訪問看護ステーション管理者が重視する新卒看護師のコンピテンシー 採用時および採用1年後に焦点を当てて（共著、2021年8月、日本在宅看護学会誌、10巻、1号、pp.85-94）／2.北海道の複数の二次医療圏における新卒訪問看護師の雇用・育成に関する取り組みの現状と課題 フォークス・グループ・インタビューによる質的データの数量的分析（共著、2022年2月、日本在宅看護学会誌、10巻、2号、pp.30-40）／3.医療依存度の高い在宅難病療養者のレジリエンス（共著、2022年3月、難病と在宅ケア、27巻、12号、pp.14-17）

＜学会発表＞1.医療依存度の高い在宅難病療養者のレジリエンスの様相（共同、2021年11月、第26回日本難病看護学会学術集会）／2.認知症対応型共同生活介護において介護職が入居者の看取りを覚悟するプロセス（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）／3.新卒・新人訪問看護師が活躍する在宅看護を目指す「新人訪問看護師を応援する会（スタタン）」の活動（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）／4.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い遠隔実習となった在宅看護学臨地実習の取り組み（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）／5.訪問看護ステーション管理者が新卒看護師に期待する行動（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）／6.医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築にいたるレジリエンスの様相（共同、第11回日本在宅看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞新卒訪問看護師が「育ち続ける」ためのプログラムとマネジメント（第11回日本在宅看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本難病看護学会誌（7件、第26回日本難病看護学会学術集会）／2.日本看護科学学会誌（6件、日本看護科学学会第41回学術集会）／3.日本在宅看護学会誌（6件、第11回日本在宅看護学会学術集会）／4.日本難病看護学会誌（1件、日本難病看護学会）



＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（代議員）／日本難病看護学会（編集委員）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第11回日本在宅看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護推進検討会委員（北海道看護協会）／看護教員養成研修会講師「地域・在宅看護論」（2021年5月12日・26日、北海道看護協会）／北海道新卒訪問看護師育成支援会議（北海道看護協会）

川村 三希子

＜学術論文＞1.分子標的薬にとる皮疹を体験したがん患者が受けたセルフケア指導の実態とニーズ（共著、2021年10月、札幌市立大学研究論文集、15巻（1）、pp.3-13）／2.オンライン形式によるELNEC-J高齢者カリキュラム看護師教育プログラムの実施とその評価（共著、2021年10月、札幌市立大学研究論文集、15巻（1）、pp.35-41）

＜著書＞1.経過別成人看護学④終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア（共著、2021年12月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-3388-4、pp.256-264）

＜学会発表＞1.老人看護専門看護師の挑戦 その人らしい看取りを目指して（共同、2021年6月、日本老年看護学会）／2.臨床経験5年以上の看護師の倫理的感受性が育まれるプロセス（共同、2021年12月、日本看護科学学会学術集会）／3.認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおける看護実践自己評価尺度の信頼性と妥当性の検討（共同、2022年2月、日本がん看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本死の臨床研究会（3件、日本死の臨床研究会）／2.がん看護学会誌（1件、日本がん看護学会）／3.日本緩和医療学会学術誌（1件、日本緩和医療学会）／4.日本看護科学学会誌（5件、日本看護科学学会学術集会）／5.日本緩和医療学会（17件、日本緩和医療学会学術集会）／6.日本看護学会学術集会（6件、日本看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本ホスピス緩和ケア協会（理事）／日本緩和医療学会（代議員・渉外委員・ELNEC-JコアカリキュラムWPG）／日本死の臨床研究会（編集委員）／日本緩和医療学会北海道支部（運営委員）／日本看護科学学会（評議員）／北海道がん心療心身ネットワーク研究会（世話人）／日本がん看護学会（査読委員・倫理委員）

＜所属学会・研究会＞日本がん看護学会／日本看護科学学会／日本老年看護学会／日本緩和医療学会／日本死の臨床研究会／日本ホスピス緩和ケア協会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞将来、緩和ケアを目指す看護師のキャリアデザイン「第6回緩和ケアを目指す看護職のためのセミナー」（2021年3月27日、日本緩和医療学会）／専門的緩和ケアに従事する看護師の能力育成「専門的緩和ケアに従事する看護師に必要な能力とは？～SPACE-N 3ステップラダーの活用～」（2021年7月17日、日本ホスピス緩和ケア協会）／専門的緩和ケア研修修了者のフォローアップ研修会「SPACE-N修了者フォローアップ研修会」（2021年11月27日、日本ホスピス緩和ケア協会）／NP資格認定試験 試験監督（一般社団法人日本NP教育大学院協議会）／ELNEC-J高齢者カリキュラム看護市教育プログラム2021in北海道（2022年2月12日・13日、札幌市立大学専門セミナー）

荒木 奈緒

＜学会発表＞1.胎児異常を診断された妊婦への支援の実際（単独、2022年3月、第36回日本助産学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本助産学会誌（5件、日本助産学会）

＜学会役員就任状況＞日本助産学会（代議員）／日本遺伝看護学会（学会誌編集委員）／日本看護学会（学術集会抄録選考委員）／日本母性衛生学会（理事）／北海道成育看護研究会（評議員）

＜学術集会運営＞日本遺伝看護学会第21回学術大会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本看護科学学会／日本母性衛生学会／日本遺伝看護学会／日本遺伝カウンセリング学会／日本生命倫理学会／日本看護技術学会／日本小児看護学会／日本超音波医学会／日本小児保健協会／全国助産師教育協議会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞臨床看護研究指導講師「臨床看護研究指導」（2021年4月5日）

～2022年3月31日、NTT東日本札幌病院）／講演講師「助産倫理研修」（2021年10月2日、北海道看護協会南空知支部）／個別調査部会部会員「日本医療安全調査機構 個別調査部会部会員」（2021.12月6日～2022.3月31日、日本医療安全調査機構）／講演講師「MCM 母と子のメンタルヘルスケア研修会」（2022年2月26日、北海道産婦人科医会）

卯野木 健

＜学術論文＞1.Prevalence of and risk factors for post-intensive care syndrome: Multicenter study of patients living at home after treatment in 12 Japanese intensive care units, SMAP-HoPe study（共著、2021年5月、PLoS One、16巻、5号、pp.e0252167）／2.Adverse Effects of Personal Protective Equipment Among Intensive Care Unit Healthcare Professionals During the COVID-19 Pandemic: A Scoping Review.（共著、2021年6月、SAGE Open Nursing、7巻、pp.23779608211026100）／3.Unplanned Extubation as a Prognostic Factor in Critically Ill Patients: A Systematic Review and Meta-analysis（共著、2021年7月、Annals of Clinical Epidemiology、3巻、3号、pp.78-87）／4.Post-Intensive Care Syndrome and Its New Challenges in Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Pandemic: A Review of Recent Advances and Perspectives（共著、2021年8月、J Clin Med、10巻、17号、pp.3870）／5.Workforce and Task Sharing of Nurses in the Japanese Intensive Care Unit-Cross-Sectional Postal Survey（共著、2021年8月、Healthcare、9巻、8号、pp.1017）／6.Translation, reliability, and validity of Japanese version of the Respiratory Distress Observation Scale（共著、2021年8月、PLoS One、16巻、8号、pp.e0255991）／7.The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2020 (J-SSCG 2020)（共著、2021年8月、J Intensive Care、10巻、1号、pp.11）／8.Employment status and its associated factors for patients 12 months after intensive care: Secondary analysis of the SMAP-HoPe study（共著、2022年3月、PLoS One、17巻、3号、pp.e0263441）／9.本邦の診療現場におけるICU退室後のフォローアップに関する調査（共著、2022年3月、日本集中治療医学会雑誌、29巻、2号、pp.165-176）／10.Influence of Mutual Support on Burnout among Intensive Care Unit Healthcare Professionals.（共著、2022年3月、SAGE Open Nursing、8巻、号、pp.23779608221084900）／11.Relationship between no-visitation policy and the development of delirium in patients admitted to the intensive care unit.（共著、2022年3月、PLoS One、17巻、3号、pp.e0265082）

＜学会発表＞1.診療ガイドラインを読んでみる（単独、2021年7月、日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.かゆいところに手が届く！なんでも研究相談室（共同、2021年7月、日本クリティカルケア看護学会学術集会）／3.PICS予防のために看護師ができること（単独、2022年3月、日本集中治療医学会学術集会）／4.集中治療室において標準的な看護職務を遂行するために必要な臨床実践能力の特性に関する研究（共同、2022年3月、日本集中治療医学会学術集会）／5.日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン2022（J-ReCIP）作成に関して（単独、2022年3月、日本集中治療医学会学術集会）／6.日本語版Healthy Work Environment Assessment Tool妥当性と信頼性の検証（共同、2022年3月、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.PPEによる有害事象・問題提起（2021年10月、看護理工学会学術集会）／2.日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン2022（J-ReCIP）作成に関して（2022年3月、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞看護系委員会報告（2022年3月、日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Journal of Clinical Medicine（3件、MDPI）／2.日本クリティカルケア看護学会雑誌（2件、日本クリティカルケア看護学会）／3.International Journal of Environmental Research and Public Health（1件、MDPI）／4.Japan Journal of Nursing Sciences（1件、日本看護科学学会）／5.Healthcare（1件、MDPI）

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会（理事）／日本クリティカルケア看護学会（理事）／日本呼吸療法医学会（社員）／日本看護理工学会（評議員）／日本集中治療医学会北海道支部会（連絡協議会委員）

＜学術集会運営＞日本看護理工学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本集中治療医学会／日本クリティカルケア看護学会／日本呼吸療法医学会／看護理工学会／American Association for Critical Care Nurses／Society of Critical Care Medicine



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞データワーキングへの支援（1年中、手稲溪仁会病院）／Topic Editor（期間記載なし、J Clin Med）／Topic Editor（2022年8月末、Healthcare）／個別調査部会委員（2021年12月まで、日本医療安全調査機構個別調査部会）／新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修講義（e-learning）（2021年2月～3月、日本看護協会）／ICUセミナー中級（ARDSの管理、PICSをチームで回避する）講義（e-learning）（日本集中治療医学会）

小田 和美

＜学会発表＞1.COVID-19によって気づかされる生活者としての事実とその意味（共同、2021年6月、第35回日本保健医療行動科学学会学術大会）／2.患者と医療者で病状理解をわかち合おう～看護の教育的かかわりモデルの「病態・病状のわかち合いと合点化」～（共同、2021年9月、第26回日本糖尿病教育・看護学会学術集会）／3.腎移植患者における免疫抑制薬の服薬状況の実態（共同、2022年2月、第55回日本臨床腎移植学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件）

＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本保健医療行動科学学会／日本糖尿病学会／日本糖尿病妊娠学会／日本看護研究学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本循環器看護学会／日本がん看護学会／千葉看護学会／日本老年行動科学学会／日本心身医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究の講義2回、研究指導「ラダーⅢ研修 インタビュー研究とは」（2021年6月15日、帯広厚生病院）／看護研究の講義2回、研究指導「ラダーⅣ研修 看護研究の基本的理解と進め方」（2021年6月29日、帯広厚生病院）／看護研究の講義2回、研究指導「個別研究指導」（2022年2月1日、帯広厚生病院）

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.オンライン形式によるELNEC-J高齢者カリキュラム看護師教育プログラムの実施とその評価（共著、2021年7月、札幌市立大学、15巻、1号、pp.35-41）

＜資料＞1.リハビリテーション現場で知っておきたい高齢者の皮膚トラブル対応の知識 スキン-ケア。（単著、2022年2月、全日本病院出版会、271号、pp.21-27）

＜学会発表＞1.Actual outcomes caused by skin tears: Longitudinal study of skin tear outcomes from development to healing（共同、2021年7月、9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association）／2.COVID-19禍において学生の学びをどう継続するか. オンライン型客観的臨床能力試験の導入を試みて（共同、2021年12月、日本看護科学学会）

＜学会座長就任状況＞50分でわかるスキンケアの技（単独、2021年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／Withコロナ時代における褥瘡管理（共同、2021年9月、日本褥瘡学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護理工学会誌（1件、看護理工学会）／2.9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association（5件、Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association）／3.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会（庶務）／日本褥瘡学会（評議員）

＜学術集会運営＞9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association／第23回日本褥瘡学会／LIFE2022

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌医科大学倫理委員会外部委員「札幌医科大学倫理委員会」（2021年7月5日、札幌医科大学）／看護の専門職を目指す方へのキャリア支援「皮膚排泄ケア認定看護師のキャリアデザインを考える」（2021年10月30日、株コンバテック）

喜多 歳子

＜学術論文＞1.高校生の子どもをもつ親の家庭内性教育に影響する要因（共著、2021年8月、日本公衆衛生看護学会誌、10巻、2号、pp.62-71）／2.Social prescription for isolated parentin in Japan: Socioeconomic characteristics of mothers with weak social connectivity in their community（共著、2021年10月、Health and Social Care in the community）／3.発達障害児の保護者が乳幼児健康診査の保健指導によって得た気持ちと保健師の保健指導のあり方（共著、2022年3月、北海道公衆衛生学雑誌）



誌、35巻、2号、pp.73-83)

＜実践報告等＞1.4か月児をもつ母親の育児レジリエンスとソーシャルサポート機能との関連（2022年3月、北海道公衆衛生雑誌、35巻、2号、pp.155-162）＜学会発表＞1.Characteristics of mothers with poor social connectivity skills who are rearing small children（共同、2021年4月、EAFONS 2021）／2.子ども虐待予防に向けた教育的アプローチ：地域看護学・小児看護学における共同OSCE課題の試み（共同、2021年8月、日本看護学教育学会学術集会）／3.子どもの貧困を支援する保健師を支える組織的サポートの役割（共同、2022年1月、日本公衆衛生看護学会）／4.親を対象とした家庭内性教育を支援するプログラム開発に関する国内外の文献レビュー（共同、2022年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本公衆衛生看護学会誌（1件、日本公衆衛生看護学会）／2.10th anniversary Jointly held with 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing（7件、国際保健師ネットワーク学術集会）／3.北海道公衆衛生学雑誌（2件、北海道公衆衛生学会）／4.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（理事）／日本産業衛生学会北海道地方会（編集委員）

＜学術集会運営＞第32回日本産業衛生学会全国協議会／LIFE2022

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生学会／日本産業衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本疫学会／北海道公衆衛生学会／看護総合科学学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞初任期と中堅期別に保健師のキャリアラダーと自己の目標設定について2度の講義を実施した「新任期の必要な能力と獲得方法について」「中堅期に必要な能力と獲得方法」（2021年12月16日・23日、札幌市保健所）／評議員会にて事業計画・報告、収支決算・予算を審議する（札幌市中央区社会福祉協議会）／委員として民生委員・児童委員候補の推薦に関わる審議（札幌市中央区桑園地区民生委員・児童委員推薦準備会委員）／理事として協会の活動全般を審議する（北海道公衆衛生協会）

定廣 和香子

＜学会発表＞1.デリバリー型Art in Hospital Project 『風の家 “Breathing House”』これまでとこれから（共同、2021年12月、アートミーツケア学会）

＜研究会発表等＞1.事例紹介（札幌市立大学）（単独、2021年7月、HA学生の集い2021発表会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.千葉看護学会誌（1件、千葉看護学会）／2.日本看護技術学会学術集会（1件、日本看護技術学会）／3.日本看護技術学会誌（2件、日本看護技術学会）／4.日本看護学教育学会誌（1件、日本看護学教育学会）／5.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会（教育制度委員会委員）／日本看護技術学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本看護教育学会 第30回学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護教育学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／医療の質・安全学会／Sigma Theta Tau International

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専任教員養成講習会講師「2020年度北海道専任教員養成講習会」（2021年4月～11月、北海道・北海道・北海道看護協会企画）／HA学生の集い 発起人会構成員としてHA学生の集い2021発表会 企画・運営（グループワーク・ファシリテーター）「HA学生の集い2021発表会」（2021年7月3日、HA学生の集い）／学会代表委員（診療報酬のあり方検討会）として要望提出書について審議「診療報酬のあり方検討会」（2022年3月1日、看護社会保険連合、看護社会保健連合）

佐藤 ひとみ

＜学会発表＞1.情報を利活用できる看護管理者の育成に向けて（単独、2021年8月第25回日本看護管理学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.看護情報－基礎教育で何を教える－（単独、第22回日本医療情報学会看護学術大会）

＜所属学会・研究会＞日本医療情報学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北海道医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞一般理事（2021年6月まで、北海道看護協会）／病院長補佐



(北海道大学病院) / サーバイヤー (日本医療機能評価機構)

樋之津 淳子

＜資料＞1.手術看護における経験年数別の看護実践に関する実態調査 (2021年4月、日本看護管理学会、25巻、1号、pp.108-117)

＜学会座長就任状況＞会長講演の座長 (単独、2021年9月、看護人間工学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護人間工学会誌 (2件、看護人間工学会) / 2.札幌市立大学研究論文集 (1件、札幌市立大学) / 3.看護理工学会誌 (1件、看護理工学会) / 4.日本看護科学学会誌 (1件、日本看護科学学会) / 5.日本看護学教育学会誌 (3件、日本看護学教育学会)

＜学会役員就任状況＞看護理工学会 (評議員・監事) / 看護人間工学会 (理事) / 日本看護科学学会 (理事) / 日本看護学教育学会 (評議員)

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会 / 看護人間工学会 / 看護理工学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護技術学会 / 日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、意見交換 (2021年12月13日、北のケア環境研究会)

菅原 美樹

＜学術論文＞1.救急看護認定看護師がとらえた外傷看護実践における看護師の役割 (共著、2021年6月、日本臨床救急医学会雑誌、24巻、3号、pp.372-381)

＜著書＞1.看護学入門7 基礎看護Ⅲ 臨床看護概論 (共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.26-27、pp.173-189)

＜学会発表＞1.救急外来で亡くなる患者の家族とのコミュニケーション場面で看護師が抱く困難と対処 (共同、2021年10月、第23回日本救急看護学会学術集会) / 2.救急看護の継承と革新 (単独、2021年10月、第23回日本救急看護学会学術集会)

＜学会座長就任状況＞交流集会「特定行為研修修了者に関する調査報告と今後の展望」 (単独、2021年7月、第17回日本クリティカルケア看護学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第17回日本クリティカルケア看護学会学術集会 (4件、日本クリティカルケア看護学会) / 2.第23回日本救急看護学会学術集会 (5件、日本救急看護学会) / 3.日本救急看護学会雑誌 (1件、日本救急看護学会) / 4.日本クリティカルケア看護学会誌 (1件、日本クリティカルケア看護学会)

＜学会役員就任状況＞一般社団法人日本救急看護学会 (庶務担当理事 医療政策委員会担当理事) / 一般社団法人日本クリティカルケア看護学会 (将来構想委員会担当理事 看護師認証制度検討委員会担当理事) / 一般社団法人日本災害看護学会 (代議員)

＜学術集会運営＞第23回日本救急看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会 / 日本クリティカルケア看護学会 / 日本循環器看護学会 / 日本臨床救急医学会 / 日本集中治療医学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本災害看護学会 / 日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「診療報酬あり方委員会・看護技術検討委員会・介護報酬あり方委員会 令和3年度 第1回合同委員会への出席」 (2022年3月1日、一般社団法人看護系学会等社会保険連合) / 社員として、看護の診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案のため会議に出席 (一般社団法人看護系学会等社会保険連合)

檜山 明子

＜著書＞1.看護学入門 基礎看護2 臨床看護概論 (共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.169-173、pp.123-129)

＜資料＞1.手術看護における経験年数別の看護実践に関する実態調査 (共著、2021年5月、日本看護管理学会誌、25巻、1号、pp.108-117)

＜学会発表＞1.Examination of Consistency Among Evaluators Based on the Results from Methods for Error Measurement of Recognition of Bodily Function for Fall Risk Prediction Performed by Nurses (共同、2021年9月、The 9th World Congress of Clinical



Safety) / 2.選択行為と選択行為に対するフィードバックが感情に与える影響 (共同、2021年12月、第41回日本看護科学学会学術集会) / 3.認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおける看護実践自己評価尺度の信頼性と妥当性の検討 (共同、2022年2月、第36回日本がん看護学会学術集会)

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会 / 日本看護倫理学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 看護総合科学研究会 / 北のケア環境研究会 / 日本看護技術学会 / 日本医療・病院管理学会 / 看護総合科学研究会 / 日本看護管理学会 / 日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員 (事務局) (2021年4月1日～2022年3月31日、北のケア環境研究会) / 看護論演習講師「専任教員養成研修会 看護論演習」 (2021年6月28日～8月20日、北海道看護協会)

藤井 瑞恵

＜学会発表＞1.Covid-19パンデミックにおける非対面型シミュレーション演習の試み (査読付) (共同、2021年10月、第9回日本シミュレーション医療教育学会学術大会 (Web)) / 2.介護福祉施設における超高齢者の口腔機能と内服薬との関連 (共同、2021年11月、北海道公衆衛生学会) / 3.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み-第1報:「葛藤事例」からの学び- (共同、2022年2月、第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会 (web)) / 4.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み 第2報～「不安事例」のシミュレーション演習からの学び～ (共同、2022年2月、第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会 (web)) / 5.オンラインによるシミュレーション演習の取り組み 第3報～動画による「病の語り」視聴とグループ討議から (共同、2022年2月、第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会 (web)) / 6.腎移植患者における免疫抑制薬の服薬状況の実態 (共同、2022年2月、第55回日本臨床臓器移植学会 (東京))

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第26回日本病教育・看護学会誌 (2件、日本糖尿病教育・看護学会) / 2.北海道公衆衛生学会誌35-2 (1件、北海道公衆衛生学会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生協会 (編集委員)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本糖尿病教育・看護学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護学会 / 日本看護管理学会 / 日本慢性看護学会 / 日本腎不全看護学会 / 日本糖尿病学会 / 日本透析医学会 / 日本老年医学会 / 日本疫学会 / 日本循環器病予防学会 / 日本褥瘡学会 / 北海道公衆衛生協会

本田 光

＜学術論文＞1.就業1年目保健師の家庭訪問能力の発達 -指導者の評価による縦断調査- (共著、2021年8月、日本公衆衛生看護学会誌、10巻、2号、pp.43-52) / 2.中国人留学生在が病院の外来を受診する際に生じる課題の整理と対策の提案 (共著、2021年10月、札幌市立大学研究論文集、15巻、pp.51-61) / 3.公衆衛生看護学臨地実習の地区踏査においてフォトボイスを活用した学生の学びの特徴 (共著、2021年10月、札幌市立大学研究論文集、15巻、pp.25-33) / 4.札幌市におけるがん検診受診率の実態と低受診者集団の特徴 (共著、2021年10月、日本公衆衛生雑誌、68巻、10号、pp.695-705) / 5.Social Prescription for Isolated Parenting in Japan: Socioeconomic Characteristics of Mothers with Weak Social Connectivity in their Community (共著、2021年10月、Health & Social Care in the Community、Vol.30(5)、pp.1815-1823) / 6.外国人である父親が構築している子育てのつながり～札幌市に在住する外国人である父親へのインタビュー～ (共著、2022年3月、北海道公衆衛生学雑誌、35巻、2号、pp.119-124) / 7.外国人である父親が日本での子育てを通して獲得している父親役割 (共著、2022年3月、北海道公衆衛生学雑誌、35巻、2号、pp.125-132) / 8.行政保健師のキャリア発達を総合的に測定する尺度 第2版の開発 (共著、2022年3月、看護ケアサイエンス学会誌、20巻、2号、pp.85-95)

＜学会発表＞1.Characteristics of Mothers with Poor Social Connectivity Skills Who are Rearing Small Children (共同、2021年4月、24th East Asian Forum of Nursing Scholars 2021) / 2.子ども虐待予防に向けた教育的アプローチ-地域看護学・小児看護学領域における共同OSCE課題の試み (共同、2021年8月、日本看護学教育学会第31回学術集会) / 3.Analyzing the Becoming Parents Program to Examine the Japanese Version of a Father Support Program Focusing on Child Abuse Prevention (共同、2022年1月、6th Global Network of Public Health Nursing) / 4.子どもの貧困を



支援する保健師を支える組織的サポートの役割（共同、2022年1月、第10回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞GN9-1 Healthcare and welfare for parents and their children（2022年1月、6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Clinical Nursing Research（1件）／2.Public Health Nursing（1件）／3.6th Global Network of Public Health Nursing（5件）／4.名寄市立大学紀要（1件）／5.SCUジャーナル（1件）／6.北海道公衆衛生学雑誌（1件）／7.日本地域看護学会誌（1件）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本産業衛生学会／北海道公衆衛生学会

＜講演会・講習会活動＞札幌南の杜 高等支援学校「性教育カフェ「男性のからだ」」（2022年3月14日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞南区保健福祉課 研修会講師「地区診断」（2021年6月14日、札幌市南区役所）／研修会講師「看護研究基調講義」（2021年7月13日、市立札幌病院看護部）／産業衛生看護部会 研修会講師「オンラインを活用した研修会／面談」（2021年10月16日、日本産業衛生学会北海道産業看護部会）／看護協会札幌第1支部保健師職能委員会「保健師職能委員会主催研修会」（2021年10月23日、北海道看護協会札幌第一支部）／専門職（保健師）対象の公開講座4回シリーズ「保健師のためのWeb講座」（2022年2月19日～3月12日、公開講座）

村松 真澄

＜学術論文＞1.手術看護における経験年数別の看護実践に関する実態調査の実態調査（共著、2021年4月、日本看護管理学会誌、25巻、1号、pp.108-117）／2.Development of a Spoon Motion Navigation Algorithm for the Mealtime Assistant Simulator（共著、2021年8月、Journal of Robotics and Mechatronics、33巻、4号、pp.768-776）／3.Image diagnosis models for the oral assessment of older people using convolutional neural networks: A retrospective observational study（共著、2021年12月、Journal of Clinical Nursing、pp.1-10）／4.地域在住高齢者の口腔の状態と機能へ影響を及ぼす要因（単著、2022年3月、日本口腔ケア学会雑誌、16巻、1号、pp.51-59）／5.デンマークの高齢者ケアにおけるペタゴリーとペタゴギックの実際～ノーフェンス・補遺スコアにおける視察を通して～（共著、2022年3月、天使大学紀要、22巻、1号、pp.17-28）

＜著書＞1.看護学入門 7巻 基礎看護Ⅲ（共著、2021年11月、株式会社メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.70-74）

＜学会発表＞1.介護福祉施設入所者におけるOAGと肺炎死の関係 1年前向きコホート研究中間解析（共同、2021年6月、日本老年歯科医学会学術集会）／2.口腔ケアシミュレータにおける顎部稼働による手技のフィードバック（共同、2021年6月、SCI2021）／3.介護福祉施設における超高齢者の口腔機能と内服薬との関連（共同、2021年9月、北海道公衆衛生学会）／4.畳み込みネットワークを用いた画像解析による咀嚼機能別の下顎運動を再現した口腔シミュレーターの開発・パイロットスタディ（共同、2021年10月、第9回看護理工学学会学術集会）／5.ホームホスピスで働くスタッフのケアを行う上で大切にしていること（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会）／6.高齢者の口腔アセスメントのためのAI画像診断モデルの構築（共同、2021年12月、第41回日本看護科学学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.合同シンポジウム14口腔衛生管理と誤嚥性肺炎・医・歯・看・介 連携について考える・介護施設で生活する高齢者の生活の質を向上させる口腔ケア普及への挑戦 口腔ケアシミュレーションモデルの開発と口腔ケアの教育と評価のシステムづくり（単独、2021年6月、第32回日本老年学会）

＜学会招聘講演＞1.科学的介護と口腔ケア（単独、2021年10月、第11回北海道口腔保健学会総会・学術集会）／2.教育セミナー4口腔アセスメントとケア（単独、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞市民公開講座肢体不自由における社会参加を創るためのテクノロジー活用（共同、2021年10月、第9回看護理工学学会学術集会）／日本口腔看護研究会口腔ケア実践WEBセミナー座長（単独、2021年11月、日本口腔看護研究会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Special Care in Dentistry（1件、Special Care in Dentistry）



＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（代議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／北海道公衆衛生学会（評議員）／日本公衆衛生学会（モニタリング委員）

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員・査読委員・政策検討委員／日本口腔ケア学会評議員・学術委員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員／日本公衆衛生学会会員モニタリング委員／北海道公衆衛生学会会員評議員／日本看護教育学会会員／日本地域看護学会会員／日本看護研究学会会員／日本老年歯科医学会会員／日本看護科学学会会員／看護理工学会会員／日本看護技術学会会員／日本看護管理学会会員／日本がん看護学会会員／看護理工学会会員／日本地域看護学会会員／日本認知症ケア学会会員／日本在宅ケア学会会員／日本歯科医療管理学会会員／日本在宅看護学会会員／北海道歯学会会員／北海道口腔ケア研究会会員世話人／旭川口腔ケア普及会会員／日本口腔看護研究会副代表世話人

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞礼宝園での健康講和が高齢者の定期健診への教育になり、島内の歯科と口腔保健の連携ができるようになった。「口腔の健康」（2021年9月16日、礼文町地域包括支援センター）／看護係長会における研修会講師「口腔ケアの研修会」（2021年10月21日、JA北海道厚生連札幌厚生病院）／ホームホスピス北海道市民フォーラム実行委員として企画運営方向「地域在宅で最期まで生ききる～当たり前の生活を送る～」（2021年12月4日、ホームホスピス北海道）／Eilers口腔アセスメントの監修（MeijiSeikaファルマ㈱）

守村 洋

＜学術論文＞1.自殺念慮のある模擬患者を用いた精神看護学シミュレーション教育の開発（共著、2021年10月、SCUジャーナル、15巻、pp.15-24）／2.当事者参加による精神看護学シミュレーション教育のプログラムの試みと学生の学び（共著、2021年11月、日本精神保健看護学会誌、30巻、2号、pp.8-16）／3.精神科病院に入院している自殺企図患者の家族の思い ―娘に対する母親の思い―（共著、2022年2月、札幌保健医療大学紀要、8巻、pp.33-48）／4.拡がる社会精神医学に対応する看護学教育（単著、2022年2月、日本社会精神医学会雑誌、31巻、pp.67-72）

＜学会発表＞1.児童思春期精神科外来において地域生活の継続を支援するために求められる看護の役割（共同、2021年6月、日本精神保健看護学会第31回学術集会・総会）／2.精神科病院において患者から暴力を受けた際に、報告ができなかった看護師の思い（共同、2021年6月、日本精神保健看護学会第31回学術集会・総会）／3.精神科病院に入院した自殺企図患者の家族の思い（共同、2021年6月、日本精神保健看護学会第31回学術集会・総会）／4.精神看護学シミュレーション教育を用いたオンライン実習における学生の学び ～希死念慮の患者への看護実践～（共同、2021年10月、第9回日本シミュレーション医学教育学会）／5.Covid-19パンデミックにおける非対面型シミュレーション演習の試み（共同、2021年10月、第9回日本シミュレーション医学教育学会）／6.精神看護学シミュレーション教育を活用したオンライン実習 第1報 ～幻覚・妄想のある患者～（共同、2021年12月、第41回日本看護科学学会学術集会）／7.精神看護学シミュレーション教育を活用したオンライン実習 第2報 ～看護学生役と観察者との比較から～（共同、2021年12月、第41回日本看護科学学会学術集会）／8.オンラインによるシミュレーション演習の取り組み 第1報 「葛藤事例」の学びから（共同、2022年2月、第3回日本看護シミュレーションラーニング学会）／9.オンラインによるシミュレーション演習の取り組み 第2報 「不安事例」の学びから（共同、2022年2月、第3回日本看護シミュレーションラーニング学会）／10.オンラインによるシミュレーション演習の取り組み 第3報 動画による「病の語り」視聴とグループ討議から（共同、2022年2月、第3回日本看護シミュレーションラーニング学会）

＜学会座長就任状況＞守れ！新型コロナウイルス感染患者と対応に従事する医療者のメンタルヘルス（共同、2021年10月、第23回日本救急看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.熊本保健科学大学研究誌、1件、熊本保健科学大学）

＜学会役員就任状況＞日本看護シミュレーションラーニング学会（代議員）

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本うつ病学会／日本シミュレーション医学教育学会／日本自殺予防学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本精神障害者リハビリテーション学会／日本救急看護学会／日本社会精神医学会／日本公衆衛生学会／日本看護管理学会



＜講演会・講習会活動＞精神療養講座「気分障害について学ぶ ―うつ病と双極性障害―」（2022年9月30日、札家連）／精神障がい者の病状の不安定さに、家族はどう対応すれば良いのか（2022年3月22日、札幌むつみ会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」（2022年5月9日・10月17日、一般社団法人メンタルケア協会）／令和4年度札幌市教育センター専門研修・児童理解研修コース 自殺予防 ～児童生徒の自殺を防ぐために教師に知ってもらいたいこと～（2021年7月28日、札幌市教育委員会）／精神科訪問看護基本療養指導に係る研修（2021年8月19日、北海道看護協会）／～「いつもと違う」同僚と部下に早くきづく～ メンタルヘルス研修（2021年10月1日、北海道社会福祉協議会）／生活支援員登録に向けた研修 説明会「「精神障がいのある方への関わりについて 記録の書き方」」（2021年10月27日・2022年3月9日・14日、札幌市社会福祉協議会）

石引 かずみ

＜学術集会運営＞日本遺伝看護学会第21回学術大会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本フォレンジック看護学会／日本保健医療福祉連携教育学会

伊東 健太郎

＜学術論文＞1.自殺念慮のある模擬患者を用いた精神看護学シミュレーション教育プログラムの開発 演習前後の自身、気分および感情の変化から（共著、2021年10月、札幌市立大学）／2.当事者参加による精神看護学シミュレーション教育のプログラムの試みと学生の学び（共著、2021年11月、日本精神保健看護学会誌）／3.精神科病院に入院している自殺企図患者の家族の思い 一娘に対する母親の思い（共著、2022年3月、札幌保健医療大学）

＜学会発表＞1.過疎地域における精神障害者の課題と支援に関する文献検討（単独、2021年5月、日本精神保健看護学会）／2.精神科病院に入院した自殺企図患者の家族の思い（共同、2021年5月、日本精神保健看護学会）／3.精神科病院において患者から暴力を受けた際に、報告ができなかった看護師の思い（共同、2021年5月、日本精神保健看護学会）／4.精神看護学シミュレーション教育の検討 模擬患者が望む教育方法（共同、2021年8月、日本社会精神医学会）／5.精神看護学シミュレーション教育を用いたオンライン実習における学生の学び（共同、2021年10月、日本シミュレーション医療教育学会）／6.精神看護学シミュレーション教育を活用したオンライン実習 第2報～看護学生役と観察者との比較から～（共同、2021年12月、日本看護科学学会）／7.精神看護学シミュレーション教育を活用したオンライン実習 第1報～精神症状を呈する模擬患者への関わり～（共同、2021年12月、日本看護科学学会）／8.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み第2報～「不安事例」からの学び～（共同、2022年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）／9.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み第3報～動画による「病の語り」視聴とグループ討議から～（共同、2022年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）／10.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み第2報～「葛藤事例」からの学び～（共同、2022年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）

＜研究会発表等＞1.精神看護学シミュレーション教育における模擬患者養成の検討（2022年1月）

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本ルーラルナーシング学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援（毎月、当事者研究会「ばちばちの会」）／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援（毎月、当事者研究「Supaの会」）／当事者研究北海道大会ネットワーク運営の支援（2021年4月～2022年3月、北海道当事者研究ネットワーク）／精神専門看護師および地域福祉事業所支援員への当事者支援および当事者研究の研修（2021年11月30日、胆振いぶり・ひだか 児童家庭支援センター しずく）／当事者研究、SST（ソーシャルスキルトレーニング）の研修（2021年12月10日、すずらん病院）



工藤 京子

＜著書＞1.看護学入門7 基礎看護3（共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.63-69、pp.81-82）

＜学術集会運営＞第23回日本救急看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本認知症ケア学会／日本看護管理学会／日本災害医学会

黒田 紀子

＜学会役員就任状況＞日本小児保健協会（若手による小児保健検討会準備委員会）

＜学術集会運営＞第21回日本遺伝看護学会学術大会

＜所属学会・研究会＞日本母性衛生学会／日本新生児看護学会／日本小児保健協会／日本小児看護学会

高橋 奈美

＜学術論文＞1.医療依存度の高い在宅難病療養者のレジリエンス（共著、2022年3月、難病と在宅ケア、27巻、12号、pp.14-17）

＜著書＞1.ナースング・グラフィカ成人看護学⑤リハビリテーション看護（共著、2022年1月、メディカ出版、978-4-8404-7530-3、pp.271-281）

＜学会発表＞1.医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築にいたるレジリエンスの様相（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）／2.新型コロナウイルス感染症拡大に伴い遠隔実習となった在宅看護学臨地実習の取り組み（共同、2021年11月、第11回日本在宅看護学会学術集会）／3.脳神経系の外来看護に関する国内文献の検討～外来で行われている看護実践と外来看護の課題～（共同、2021年12月、第41回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本プライマリ・ケア連合学会誌（1件、日本プライマリ・ケア連合学会）

＜学会役員就任状況＞日本慢性看護学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本難病看護学会／日本在宅看護学会／日本在宅ケア学会／日本慢性看護学会／日本専門看護師協議会／北海道医療大学看護福祉学部学会

武富 貴久子

＜学術論文＞1. Work environment for hospital nurses in Japan: The relationships between nurses' perceptions of their work environment and nursing outcomes（共著、2021年5月、Nursing Open、8巻、5号、pp.2470-2487）／2. Does the hospitalization immersion experience improve medical students' understanding of patients' perspectives? A qualitative study（共著、2021年5月、Korean Journal of Medical Education、33巻、2号、pp.97-106）／3. Developing a questionnaire on the quality of working life for female medical and healthcare professionals（共著、2021年9月、Industrial Health、59巻、6号、pp.371-382）

＜著書＞1.看護学入門7 基礎看護Ⅲ臨床看護概論（共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、pp.113-123）

＜資料＞1.どのように質的研究と関わるとよいのか？多職種による初学者にむけた提案（共著、2021年12月、日本プライマリ・ケア連合学会誌、44巻、4号、pp.160-171）

＜学会発表＞1.大学病院における医療職者の働き方と健康・安全との関係（共同、2021年10月、第37回日本ストレス学会学術総会）

＜学会シンポジウム＞1.医学教育研究の基本を学ぶワークショップ（共同、2021年7月、第53回日本医学教育学会大会）

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（看護倫理検討委員会）／日本医学教育学会（研究推進委員会）／日本プライマリケア・連合学会（和文誌編集委員会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会／日本公衆衛生学会／日本看護シミュレーション学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究指導（2021年9月～2022年3月、砂川市立病院看護



部) / 支部教育委員会 支部研修会「看護研究テーマの決め方」(2021年11月13日、北海道看護協会) / 第81回医学教育セミナーとワークショップ(2022年1月22日~23日、岐阜大学医学教育開発研究センター)

原井 美佳

＜著書＞1. 初学者にも、ベテランにも役立つ 音楽療法 効果・やり方・エビデンスを知る(第4版)(共著、2021年10月、株式会社金芳堂、978-4765318792、pp.93-96) / 2. 看護学入門7 基礎看護Ⅲ 臨床看護概論 特論: 治療法概説(共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.75-81)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. SCU journal of Design & Nursing 札幌市立大学研究論文集(1件、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会(評議員(機関指定評議員))

＜所属学会・研究会＞日本老年泌尿器科学会 / 日本排尿機能学会 / 日本公衆衛生学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本農村医学会 / 日本認知症ケア学会 / 札幌市介護支援専門員連絡協議会 / 全国福祉用具専門相談員協会 / 日本産業カウンセラー協会 / 日本コンチネンス協会 / 日本スピリチュアルケア学会

矢野 祐美子

＜著書＞1. 看護学入門 7巻 基礎看護Ⅲ 臨床看護概論(共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.203-207)

＜学会発表＞1. 指定インフォメーション・エクスチェンジ2 新型コロナパンデミック禍の経験から持続可能な看護管理に向けて(共同、2021年8月、第25回日本看護管理学会学術集会)

＜学会役員就任状況＞日本看護管理学会(学術活動推進委員)

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会from北海道

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護評価学会 / 日本医療・病院管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研修講師「臨床実習指導者研修」(2021年4月26日、札幌厚生病院) / 研修講師「実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ」(2022年2月3日、苫小牧市立病院)

山本 真由美

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会 / 第21回日本遺伝看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護管理学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本看護技術学会 / 看護理工学会 / 北海道母性衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌小樽地区の会議に出席し看護師教育に関する動向を把握する、教員に対する研修の企画等「奇数月第3火曜日に活動」(2021年7月20日他、北海道看護教育施設教育協議会) / 北海道看護協会札幌第1支部助産師職能委員として活動を行った「CLOCMIP®関連研修 母体の感染(母体感染のリスクと対応) / 精神科ハイリスク妊産褥婦への評価と対応」(2021年10月2日、北海道助産師職能札幌第1支部、北海道看護協会札幌4支部合同助産師職能研修会) / 桶谷式母乳育児推進協会の依頼により講義を行った「SWOT分析についての講演」(2022年2月20日、桶谷式母乳育児推進協会、公益社団法人 桶谷式母乳育児推進協会)

市戸 優人

＜学術論文＞1. 北海道におけるCOVID-19感染拡大防止策が高齢者に与えた生活への影響: 外出自粛要請下における高齢者の健康行動と生活の困りごと(共著、2021年7月、日本看護研究学会雑誌、44巻、2号、pp.185-192) / 2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策が地域高齢者の活動および主観的な健康に影響を与えた影響: 北海道の感染第1波における検討(共著、2021年7月、日本看護研究学会雑誌、44巻、4号、pp.599-609) / 3. 高校生の子どもをもつ親の家庭内性教育に影響する要因(共著、2021年8月、日本公衆衛生看護学会誌、10巻、2号、pp.62-71)

＜学会発表＞1. 親を対象とした家庭内性教育を支援するプログラム開発に関する国内外の文献レビュー(共同、2022年1月、日本公衆衛生看護学会学術集会)



＜所属学会・研究会＞日本産業衛生学会／日本公衆衛生学会／日本思春期学会／日本看護研究学会／日本健康学会／日本公衆衛生看護学会／北海道公衆衛生学会

大友 舞

＜学会発表＞1.妊娠初期の女性における口腔内自覚症状と関連要因の分析（共同、2021年5月、日本口腔衛生学会）

＜学術集会運営＞日本遺伝看護学会学術集会第21回大会 事務局

＜所属学会・研究会＞日本口腔衛生学会／日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本小児看護学会／日本母性看護学会

鬼塚 美玲

＜学術論文＞1.地震災害における病院での災害看護活動に関する研究の動向（共著、2022年2月、国際医療福祉大学学会誌、27巻、1号、pp.53-63）／2.積雪寒冷期大地震に対する病院のリスクマネジメントに関する研究—看護部門のリスクと備えに焦点をあてた検討—（単著、2022年3月、国際医療福祉大学大学院）

＜学会発表＞1.地域差を考慮した熱中症危険度に関する研究 その1 北海道における住まい手の想像温度・体熱感による評価（共同、2021年9月、令和3年度空気調和・衛生工学会大会）／2.新型コロナウイルス感染症下における看護マネジメント実習にRCA分析手法を用いて代替教育した実践内容と評価（共同、2021年11月、第16回医療の質・安全学会学術集会）／3.積雪・寒冷環境の野外活動で生じる看護師の作業負担（共同、2022年2月、第67回防衛衛生学会）

＜所属学会・研究会＞防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本統合医療学会／日本医療マネジメント学会／日本職業・災害医学会／日本災害看護学会／国際医療福祉大学学会／日本建築学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞災害連携教員（2021年6月7日～）（一般社団法人日本看護系大学協議会）／看護研究に関する指導（4回）・研修会（1回）「看護研究のすすめ方」（2021年7月17日、自衛隊札幌病院）

栗原 知己

＜学術論文＞1.Adverse Effects of Personal Protective Equipment Among Intensive Care Unit Healthcare Professionals During the COVID-19 Pandemic: A Scoping Review（共著、2021年5月、SAGE Open Nursing、6巻、pp.1-14）／2.Prevalence of and risk factors for post-intensive care syndrome: Multicenter study of patients living at home after treatment in 12 Japanese intensive care units, SMAP-HoPe study（共著、2021年5月、PLOS ONE、16巻、5号、pp.1-19）／3.Employment status and its associated factors for patients 12 months after intensive care: Secondary analysis of the SMAP-HoPe study（共著、2022年3月、PLOS ONE、17巻、3号）

＜実践報告等＞1.Intensive Care Nursing Review 特集：ICUのトレンド、その真相を教えます 5. 家族の面会—面会時間の制限、本当に必要ですか？—（単著、2021年5月、学研メディカル秀潤社、8巻、2号、pp.30-35）／2.看護技術 第1特集：ECMOを装着した患者への早期離床・リハビリテーションの実際（単著、2021年7月、メヂカルフレンド社、67巻、8号、pp.58-63）／3.Intensive Care Nursing Review 特集：やっぱりやめて欲しいICUケア 2. 異残量（GRV）の測定（単著、2021年8月、学研メディカル秀潤社、8巻、3号、pp.13-15）／4.Intensive Care Nursing Review 特集：6. シン・栄養（単著、2021年11月、学研メディカル秀潤社、8巻、4号、pp.55-65）／5.Intensive Care Nursing Review 特集：ICUで働くということ Chapter 5 ルーチンケア（単著、2022年2月、学研メディカル秀潤社、9巻、1号、pp.36-41）

＜学会発表＞1.他部署の看護師が共同するECMO装着患者搬送チームでの看護師の役割（共同、2021年6月、日本集中治療医学会第5回関東甲信越支部学術集会）／2.重症呼吸不全によって人工呼吸器ならびにVV-ECMOを装着した患者への看護に必要なコンピテンシーに関する調査（共同、2021年9月、日本集中治療医学会第5回北海道支部学術集会）／3.集中治療室において標準的な看護職務を遂行するために必要な臨床実践能力の特性に関する研究：システムティックレビューおよびデルファイ調査（共同、第49回日本集中治療医学会学術集会）



＜学会シンポジウム＞1.明日から活かせるECMO看護の実際 V-V ECMO編（単独、2021年7月、第17回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.最新の知見とECMO管理を要する患者への看護実践（単独、第49回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会（看護教育委員会 委員）

＜学術集会運営＞第23回日本救急看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本集中治療医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Web版 外傷初期看護セミナー インストラクター業務「外傷初期看護セミナー（JNTEC）」（2021年5月9日・30日・11月28日・12月12日、日本救急看護学会）／「ECMOの看護セミナー」の講師「ECMOの看護セミナー」（2022年2月19日、日本救急看護認定看護師会事務局 一般社団法人救急ケア開発研究所）

近藤 圭子

＜学会発表＞1.子どもの貧困を支援する保健師を支える組織的サポートの役割（共同、2022年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本プライマリケア連合学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生看護学会／日本公衆衛生学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問指導員研修会連絡会「ICFシートを活用したワークショップ」（2021年10月6日、札幌市社会福祉協議会）／訪問指導員研修会連絡会「事例検討会」（2021年12月8日、札幌市社会福祉協議会）

齋 若奈

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本緩和医療学会／日本がん看護学会／日本専門看護師協議会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞標記プログラム内のグループワークにおけるファシリテーター「第7回 札幌医科大学附属病院 ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム」（2021年11月20日・21日、札幌市内の看護師に対して、札幌医科大学附属病院）

坂本 結城

＜所属学会・研究会＞日本生活学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本在宅看護学学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「令和3年度特定分野保健師助産師看護師実習指導者講習会（公益社団法人北海道看護協会、北海道委託事業）」講師及び演習助言者（2021年9月2日～8日）

渋谷 友紀

＜著書＞1.臨床看護概論（共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6）

＜学会発表＞1.人間中心設計プロセスの教育への応用に関する研究（共同、2021年6月、日本デザイン学会）／2.3年課程看護専門学校における「ケーススタディ」の指導の実際（共同、2021年8月、日本看護研究学会）／3.COVID-19パンデミックにおける非対面型シミュレーション演習の試み（共同、2021年10月、日本シミュレーション医療教育学会）／4.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み-第1報「葛藤事例」からの学び（共同、2022年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）／5.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み-第2報「不安事例」からの学び（共同、2022年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）／6.オンラインにおけるシミュレーション演習の取り組み-第3報動画による「病の語り」視聴とグループ討議から（共同、2022年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）

＜学会シンポジウム＞1.異分野連携によるイベント企画と運営-札幌サンタファンの活動を通じて（共同、2022年2月、感性フォーラム札幌2022）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護学教育学会



田仲 里江

＜学術論文＞1.公衆衛生看護学臨地実習の地区踏査においてフォトボイスを活用した学生の学びの特徴（共著、2021年10月、SCU Journal of Design & Nursing、15巻、1号、pp.25-33）

＜著書＞1.臨床看護概論（共著、2021年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-2279-6、pp.207-210）

＜実践報告等＞1.新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴い実施された保健師基礎教育における代替的実習の実践報告、2021年5月、保健師教育（全国保健師教育機関協議会誌）、5巻、1号、pp.75-85）

＜学会発表＞1.遺族の心証に配慮した遺留品記録ツールの作成（共同、2021年9月、第23回日本災害看護学会年次大会）／2.子ども虐待早期発見と介入のための記録ソフトの評価 演習後の質問紙調査より（共同、2021年11月、第80回日本公衆衛生学会総会）／3.子どもの貧困を支援する保健師を支える組織的サポートの役割（共同、2022年1月、第10回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本学校保健学会／看護総合科学研究会／日本フォレンジック看護学会

中田 亜由美

＜研究会発表等＞1.新型コロナウイルス感染症パンデミックにおける地域高齢者の生活の変化—人との交流やコミュニケーション手段に焦点を当てた国内外の研究動向からの考察—（2021年12月、SCU産学官金研究交流会）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／日本老年看護学会／日本小児保健協会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会／日本看護学教育学会

平山 憲吾

＜学術論文＞1.Predictors and Short-Term Outcomes of Post-Stroke Fatigue in Initial Phase of Transition from Hospital to Home: A Prospective Observational Study（共著、2021年4月、Journal of Advanced Nursing、77巻、4号、pp.1825-1838）／2.進行がんを有する高齢患者の化学療法継続における意思決定の構造（単著、2021年9月、北海道医療大学、pp.1-65）

＜調査研究報告書＞1.「化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証」令和2年度科研費研究成果報告書（単著、2021年12月）

＜学会発表＞1.化学療法を受ける高齢がん患者が抱える困難に関する文献検討（共同、2022年2月、第36回日本がん看護学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／日本専門看護師協議会／日本老年医学会／日本老年看護学会／日本在宅ケア学会／日本健康医学会／看護総合科学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞日本看護協会が定める資格認定制度である専門看護師に対する研修会の実施「新人CNSのための役割開発」（2021年12月11日、日本専門看護師協議会 研修委員会）

牧田 靖子

＜著書＞1.病気の子どもの教育入門改訂増補版（共著、2021年9月、クリエイツかもがわ、978-4-86342-311-4、pp.134-157）

＜学会発表＞1.子ども虐待予防に向けた教育的アプローチ—地域看護学・小児看護学領域における共同OSCE課題の試み—（共同、2021年8月、日本看護学教育学会第31回学術集会）／2.COVID-19禍において学生の学びをどう継続するか。オンライン型客観的臨床能力試験の導入を試みて（共同、2021年12月、第41回看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道子どもの虐待防止協会／北海道地域医療研究会／北海道成育看護研究会

＜講演会・講習会活動＞子育て講座（ちあふるみなみ）「小児心肺蘇生・窒息解除」演習、実技指



導」(2021年11月5日)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞マニュアル作成の助言・カンファレンスの進行、家族アセスメント指導(毎月2回、認定特定非営利活動法人ファミリーハウス)／「教えて、ナース」のタイトルで1回/月ちあふるみなみでの育児相談を実施(毎月1回、南区保育子育て支援センター)／壮瞥町健診、心電図を担当(2021年8月8日、札幌医科大学公衆衛生学講座)／患者会立ち上げのサポート(2021年10月より開始、小児膠原病の会)

吉田 実和

＜学会発表＞1.看護師が所属する病棟のチームアプローチと転倒・転落予防の実践状況に対する評価の関連(共同、2021年8月、日本看護研究学会第47回学術集会)

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護技術学会／日本看護学教育学会

高橋 葉子

＜学術論文＞1.オンライン形式による ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラムの実施とその評価(共著、2021年10月、札幌市立大学研究論文集、15巻、1号、pp.35-41)

＜学術集会運営＞第9回看護理工学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護技術学会



AIラボ

高橋 尚人

＜学術論文＞1. Image diagnosis models for the oral assessment of elderly people using convolutional neural networks: A retrospective observational study（共著、2021年12月、Journal of Clinical Nursing、pp.1-10）

＜学会発表＞1. マルチエージェントシミュレーションを用いたごみ収集作業効率化の検討（共同、2021年8月、第20回情報科学技術フォーラム）／2. マルチエージェントシミュレーションを用いた札幌市の排雪作業の最適化（共同、2021年8月、第20回情報科学技術フォーラム）／3. 札幌駅前通地下歩行空間における避難行動マルチエージェントシミュレーション（単独、2021年8月、第20回情報科学技術フォーラム）／4. 高齢者の口腔アセスメントのためのAI画像診断モデルの構築（共同、2021年12月、第41回日本看護科学学会学術集会）／5. An agent-based approach to optimizing snow hauling in Sapporo, Japan（共同、2022年2月、16th World Winter Service and Road Resilience Congress）

＜研究会発表等＞1. 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した冬期の歩行者転倒事故の予測に関する研究（2021年9月、雪氷研究大会（2021・千葉・オンライン））／2. 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した「雪道の自己転倒」による救急搬送者数の予測に関する研究（2021年11月、第37回寒地技術シンポジウム）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 雪氷（2件、日本雪氷学会）

＜学会役員就任状況＞日本雪氷学会（北海道支部 理事）／日本雪氷学会（事業委員）

＜学術集会運営＞雪氷研究大会（2022・札幌）

吉田 彩乃

＜学会発表＞1. マルチエージェントシミュレーションを用いたごみ収集作業効率化の検討（共同、2021年8月、FIT2021）／2. マルチエージェントシミュレーションを用いた札幌市の排雪作業の最適化（共同、2021年8月、FIT2021）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2021年度 第16号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 2022年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>